

平成 28 年度（2016 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書
（訂正版）

平成 30 年 7 月



平成 28 年度 (2016 年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I ・ 調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II ・ 回収状況 >	
回収状況	5
< III ・ 調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科 (専攻) 別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複 (障害種別)	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科 (専攻) 別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複 (障害種別)	
5. 支援障害学生在籍学校数	28
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	31
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援 (総表)	
イ 授業以外の支援 (総表)	
ウ 授業支援 (大学)	
エ 授業以外の支援 (大学)	
オ 授業支援 (短期大学)	
カ 授業以外の支援 (短期大学)	
キ 授業支援 (高等専門学校)	
ク 授業以外の支援 (高等専門学校)	

(3) 主な授業支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	43
(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等 (障害学生数別・学校種別)	
(2) 専門委員会等の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(4) 1) 障害学生支援担当部署の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
2) 障害学生支援担当者の配置状況 (障害学生数別・学校種別)	
3) 障害学生支援担当者の職種 (職種別・障害学生在籍数別)	
(5) 障害学生の相談受付窓口	
(6) 支援の申し出等に関する対応手順	
(7) 施設・設備の整備状況 (学校種別・内容別)	
(8) 支援学生 (障害学生を支援する学生) (支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況	53
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	57
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等 (障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容 (障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	66
進路状況 (学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況 (一部再掲)	68
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学科 (専攻) 別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 (学校種別)	
(4) 発達障害のある学生への支援 (支援内容別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮 (学校種別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況 (学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	75
調査票 (大学・大学院用)	87

< I・調査方法等 >

1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：平成 28 年 5 月 1 日現在

2. 表記区分

(1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

(2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

(3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書無・配慮有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)

3. 注意事項

(1) 本調査における用語の定義

- ①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
- ②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む)障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂)

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】

内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

他の慢性疾患……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等はここに計上する。

※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下の通り、障害が重複している者

○ 2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

(別途調査：14,15 ページ、26,27 ページ参照)

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回收状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	88	(86)	88	(86)	100.0	(100.0)
	私立	604	(610)	604	(610)	100.0	(100.0)
	小計	778	(782)	778	(782)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	17	(18)	17	(18)	100.0	(100.0)
	私立	319	(325)	319	(325)	100.0	(100.0)
	小計	336	(343)	336	(343)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,171	(1,182)	1,171	(1,182)	100.0	(100.0)

【留意点】

①表中の（ ）内は、平成27年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における平成28年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数

区 分		学部 (通学) (人)	学部 (通信) (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
大学	国立	444,391 (445,720)	—	150,023 (148,341)	—	289 (280)	594,703 (594,341)
	公立	131,315 (128,683)	—	16,066 (15,917)	—	100 (189)	147,481 (144,789)
	私立	1,991,267 (1,982,607)	165,387 (169,125)	80,574 (81,947)	4,125 (3,995)	455 (1,012)	2,241,808 (2,238,686)
	小計	2,566,973 (2,557,010)	165,387 (169,125)	246,663 (246,205)	4,125 (3,995)	844 (1,481)	2,983,992 (2,977,816)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	6,660 (6,776)	—	—	—	23 (110)	6,683 (6,886)
	私立	116,491 (121,169)	20,815 (20,337)	—	—	2,915 (2,101)	140,221 (143,607)
	小計	123,151 (127,945)	20,815 (20,337)	—	—	2,938 (2,211)	146,904 (150,493)
高等 専門学校	国立	48,806 (48,855)	—	—	—	2,766 (2,852)	51,572 (51,707)
	公立	2,752 (3,513)	—	—	—	130 (203)	2,882 (3,716)
	私立	2,250 (2,188)	—	—	—	44 (29)	2,294 (2,217)
	小計	53,808 (54,556)	—	—	—	2,940 (3,084)	56,748 (57,640)
計		2,743,932 (2,739,511)	186,202 (189,462)	246,663 (246,205)	4,125 (3,995)	6,722 (6,776)	3,187,644 (3,185,949)

2. 障害学生数

(1) 学校種別・課程別

< 概要 >

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は**27,256**人で、前年度（**21,703**人）より**5,553**人の増。
- 全学生**3,187,644**人に占める障害学生の在籍率は**0.86%**で、前年度（**0.68%**）より**0.18**ポイントの増。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している障害学生は**24,687**人で、前年度（**19,578**人）より**5,109**人の増。
 - ・「短期大学」は**1,411**人で前年度（**1,240**人）より**171**人の増、「高等専門学校」は**1,158**人で前年度（**885**人）より**273**人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
 - ・在籍者が最も多いのは「大学の学部（通学）」の**20,974**人で前年度（**16,427**人）より**4,547**人の増。次いで「大学の学部（通信）」の**1,882**人で前年度（**1,860**人）より**22**人の増。以下は「大学院（通学）」の**1,782**人で前年度（**1,244**人）より**538**人の増。「短期大学の学科（通学）」の**1,360**人で前年度（**1,198**人）より**162**人の増。「高等専門学校の本科（通学）」の**1,107**人で前年度（**841**人）より**266**人の増。
 - ・障害学生在籍率が最も高いのは「高等専門学校の本科（通学）」の**2.06%**で前年度（**1.54%**）より**0.52**ポイントの増。

表2 障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		障害学生数 (人)	学生数 (人)	障害学生 在籍率(※) (%)
大学	学部(通学)	20,974 (16,427)	2,566,973 (2,557,010)	0.82 (0.64)
	学部(通信)	1,882 (1,860)	165,387 (169,125)	1.14 (1.10)
	大学院(通学)	1,782 (1,244)	246,663 (246,205)	0.72 (0.51)
	大学院(通信)	40 (37)	4,125 (3,995)	0.97 (0.93)
	専攻科	9 (10)	844 (1,481)	1.07 (0.68)
	小計	24,687 (19,578)	2,983,992 (2,977,816)	0.83 (0.66)
短期大学	学科(通学)	1,360 (1,198)	123,151 (127,945)	1.10 (0.94)
	学科(通信)	32 (27)	20,815 (20,337)	0.15 (0.13)
	専攻科	19 (15)	2,938 (2,211)	0.65 (0.68)
	小計	1,411 (1,240)	146,904 (150,493)	0.96 (0.82)
高等 専門学校	本科(通学)	1,107 (841)	53,808 (54,556)	2.06 (1.54)
	専攻科	51 (44)	2,940 (3,084)	1.73 (1.43)
	小計	1,158 (885)	56,748 (57,640)	2.04 (1.54)
計		27,256 (21,703)	3,187,644 (3,185,949)	0.86 (0.68)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数（%）

(2) 学校種別・設置者別

< 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・障害学生数が最も多いのは「私立大学」の18,022人で、前年度(14,818人)より3,204人の増。次いで「国立大学」の5,257人で(同3,520人)より1,737人の増。「公立大学」の1,408人で(同1,240人)より168人の増。「私立短期大学」の1,352人で(同1,216人)より136人の増。「国立高等専門学校」の1,114人で(同806人)より308人の増。
- ・障害学生在籍率が最も高いのは「国立高等専門学校」の2.16%で(同1.56%)より0.60ポイントの増。以下、「私立高等専門学校」1.31%(同1.76%)、「私立短期大学」0.96%(同0.85%)、「公立大学」0.95%(同0.86%)。
- ・障害学生在籍率が最も低いのは「公立高等専門学校」の0.49%(同1.08%)。

表3 障害学生数 [学校種別・設置者別]

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率(※) (%)	
大学	国立	5,257	(3,520)	594,703	(594,341)	0.88	(0.59)
	公立	1,408	(1,240)	147,481	(144,789)	0.95	(0.86)
	私立	18,022	(14,818)	2,241,808	(2,238,686)	0.80	(0.66)
	小計	24,687	(19,578)	2,983,992	(2,977,816)	0.83	(0.66)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	59	(24)	6,683	(6,886)	0.88	(0.35)
	私立	1,352	(1,216)	140,221	(143,607)	0.96	(0.85)
	小計	1,411	(1,240)	146,904	(150,493)	0.96	(0.82)
高等 専門学校	国立	1,114	(806)	51,572	(51,707)	2.16	(1.56)
	公立	14	(40)	2,882	(3,716)	0.49	(1.08)
	私立	30	(39)	2,294	(2,217)	1.31	(1.76)
	小計	1,158	(885)	56,748	(57,640)	2.04	(1.54)
計		27,256	(21,703)	3,187,644	(3,185,949)	0.86	(0.68)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

(3) 障害種別・学校種別

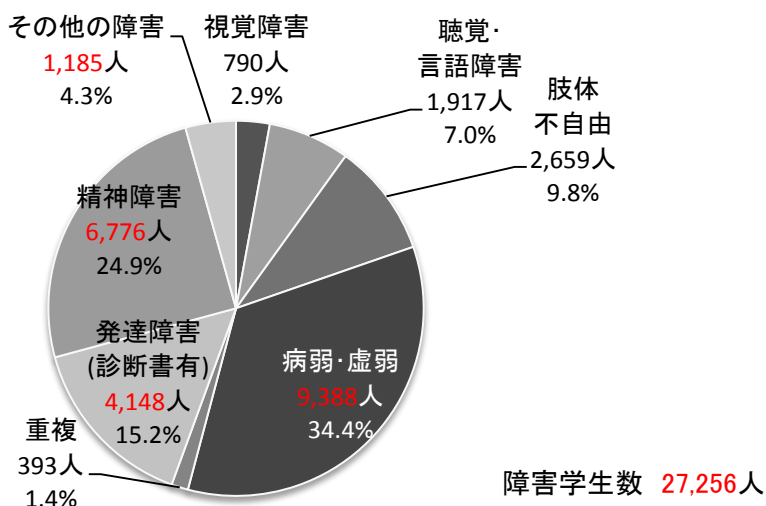
< 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・最も多いのは「病弱・虚弱」の9,388人で前年度(6,457人)より2,931人の増。次いで「精神障害」の6,776人で前年度(5,888人)より888人の増。以下は「発達障害(診断書有)」の4,148人で前年度(3,436人)より712人の増。「肢体不自由」の2,659人で前年度(2,544人)より115人の増。「聴覚・言語障害」の1,917人で前年度(1,733人)より184人の増。
- ・前年度より増が最多の「病弱・虚弱」の内訳は「内部障害等」が4,845人、「他の慢性疾患」が4,543人。

表4 障害学生数 [障害種別・学校種別]

区分		大学 (人)	短期大学 (人)	高等 専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)
視覚 障害	盲	159 (143)	1 (2)	0 (0)	160 (145)	0.6 (0.7)
	弱視	591 (579)	6 (9)	33 (24)	630 (612)	2.3 (2.8)
	小計	750 (722)	7 (11)	33 (24)	790 (757)	2.9 (3.5)
聴覚・ 言語 障害	聾	568 (567)	5 (5)	2 (3)	575 (575)	2.1 (2.6)
	難聴	1,157 (999)	58 (57)	47 (40)	1,262 (1,096)	4.6 (5.0)
	言語障害のみ	72 (56)	5 (4)	3 (2)	80 (62)	0.3 (0.3)
小計	1,797 (1,622)	68 (66)	52 (45)	1,917 (1,733)	7.0 (8.0)	
肢体 不自由	上肢機能障害	361 (327)	14 (15)	9 (8)	384 (350)	1.4 (1.6)
	下肢機能障害	913 (894)	36 (36)	14 (10)	963 (940)	3.5 (4.3)
	上下肢機能障害	814 (787)	19 (27)	6 (5)	839 (819)	3.1 (3.8)
	他の機能障害	452 (413)	15 (14)	6 (8)	473 (435)	1.7 (2.0)
	小計	2,540 (2,421)	84 (92)	35 (31)	2,659 (2,544)	9.8 (11.7)
病弱・ 虚弱	内部障害等	4,413 (3,520)	281 (356)	151 (108)	4,845 (3,984)	17.8 (18.4)
	他の慢性疾患	3,873 (2,033)	437 (298)	233 (142)	4,543 (2,473)	16.7 (11.4)
	小計	8,286 (5,553)	718 (654)	384 (250)	9,388 (6,457)	34.4 (29.8)
重複	377 (341)	12 (11)	4 (22)	393 (374)	1.4 (1.7)	
発達障害 (診断書 有)	S L D	133 (152)	18 (14)	19 (9)	170 (175)	0.6 (0.8)
	A D H D	667 (456)	23 (18)	116 (85)	806 (559)	3.0 (2.6)
	A S D	2,285 (2,017)	82 (66)	267 (215)	2,634 (2,298)	9.7 (10.6)
	発達障害の重複	434 (331)	14 (17)	90 (56)	538 (404)	2.0 (1.9)
	小計	3,519 (2,956)	137 (115)	492 (365)	4,148 (3,436)	15.2 (15.8)
精神障害	統合失調症等	762 (754)	26 (30)	11 (5)	799 (789)	2.9 (3.6)
	気分障害	1,989 (1,717)	65 (57)	24 (22)	2,078 (1,796)	7.6 (8.3)
	神経症性障害等	2,300 (1,872)	97 (91)	27 (33)	2,424 (1,996)	8.9 (9.2)
	摂食障害・睡眠障害等	510 (485)	34 (35)	22 (22)	566 (542)	2.1 (2.5)
	他の精神障害	832 (694)	58 (54)	19 (17)	909 (765)	3.3 (3.5)
小計	6,393 (5,522)	280 (267)	103 (99)	6,776 (5,888)	24.9 (27.1)	
その他の障害	1,025 (441)	105 (24)	55 (49)	1,185 (514)	4.3 (2.4)	
計	24,687 (19,578)	1,411 (1,240)	1,158 (885)	27,256 (21,703)	100.0 (100.0)	



(4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している障害学生 (24,687人) を学科 (専攻) 別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に、「社会科学」5,649人 (構成比22.9%)、「人文科学」4,628人 (同18.7%)、「工学」4,402人 (同17.8%)。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

区分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大学	視覚障害	盲	20	29	3	15	1	0	15	0	0	5	10	61	159
		弱視	75	123	18	65	6	6	119	0	5	49	13	112	591
		小計	95	152	21	80	7	6	134	0	5	54	23	173	750
	言語・聴覚障害	聾	66	140	10	234	5	4	21	0	4	53	16	15	568
		難聴	187	306	44	132	26	30	146	0	43	128	39	76	1,157
		言語障害のみ	9	23	3	16	1	2	9	0	0	2	1	6	72
		小計	262	469	57	382	32	36	176	0	47	183	56	97	1,797
	不自由	上肢機能障害	78	112	6	40	10	10	22	0	2	29	14	38	361
		下肢機能障害	181	270	23	81	15	20	103	1	7	59	37	116	913
		上下肢機能障害	171	281	29	64	7	15	72	1	5	30	18	121	814
		他の機能障害	90	156	8	38	5	3	42	0	0	18	14	78	452
		小計	520	819	66	223	37	48	239	2	14	136	83	353	2,540
	虚弱・病弱	内部障害等	727	949	144	787	183	137	568	0	181	403	143	191	4,413
		他の慢性疾患	498	657	61	1,023	224	136	406	0	84	420	163	201	3,873
		小計	1,225	1,606	205	1,810	407	273	974	0	265	823	306	392	8,286
	重複	78	84	8	44	5	5	76	0	4	21	11	41	377	
	(発達障害有)	S L D	23	32	2	38	6	0	8	0	0	5	14	5	133
		A D H D	146	156	34	123	27	13	32	0	8	36	64	28	667
		A S D	529	551	168	507	101	23	73	1	28	63	101	140	2,285
発達障害の重複		90	100	36	96	10	5	17	0	5	24	28	23	434	
小計		788	839	240	764	144	41	130	1	41	128	207	196	3,519	
精神障害	統合失調症等	178	208	23	98	20	14	46	0	8	66	51	50	762	
	気分障害	437	384	100	283	100	82	171	0	38	118	160	116	1,989	
	神経症性障害等	570	529	77	349	63	60	144	1	43	134	112	218	2,300	
	摂食障害・睡眠障害等	104	108	11	67	28	25	50	0	25	31	22	39	510	
	他の精神障害	180	218	36	106	31	20	68	0	22	28	72	51	832	
	小計	1,469	1,447	247	903	242	201	479	1	136	377	417	474	6,393	
その他の障害	191	233	20	196	31	28	124	0	28	86	35	53	1,025		
計		4,628	5,649	864	4,402	905	638	2,332	4	540	1,808	1,138	1,779	24,687	
構成比 (%)		18.7	22.9	3.5	17.8	3.7	2.6	9.4	0.0	2.2	7.3	4.6	7.2	100.0	

※ 学科 (専攻) の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している障害学生 (1,411人) を学科 (専攻) 別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に、「教育」354人 (構成比25.1%)、「家政」272人 (同19.3%)、「人文」241人 (同17.1%)。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

区 分		人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		弱視	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	6
		小計	2	1	1	0	0	0	1	1	0	1	7
	言語・聴覚障害	聾	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	5
		難聴	9	2	1	3	0	5	13	19	2	4	58
		言語障害のみ	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	5
		小計	10	5	1	3	0	6	14	21	4	4	68
	不自由	上肢機能障害	1	1	3	1	1	0	2	4	0	1	14
		下肢機能障害	8	6	1	0	0	5	4	7	0	5	36
		上下肢機能障害	6	3	0	2	0	0	3	1	3	1	19
		他の機能障害	1	0	1	0	0	3	3	3	3	1	15
		小計	16	10	5	3	1	8	12	15	6	8	84
	虚弱・病弱	内部障害等	36	24	5	15	1	31	71	77	3	18	281
		他の慢性疾患	63	28	4	30	2	33	86	152	10	29	437
		小計	99	52	9	45	3	64	157	229	13	47	718
	重複	1	0	0	0	0	0	5	4	2	0	12	
	(発達障害有)	S L D	6	0	0	4	1	0	1	4	1	1	18
		A D H D	7	0	0	6	0	1	1	1	4	3	23
		A S D	17	6	3	15	0	0	19	3	12	7	82
		発達障害の重複	3	0	0	1	0	4	4	1	0	1	14
		小計	33	6	3	26	1	5	25	9	17	12	137
	精神障害	統合失調症等	4	2	1	0	0	3	6	5	2	3	26
		気分障害	19	6	4	1	2	6	1	11	6	9	65
		神経症性障害等	24	7	3	1	0	9	10	18	17	8	97
		摂食障害・睡眠障害等	9	3	0	1	0	3	6	6	2	4	34
		他の精神障害	9	8	0	2	0	2	6	11	8	12	58
		小計	65	26	8	5	2	23	29	51	35	36	280
その他の障害	15	9	0	4	0	9	29	24	7	8	105		
計		241	109	27	86	7	115	272	354	84	116	1,411	
構成比 (%)		17.1	7.7	1.9	6.1	0.5	8.2	19.3	25.1	6.0	8.2	100.0	

※ 学科 (専攻) の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している障害学生（1,158人）を学科（専攻）別に見ると、構成比の99.2%を占めているのが「工業」1,149人。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

区 分			社 会	工 業	商 船	芸 術	計
			(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
高等 専門 学校	視 覚 障 害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	33	0	0	33
		小計	0	33	0	0	33
	言 語 障 害 ・ 聴 覚 障 害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	46	0	1	47
		言語障害のみ	0	3	0	0	3
		小計	0	51	0	1	52
	不 肢 自 由	上肢機能障害	0	9	0	0	9
		下肢機能障害	0	14	0	0	14
		上下肢機能障害	0	6	0	0	6
		他の機能障害	0	6	0	0	6
		小計	0	35	0	0	35
	病 弱 ・ 虚 弱	内部障害等	0	150	0	1	151
		他の慢性疾患	0	231	0	2	233
		小計	0	381	0	3	384
	重複		0	4	0	0	4
	(発 達 障 害 書 有)	S L D	0	18	1	0	19
		A D H D	0	116	0	0	116
		A S D	1	266	0	0	267
		発達障害の重複	2	88	0	0	90
		小計	3	488	1	0	492
	精 神 障 害	統合失調症等	0	11	0	0	11
		気分障害	0	24	0	0	24
		神経症性障害等	0	27	0	0	27
		摂食障害・睡眠障害等	1	21	0	0	22
		他の精神障害	0	19	0	0	19
		小計	1	102	0	0	103
その他の障害		0	55	0	0	55	
計			4	1,149	1	4	1,158
構成比 (%)			0.3	99.2	0.1	0.3	100.0

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、精神障害との重複が最も多く103人（構成比46.6%）、次いで病弱・虚弱との重複が62人（同28.1%）となっている。
 - 精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、発達障害との重複が最も多く174人（構成比53.9%）、次いで病弱・虚弱との重複が68人（同21.1%）となっている。
- なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

区分		大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比
		S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計		
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
視覚障害	盲	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5
	弱視	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.4
	小計	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.8
言語・聴覚障害	聾	0	4	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.7
	難聴	0	3	7	2	12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13	5.9
	言語障害のみ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5
	小計	0	8	9	2	19	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	20	9.0
不自由	上肢機能障害	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.9
	下肢機能障害	1	0	3	0	4	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	6	2.7
	上下肢機能障害	1	1	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2.3
	他の機能障害	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	2.3
	小計	2	1	10	2	15	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2	18	8.1
病弱・虚弱	内部障害等	0	3	11	4	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8.1
	他の慢性疾患	2	5	22	4	33	0	0	2	2	4	0	3	1	3	7	44	19.9
	小計	2	8	33	8	51	0	0	2	2	4	0	3	1	3	7	62	28.1
重複		0	2	3	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	2.7
精神障害	統合失調症等	0	1	10	2	13	0	1	0	0	1	0	0	3	0	3	17	7.7
	気分障害	0	11	13	3	27	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	28	12.7
	神経症性障害等	0	6	32	1	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	17.6
	摂食障害・睡眠障害等	0	1	5	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	9	4.1
	他の精神障害	0	1	5	3	9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	4.5
	小計	0	20	65	9	94	0	1	2	0	3	0	0	6	0	6	103	46.6
その他の障害		0	1	3	2	6	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	8	3.6
計		4	40	126	24	194	1	3	4	2	10	0	4	9	4	17	221	100.0

表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

区分	大学						短期大学						高等専門学校						計	構成比	
	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
視覚障害	盲	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	弱視	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	小計	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6
聴覚・ 言語障害	聾	2	10	2	1	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4.6
	難聴	2	2	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1.9
	言語障害のみ	0	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.9
	小計	4	13	3	1	3	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	7.4
肢体 不自由	上肢機能障害	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6
	下肢機能障害	2	0	2	0	2	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	7	2.2
	上下肢機能障害	2	1	2	0	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	3.4
	他の機能障害	0	1	3	0	3	7	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	2.5
	小計	4	3	8	0	11	26	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	28	8.7
病弱・ 虚弱	内部障害等	1	7	13	1	8	30	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	32	9.9
	他の慢性疾患	8	7	11	3	7	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	11.1
	小計	9	14	24	4	15	66	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	68	21.1
重複	0	1	3	0	5	9	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	10	3.1
発達障害	SLD	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	ADHD	1	15	5	3	4	28	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	31	9.6
	ASD	4	35	43	10	19	111	1	1	1	0	0	3	0	1	4	1	0	6	120	37.2
	発達障害の重複	2	5	5	1	7	20	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	22	6.8
	小計	7	56	53	14	30	160	2	1	2	0	0	5	0	3	5	1	0	9	174	53.9
その他の障害	0	3	8	2	2	15	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	17	5.3
計	25	90	99	21	67	302	2	1	3	3	3	12	0	3	5	1	0	9	323	100.0	

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

- 障害学生が在籍している学校は899校で、前年度（880校）より19校の増。
- 全学校（1,171校）に占める障害学生在籍校（899校）の割合は76.8%で、前年度（74.5%）より2.3ポイントの増。
- 障害種別の在籍校数が多い順に並べると次のとおり。
「病弱・虚弱」629校（前年度574校）、「精神障害」596校（同564校）、「肢体不自由」573校（同543校）、「発達障害（診断書有）」572校（同568校）、「聴覚・言語障害」478校（同449校）、「その他の障害」311校（同186校）、「視覚障害」245校（同243校）、「重複」166校（同143校）。

表10 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	55 (53)	1 (2)	0 (0)	56 (55)
	弱視	210 (207)	6 (9)	11 (11)	227 (227)
	視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	227 (221)	7 (11)	11 (11)	245 (243)
聴覚・ 言語障害	聾	111 (111)	5 (5)	2 (3)	118 (119)
	難聴	362 (331)	44 (40)	21 (19)	427 (390)
	言語障害のみ	52 (39)	4 (3)	2 (1)	58 (43)
	聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	405 (381)	51 (47)	22 (21)	478 (449)
肢体 不自由	上肢機能障害	195 (180)	14 (14)	6 (7)	215 (201)
	下肢機能障害	354 (348)	33 (30)	11 (9)	398 (387)
	上下肢機能障害	280 (275)	18 (21)	5 (5)	303 (301)
	他の機能障害	166 (146)	14 (14)	2 (2)	182 (162)
	肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	490 (465)	64 (60)	19 (18)	573 (543)
病弱・虚弱	内部障害等	434 (394)	75 (82)	27 (21)	536 (497)
	他の慢性疾患	322 (275)	91 (67)	24 (19)	437 (361)
	病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	484 (445)	112 (103)	33 (26)	629 (574)
重複	重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	156 (132)	9 (9)	1 (2)	166 (143)
発達障害 (診断書有)	SLD	88 (75)	13 (11)	12 (8)	113 (94)
	ADHD	250 (205)	17 (16)	35 (30)	302 (251)
	ASD	392 (383)	41 (43)	42 (40)	475 (466)
	発達障害の重複	189 (152)	11 (15)	27 (27)	227 (194)
	発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	459 (456)	67 (68)	46 (44)	572 (568)
精神障害	統合失調症等	258 (244)	23 (23)	8 (4)	289 (271)
	気分障害	327 (293)	39 (39)	10 (10)	376 (342)
	神経症性障害等	354 (304)	44 (46)	16 (15)	414 (365)
	摂食障害・睡眠障害等	202 (183)	23 (23)	12 (12)	237 (218)
	他の精神障害	267 (229)	30 (29)	11 (10)	308 (268)
	精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	474 (443)	91 (95)	31 (26)	596 (564)
その他の障害	その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	248 (161)	47 (15)	16 (10)	311 (186)
障害学生在籍学校数		667 (650)	180 (177)	52 (53)	899 (880)
比率 (%) (※)		85.7 (83.1)	53.6 (51.6)	91.2 (93.0)	76.8 (74.5)
全学校数		778 (782)	336 (343)	57 (57)	1,171 (1,182)

※ 比率：障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

○障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

- ・多い順に、「21人以上」336校（前年度288校）、「0人」272校（同302校）、「2～5人」207校（同222校）、「11～20人」138校（同145校）、「6～10人」120校（同119校）、「1人」98校（同106校）。

○障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

- ・多い順に、「1,000～1,999人」201校（前年度202校）、「1～499人」183校（同178校）、「500～999人」175校（同163校）、「2,000～4,999人」170校（同169校）、「5,000～9,999人」101校（同101校）、「10,000人以上」69校（同67校）。

表11 障害学生在籍学校数〔学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別〕

区分	学校種別	障害学生在籍者数								計 ② (校)	1人以上 在籍 ① (校)	1人以上 在籍率 (※2) (%)	
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	27年度 在籍校 (※1) (校)	(%)			(%)	
10,000人 以上	大学	67 (61)	1 (4)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	69 (68)	69 (67)	100.0	(98.5)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0	(0.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0	(0.0)	
	小計	67 (61)	1 (4)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	69 (68)	69 (67)	100.0	(98.5)	
5,000 ～ 9,999人	大学	67 (65)	19 (22)	9 (10)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	(0)	100 (100)	100 (100)	100.0	(100.0)	
	短期大学	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	1 (1)	1 (1)	100.0	(100.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0	(0.0)	
	小計	68 (65)	19 (23)	9 (10)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	(0)	101 (101)	101 (101)	100.0	(100.0)	
2,000 ～ 4,999人	大学	87 (74)	33 (37)	24 (24)	20 (30)	4 (3)	3 (5)	(1)	171 (173)	168 (168)	98.2	(97.1)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (2)	(0)	3 (3)	2 (1)	66.7	(33.3)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0	(0.0)	
	小計	87 (74)	33 (37)	24 (24)	21 (31)	5 (3)	4 (7)	(1)	174 (176)	170 (169)	97.7	(96.0)	
1,000 ～ 1,999人	大学	46 (42)	32 (32)	23 (25)	48 (47)	15 (17)	22 (20)	(11)	186 (183)	164 (163)	88.2	(89.1)	
	短期大学	2 (1)	4 (3)	2 (4)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	(0)	12 (11)	11 (10)	91.7	(90.9)	
	高等専門学校	10 (8)	9 (8)	3 (4)	3 (5)	1 (4)	3 (1)	(2)	29 (30)	26 (29)	89.7	(96.7)	
	小計	58 (51)	45 (43)	28 (33)	53 (53)	17 (22)	26 (22)	(13)	227 (224)	201 (202)	88.5	(90.2)	
500 ～ 999人	大学	21 (18)	12 (11)	17 (14)	36 (39)	17 (17)	26 (30)	(8)	129 (129)	103 (99)	79.8	(76.7)	
	短期大学	6 (2)	4 (5)	11 (5)	15 (20)	10 (8)	30 (35)	(5)	76 (75)	46 (40)	60.5	(53.3)	
	高等専門学校	8 (2)	5 (8)	6 (5)	6 (5)	1 (4)	2 (3)	(0)	28 (27)	26 (24)	92.9	(88.9)	
	小計	35 (22)	21 (24)	34 (24)	57 (64)	28 (29)	58 (68)	(13)	233 (231)	175 (163)	75.1	(70.6)	
1 ～ 499人	大学	9 (7)	7 (5)	8 (6)	24 (17)	15 (18)	60 (76)	(8)	123 (129)	63 (53)	51.2	(41.1)	
	短期大学	12 (8)	12 (9)	17 (20)	46 (54)	33 (34)	124 (128)	(26)	244 (253)	120 (125)	49.2	(49.4)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0	(0.0)	
	小計	21 (15)	19 (14)	25 (26)	70 (71)	48 (52)	184 (204)	(34)	367 (382)	183 (178)	49.9	(46.6)	
学校 種別 計	大学	297 (267)	104 (111)	81 (81)	134 (136)	51 (55)	111 (132)	(28)	778 (782)	667 (650)	85.7 (83.1)		
	短期大学	21 (11)	20 (18)	30 (29)	64 (76)	45 (43)	156 (166)	(31)	336 (343)	180 (177)	53.6 (51.6)		
	高等専門学校	18 (10)	14 (16)	9 (9)	9 (10)	2 (8)	5 (4)	(2)	57 (57)	52 (53)	91.2 (93.0)		
計	336 (288)	138 (145)	120 (119)	207 (222)	98 (106)	272 (302)	(61)	1,171 (1,182)	899 (880)	76.8 (74.5)			
構成比 (%)	28.7 (24.4)	11.8 (12.3)	10.2 (10.1)	17.7 (18.8)	8.4 (9.0)	23.2 (25.5)		100.0 (100.0)					

※1 「27年度在籍校」：平成28年度障害学生数0人の学校のうち、27年度に1人以上の障害学生が在籍していた学校数

※2 1人以上在籍率：①1人以上在籍校数÷②計（項目毎の全体の学校数）×100（%）

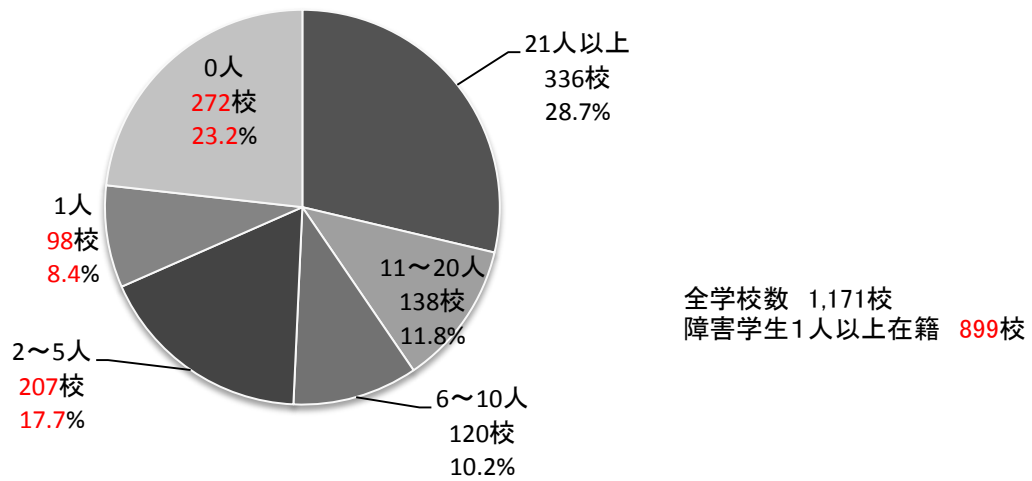


図2 障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

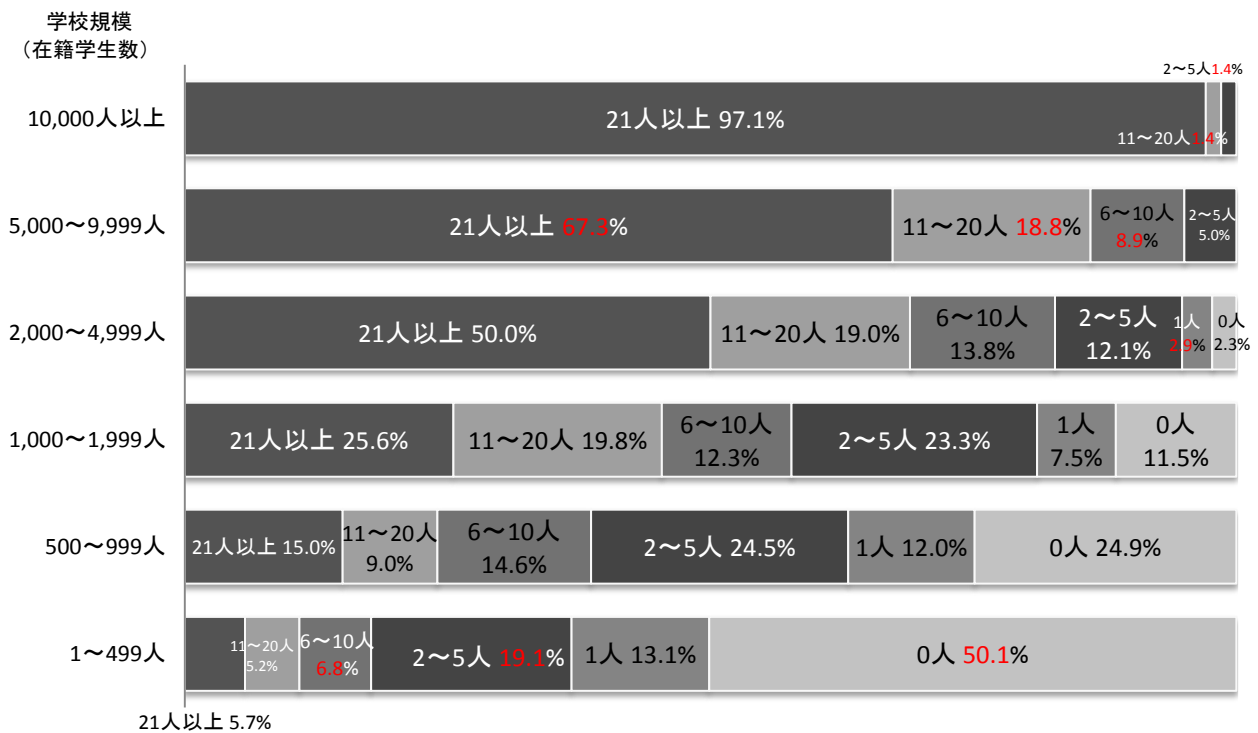


図3 障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・障害学生在籍者数別）

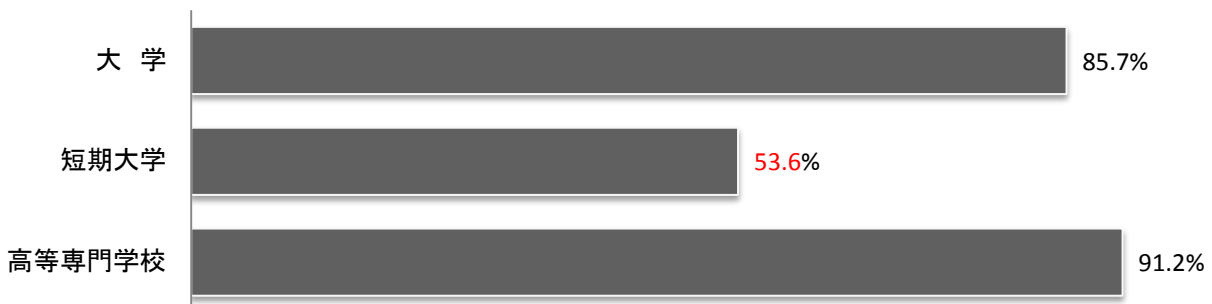


図4 障害学生1人以上在籍率（学校種別）

4. 支援障害学生数

(1) 学校種別・課程別

< 概要 >

- 障害学生（27,256人）のうち支援障害学生（※1）の総数は13,849人で、前年度（11,476人）より2,373人の増。
- 支援障害学生在籍率（※2）は0.43%で前年度（0.36%）より0.07ポイントの増、障害学生支援率（※3）は50.8%で前年度（52.9%）より2.1ポイントの減。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している支援障害学生は12,767人で前年度（10,516人）より2,251人の増。
 - ・「短期大学」は544人で前年度（530人）より14人の増、「高等専門学校」は538人で前年度（430人）より108人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
 - ・在籍者が最も多いのは「大学の学部（通学）」の10,641人で前年度（8,740人）より1,901人の増。次いで「大学院（通学）」の1,195人で前年度（785人）より410人の増、以下は「大学の学部（通信）」の906人で前年度（972人）より66人の減、「短期大学の学科（通学）」の530人で前年度（514人）より16人の増、「高等専門学校の本科（通学）」の513人で、前年度（410人）より103人の増。

表12 支援障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	学部(通学)	2,566,973 (2,557,010)	20,974 (16,427)	10,641 (8,740)	0.41 (0.34)	50.7 (53.2)
	学部(通信)	165,387 (169,125)	1,882 (1,860)	906 (972)	0.55 (0.57)	48.1 (52.3)
	大学院(通学)	246,663 (246,205)	1,782 (1,244)	1,195 (785)	0.48 (0.32)	67.1 (63.1)
	大学院(通信)	4,125 (3,995)	40 (37)	18 (14)	0.44 (0.35)	45.0 (37.8)
	専攻科	844 (1,481)	9 (10)	7 (5)	0.83 (0.34)	77.8 (50.0)
	小計	2,983,992 (2,977,816)	24,687 (19,578)	12,767 (10,516)	0.43 (0.35)	51.7 (53.7)
短期大学	学科(通学)	123,151 (127,945)	1,360 (1,198)	530 (514)	0.43 (0.40)	39.0 (42.9)
	学科(通信)	20,815 (20,337)	32 (27)	11 (11)	0.05 (0.05)	34.4 (40.7)
	専攻科	2,938 (2,211)	19 (15)	3 (5)	0.10 (0.23)	15.8 (33.3)
	小計	146,904 (150,493)	1,411 (1,240)	544 (530)	0.37 (0.35)	38.6 (42.7)
高等 専門学校	本科(通学)	53,808 (54,556)	1,107 (841)	513 (410)	0.95 (0.75)	46.3 (48.8)
	専攻科	2,940 (3,084)	51 (44)	25 (20)	0.85 (0.65)	49.0 (45.5)
	小計	56,748 (57,640)	1,158 (885)	538 (430)	0.95 (0.75)	46.5 (48.6)
計		3,187,644 (3,185,949)	27,256 (21,703)	13,849 (11,476)	0.43 (0.36)	50.8 (52.9)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成28年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(2) 学校種別・設置者別

< 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生数が最も多いのは「私立大学」の8,464人で、（前年度7,621人）より843人の増。次いで「国立大学」の3,735人で（同2,369人）より1,366人の増、「公立大学」の568人で（同526人）より42人の増、「私立短期大学」の516人で（同520人）より4人の減、「国立高等専門学校」の516人で（同386人）より130人の増。
- ・支援障害学生在籍率（※2）は、「大学」は0.43%（同0.35%）、「短期大学」は0.37%（同0.35%）、「高等専門学校」は0.95%（同0.75%）となっている。
- ・障害学生支援率（※3）については、「国立大学」71.0%（同67.3%）、「公立高等専門学校」64.3%（同82.5%）、「公立短期大学」47.5%（同41.7%）の順に高い。

表13 支援障害学生数〔学校種別・設置者別〕

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	国立	594,703 (594,341)	5,257 (3,520)	3,735 (2,369)	0.63 (0.40)	71.0 (67.3)
	公立	147,481 (144,789)	1,408 (1,240)	568 (526)	0.39 (0.36)	40.3 (42.4)
	私立	2,241,808 (2,238,686)	18,022 (14,818)	8,464 (7,621)	0.38 (0.34)	47.0 (51.4)
	小計	2,983,992 (2,977,816)	24,687 (19,578)	12,767 (10,516)	0.43 (0.35)	51.7 (53.7)
短期大学	国立	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	公立	6,683 (6,886)	59 (24)	28 (10)	0.42 (0.15)	47.5 (41.7)
	私立	140,221 (143,607)	1,352 (1,216)	516 (520)	0.37 (0.36)	38.2 (42.8)
	小計	146,904 (150,493)	1,411 (1,240)	544 (530)	0.37 (0.35)	38.6 (42.7)
高等 専門学校	国立	51,572 (51,707)	1,114 (806)	516 (386)	1.00 (0.75)	46.3 (47.9)
	公立	2,882 (3,716)	14 (40)	9 (33)	0.31 (0.89)	64.3 (82.5)
	私立	2,294 (2,217)	30 (39)	13 (11)	0.57 (0.50)	43.3 (28.2)
	小計	56,748 (57,640)	1,158 (885)	538 (430)	0.95 (0.75)	46.5 (48.6)
計		3,187,644 (3,185,949)	27,256 (21,703)	13,849 (11,476)	0.43 (0.36)	50.8 (52.9)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成28年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・最も多いのは「精神障害」の4,230人で前年度(3,573人)より657人の増。次いで「発達障害(診断書有)」の3,021人で前年度(2,562人)より459人の増。「病弱・虚弱」2,463人で前年度(1,720人)より743人の増。「肢体不自由」1,584人で前年度(1,473人)より111人の増。

○障害学生支援率(※1)を多い順位に並べると次のとおり。

- ・「視覚障害」77.2%(前年度73.4%)、「発達障害(診断書有)」72.8%(同74.6%)、「重複」71.5%(同68.7%)、「聴覚・言語障害」64.7%(同65.1%)、「精神障害」62.4%(同60.7%)、「肢体不自由」59.6%(同57.9%)、「その他の障害」35.4%(同40.1%)、「病弱・虚弱」26.2%(同26.6%)。

表14 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

区分	大学			短期大学			高等専門学校			計				
	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	(※ 1 支 障 害 学 生 率 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	(※ 1 支 障 害 学 生 率 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	(※ 1 支 障 害 学 生 率 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	(※ 2 構 成 比 (%)	(※ 1 支 障 害 学 生 率 (%)	
視覚障害	盲	150 (143)	150 (136)	94.3 (95.1)	1 (2)	0 (1)	0.0 (50.0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	160 (145)	150 (137)	1.1 (1.2)	93.8 (94.5)
	弱視	591 (579)	443 (405)	75.0 (69.9)	6 (9)	5 (4)	83.3 (44.4)	33 (24)	12 (10)	36.4 (41.7)	630 (612)	460 (419)	3.3 (3.7)	73.0 (68.5)
	小計	750 (722)	593 (541)	79.1 (74.9)	7 (11)	5 (5)	71.4 (45.5)	33 (24)	12 (10)	36.4 (41.7)	790 (757)	610 (556)	4.4 (4.8)	77.2 (73.4)
言語・聴覚障害	聾	568 (567)	531 (521)	93.5 (91.9)	5 (5)	3 (5)	60.0 (100.0)	2 (3)	2 (2)	100.0 (66.7)	575 (575)	536 (528)	3.9 (4.6)	93.2 (91.8)
	難聴	1,157 (999)	622 (534)	53.8 (53.5)	58 (57)	25 (21)	43.1 (36.8)	47 (40)	20 (16)	42.6 (40.0)	1,262 (1,096)	667 (571)	4.8 (5.0)	52.9 (52.1)
	言語障害のみ	72 (56)	34 (27)	47.2 (48.2)	5 (4)	2 (3)	40.0 (75.0)	3 (2)	2 (0)	66.7 (0.0)	80 (62)	38 (30)	0.3 (0.3)	47.5 (48.4)
	小計	1,797 (1,622)	1,187 (1,082)	66.1 (66.7)	68 (66)	30 (29)	44.1 (43.9)	52 (45)	24 (18)	46.2 (40.0)	1,917 (1,733)	1,241 (1,129)	9.0 (9.8)	64.7 (65.1)
肢体不自由	上肢機能障害	361 (327)	142 (129)	39.3 (39.4)	14 (15)	3 (5)	21.4 (33.3)	9 (8)	4 (2)	44.4 (25.0)	384 (350)	149 (136)	1.1 (1.2)	38.8 (38.9)
	下肢機能障害	913 (894)	521 (471)	57.1 (52.7)	36 (36)	15 (20)	41.7 (55.6)	14 (10)	10 (8)	71.4 (80.0)	963 (940)	546 (499)	3.9 (4.3)	56.7 (53.1)
	上下肢機能障害	814 (787)	558 (532)	68.6 (67.6)	19 (27)	14 (18)	73.7 (66.7)	6 (5)	2 (3)	33.3 (60.0)	839 (819)	574 (553)	4.1 (4.8)	68.4 (67.5)
	他の機能障害	452 (413)	304 (267)	67.3 (64.6)	15 (14)	6 (12)	40.0 (85.7)	6 (8)	5 (6)	83.3 (75.0)	473 (435)	315 (285)	2.3 (2.5)	66.6 (65.5)
	小計	2,540 (2,421)	1,525 (1,399)	60.0 (57.8)	84 (92)	38 (55)	45.2 (59.8)	35 (31)	21 (19)	60.0 (61.3)	2,659 (2,544)	1,584 (1,473)	11.4 (12.8)	59.6 (57.9)
病弱・虚弱	内部障害等	4,413 (3,520)	1,166 (926)	26.4 (26.3)	281 (356)	73 (91)	26.0 (25.6)	151 (108)	85 (51)	56.3 (47.2)	4,845 (3,984)	1,324 (1,068)	9.6 (9.3)	27.3 (26.8)
	他の慢性疾患	3,873 (2,033)	955 (548)	24.7 (27.0)	437 (298)	100 (64)	22.9 (21.5)	233 (142)	84 (40)	36.1 (28.2)	4,543 (2,473)	1,139 (652)	8.2 (5.7)	25.1 (26.4)
	小計	8,286 (5,553)	2,121 (1,474)	25.6 (26.5)	718 (654)	173 (155)	24.1 (23.7)	384 (250)	169 (91)	44.0 (36.4)	9,388 (6,457)	2,463 (1,720)	17.8 (15.0)	26.2 (26.6)
重複	377 (341)	270 (232)	71.6 (68.0)	12 (11)	7 (7)	58.3 (63.6)	4 (22)	4 (18)	100.0 (81.8)	393 (374)	281 (257)	2.0 (2.2)	71.5 (68.7)	
(発達障害)	SLD	133 (152)	87 (114)	65.4 (75.0)	18 (14)	12 (10)	66.7 (71.4)	19 (9)	7 (7)	36.8 (77.8)	170 (175)	106 (131)	0.8 (1.1)	62.4 (74.9)
	ADHD	667 (456)	477 (335)	71.5 (73.5)	23 (18)	15 (17)	65.2 (94.4)	116 (85)	42 (37)	36.2 (43.5)	806 (559)	534 (389)	3.9 (3.4)	66.3 (69.6)
	ASD	2,285 (2,017)	1,794 (1,566)	78.5 (77.6)	82 (66)	63 (56)	76.8 (84.8)	267 (215)	112 (105)	41.9 (48.8)	2,634 (2,298)	1,969 (1,727)	14.2 (15.0)	74.8 (75.2)
	発達障害の重複	434 (331)	344 (261)	79.3 (78.9)	14 (17)	9 (11)	64.3 (64.7)	90 (56)	59 (43)	65.6 (76.8)	538 (404)	412 (315)	3.0 (2.7)	76.6 (78.0)
	小計	3,519 (2,956)	2,702 (2,276)	76.8 (77.0)	137 (115)	99 (94)	72.3 (81.7)	492 (365)	220 (192)	44.7 (52.6)	4,148 (3,436)	3,021 (2,562)	21.8 (22.3)	72.8 (74.6)
精神障害	統合失調症等	762 (754)	430 (429)	56.4 (56.9)	26 (30)	12 (19)	46.2 (63.3)	11 (5)	10 (3)	90.9 (60.0)	799 (789)	452 (451)	3.3 (3.9)	56.6 (57.2)
	気分障害	1,989 (1,717)	1,207 (991)	60.7 (57.7)	65 (57)	40 (33)	61.5 (57.9)	24 (22)	7 (13)	29.2 (59.1)	2,078 (1,796)	1,254 (1,037)	9.1 (9.0)	60.3 (57.7)
	神経症性障害等	2,300 (1,872)	1,577 (1,234)	68.6 (65.9)	97 (91)	56 (59)	57.7 (64.8)	27 (33)	19 (29)	70.4 (87.9)	2,424 (1,996)	1,652 (1,322)	11.9 (11.5)	68.2 (66.2)
	摂食障害・睡眠障害等	510 (485)	277 (274)	54.3 (56.5)	34 (35)	16 (25)	47.1 (71.4)	22 (22)	14 (12)	63.6 (54.5)	566 (542)	307 (311)	2.2 (2.7)	54.2 (57.4)
	他の精神障害	832 (694)	512 (403)	61.5 (58.1)	58 (54)	34 (38)	58.6 (70.4)	19 (17)	19 (11)	100.0 (64.7)	909 (765)	565 (452)	4.1 (3.9)	62.2 (59.1)
	小計	6,393 (5,522)	4,003 (3,331)	62.6 (60.3)	280 (267)	158 (174)	56.4 (65.2)	103 (99)	69 (68)	67.0 (68.7)	6,776 (5,888)	4,230 (3,573)	30.5 (31.1)	62.4 (60.7)
その他の障害	1,025 (441)	366 (181)	35.7 (41.0)	105 (24)	34 (11)	32.4 (45.8)	55 (49)	19 (14)	34.5 (28.6)	1,185 (514)	419 (206)	3.0 (1.8)	35.4 (40.1)	
計	24,687 (19,578)	12,767 (10,516)	51.7 (53.7)	1,411 (1,240)	544 (530)	38.6 (42.7)	1,158 (885)	538 (430)	46.5 (48.6)	27,256 (21,703)	13,849 (11,476)	100.0 (100.0)	50.8 (52.9)	

※1 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

※2 構成比：支援障害学生数÷支援障害学生数の計×100(%)

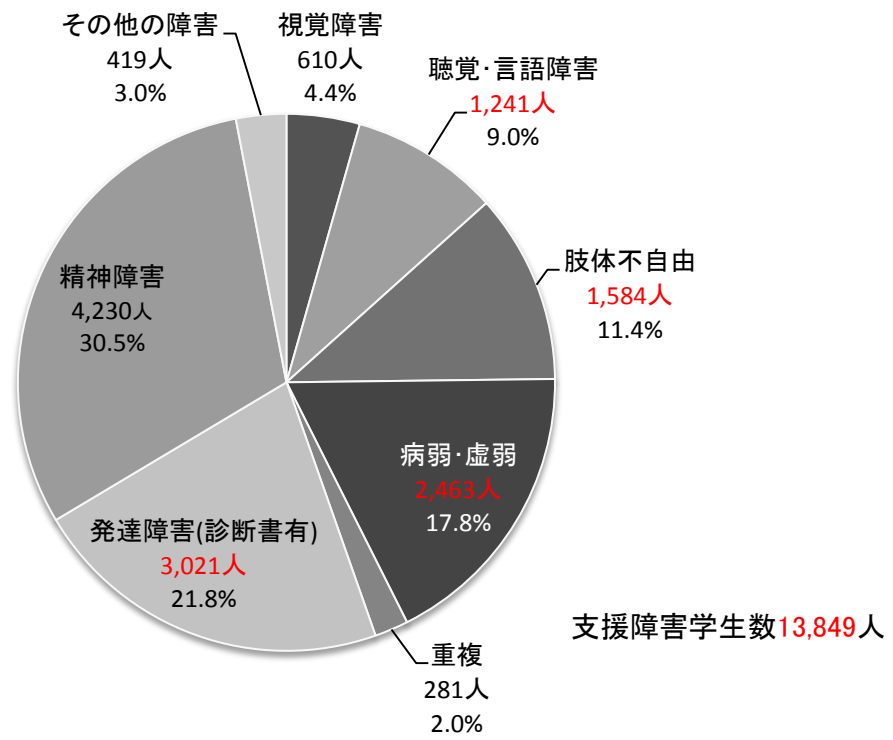


図5 支援障害学生数

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している支援障害学生(12,767人)を学科(専攻)別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に、「社会科学」2,868人(構成比22.5%)、「人文科学」2,585人(同20.2%)、「工学」2,380人(同18.6%)。

表15 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大学	視覚障害	盲	18	28	3	15	0	0	15	0	0	4	9	58	150
		弱視	52	81	12	42	4	4	105	0	4	32	6	101	443
		小計	70	109	15	57	4	4	120	0	4	36	15	159	593
	言聴 語障・ 害	聾	59	129	8	227	5	4	16	0	4	50	15	14	531
		難聴	100	161	15	82	13	14	73	0	18	74	22	50	622
		言語障害のみ	5	12	2	10	0	0	3	0	0	0	1	1	34
		小計	164	302	25	319	18	18	92	0	22	124	38	65	1,187
	不肢 自由	上肢機能障害	30	41	1	13	3	7	8	0	0	8	3	28	142
		下肢機能障害	106	149	14	40	7	11	58	1	3	25	14	93	521
		上下肢機能障害	123	195	17	43	5	8	34	0	3	15	9	106	558
		他の機能障害	60	94	3	26	5	2	20	0	0	13	9	72	304
		小計	319	479	35	122	20	28	120	1	6	61	35	299	1,525
	病弱・ 虚弱	内部障害等	204	231	21	259	73	28	108	0	51	87	51	53	1,166
		他の慢性疾患	131	116	8	284	76	51	60	0	26	119	58	26	955
		小計	335	347	29	543	149	79	168	0	77	206	109	79	2,121
	重複	55	62	5	33	4	2	55	0	2	11	5	36	270	
	(診断書 有害)	S L D	15	22	2	29	5	0	2	0	0	3	8	1	87
		A D H D	106	113	23	83	21	8	20	0	5	26	47	25	477
		A S D	438	432	132	391	70	19	48	1	22	41	80	120	1,794
		発達障害の重複	75	74	29	73	10	4	15	0	3	20	20	21	344
小計		634	641	186	576	106	31	85	1	30	90	155	167	2,702	
精神 障害	統合失調症等	106	110	17	61	14	9	16	0	6	19	30	42	430	
	気分障害	236	218	46	226	76	50	96	0	15	51	97	96	1,207	
	神経症性障害等	414	322	58	272	44	41	75	1	31	70	62	187	1,577	
	摂食障害・睡眠障害等	50	54	11	44	19	16	22	0	12	13	13	23	277	
	他の精神障害	110	137	23	59	23	8	37	0	15	16	45	39	512	
小計	916	841	155	662	176	124	246	1	79	169	247	387	4,003		
その他の障害	92	87	5	68	13	3	26	0	11	18	18	25	366		
計		2,585	2,868	455	2,380	490	289	912	3	231	715	622	1,217	12,767	
構成比 (%)		20.2	22.5	3.6	18.6	3.8	2.3	7.1	0.0	1.8	5.6	4.9	9.5	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している支援障害学生(544人)を学科(専攻)別に見ると、構成比が10%を超えているは次のとおり。

・多い順に、「人文」107人(構成比19.7%)、「教育」87人(同16.0%)、「家政」84人(同15.4%)、「その他」が55人(構成比10.1%)。

表16 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(短期大学)

区分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		弱視	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0
		小計	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0
	言聴語覚障害	聾	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
		難聴	6	0	1	3	0	1	8	3	2	1
		言語障害のみ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		小計	7	2	1	3	0	1	9	4	2	1
	不肢自由	上肢機能障害	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
		下肢機能障害	2	4	0	0	0	1	2	2	0	4
		上下肢機能障害	4	2	0	2	0	0	2	1	3	0
		他の機能障害	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0
		小計	6	6	2	3	0	1	6	4	6	4
	病弱・虚弱	内部障害等	16	6	5	5	0	8	13	10	0	10
		他の慢性疾患	16	5	4	5	1	10	15	33	5	6
		小計	32	11	9	10	1	18	28	43	5	16
	重複	1	0	0	0	0	0	1	3	2	0	
	(発達障害有)	S L D	2	0	0	4	1	0	1	2	1	1
		A D H D	3	0	0	3	0	1	1	1	3	3
		A S D	12	6	2	14	0	0	12	2	9	6
		発達障害の重複	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1
		小計	19	6	2	22	1	2	17	6	13	11
	精神障害	統合失調症等	2	2	1	0	0	0	3	2	0	2
		気分障害	9	3	4	1	2	4	0	6	5	6
		神経症性障害等	13	4	3	0	0	8	6	5	12	5
		摂食障害・睡眠障害等	3	2	0	0	0	2	4	3	1	1
		他の精神障害	5	5	0	2	0	2	4	4	5	7
		小計	32	16	8	3	2	16	17	20	23	21
その他の障害	8	4	0	2	0	3	6	6	3	2		
計	107	46	23	43	4	41	84	87	54	55		
構成比 (%)	19.7	8.5	4.2	7.9	0.7	7.5	15.4	16.0	9.9	10.1		

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している支援障害学生（538人）を学科（専攻）別に見ると、構成比99.3%を占めているのが「工業」の534人。

表17 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

区 分		社 会	工 業	商 船	芸 術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等 専門 学校	視 覚 障 害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	12	0	0	12
		小計	0	12	0	0	12
	言 聴 語 覚 障 害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	20	0	0	20
		言語障害のみ	0	2	0	0	2
		小計	0	24	0	0	24
	不 肢 自 由	上肢機能障害	0	4	0	0	4
		下肢機能障害	0	10	0	0	10
		上下肢機能障害	0	2	0	0	2
		他の機能障害	0	5	0	0	5
		小計	0	21	0	0	21
	病 弱 ・ 虚 弱	内部障害等	0	85	0	0	85
		他の慢性疾患	0	84	0	0	84
		小計	0	169	0	0	169
	重複	0	4	0	0	4	
	(発 達 障 害 有)	S L D	0	7	0	0	7
		A D H D	0	42	0	0	42
		A S D	1	111	0	0	112
		発達障害の重複	2	57	0	0	59
		小計	3	217	0	0	220
	精 神 障 害	統合失調症等	0	10	0	0	10
		気分障害	0	7	0	0	7
		神経症性障害等	0	19	0	0	19
		摂食障害・睡眠障害等	1	13	0	0	14
		他の精神障害	0	19	0	0	19
		小計	1	68	0	0	69
その他の障害	0	19	0	0	19		
計		4	534	0	0	538	
構成比	(%)	0.7	99.3	0.0	0.0	100.0	

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、精神障害との重複が最も多く77人（構成比45.8%）。次いで病弱・虚弱との重複が45人（同26.8%）となっている。
 - 精神障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、発達障害との重複が最も多く151人（構成比60.2%）。次いで病弱・虚弱との重複が40人（同15.9%）となっている。
- なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表18 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比
	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	弱視	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.8
	小計	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.8
言語・聴覚障害	聾	0	4	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3.6
	難聴	0	3	6	2	11	0	0	0	0	0	0	1	0	1	12	7.1
	言語障害のみ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.6
	小計	0	8	8	2	18	0	0	0	0	0	0	1	0	1	19	11.3
不自由	上肢機能障害	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.2
	下肢機能障害	0	0	3	0	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	5	3.0
	上下肢機能障害	1	1	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3.0
	他の機能障害	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	3.0
	小計	1	1	10	2	14	0	1	0	0	1	0	1	1	0	17	10.1
病弱・虚弱	内部障害等	0	2	5	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6.0
	他の慢性疾患	1	4	16	4	25	0	0	1	2	3	0	3	1	3	35	20.8
	小計	1	6	21	7	35	0	0	1	2	3	0	3	1	3	45	26.8
重複	0	1	3	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	3.0	
精神障害	統合失調症等	0	1	7	1	9	0	1	0	0	1	0	0	3	0	13	7.7
	気分障害	0	10	7	2	19	0	0	1	0	1	0	0	0	0	20	11.9
	神経症性障害等	0	3	24	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	16.7
	摂食障害・睡眠障害等	0	1	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	7	4.2
	他の精神障害	0	1	4	3	8	0	0	1	0	1	0	0	0	0	9	5.4
	小計	0	16	45	7	68	0	1	2	0	3	0	0	6	0	77	45.8
その他の障害	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1.2	
計	2	32	90	19	143	1	2	3	2	8	0	4	9	4	17	168	100.0

表19 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学						短期大学					高等専門学校					計	構成比				
	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等			他の精神障害	小計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			(人)	(人)	(人)	
視覚障害	盲	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
言語障害・ 聴覚障害	聾	2	10	2	1	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	6.0
	難聴	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.8
	言語障害のみ	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.8
	小計	3	11	3	1	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	7.6
肢体自由	上肢機能障害	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
	下肢機能障害	2	0	2	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.4
	上下肢機能障害	2	0	2	0	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4.0
	他の機能障害	0	1	2	0	3	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2.8
	小計	4	1	7	0	11	23	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	24	9.6
病弱・ 虚弱	内部障害等	1	5	12	0	6	24	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	25	10.0
	他の慢性疾患	1	3	7	1	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	6.0
	小計	2	8	19	1	9	39	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	40	15.9
重複	0	1	2	0	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.8
(発達障害有)	S L D	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
	A D H D	1	13	5	3	4	26	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	29	11.6
	A S D	2	30	37	8	16	93	1	1	1	0	0	3	0	1	3	1	0	5	5	101	40.2
	発達障害の重複	2	5	4	1	6	18	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	20	8.0
	小計	5	49	46	12	26	138	2	1	2	0	0	5	0	3	4	1	0	8	8	151	60.2
その他の障害	0	2	3	1	1	7	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3.6
計	14	72	80	15	53	234	2	1	3	2	1	9	0	3	4	1	0	8	8	251	100.0	

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

- 支援障害学生が在籍している学校は782校で、前年度（759校）より23校の増。
- 全学校（1,171校）に占める支援障害学生在籍校（782校）の割合は66.8%で、前年度（64.2%）より2.6ポイントの増。
- 障害種別の支援障害学生在籍校数を多い順に並べると次のとおり。
 - ・「発達障害（診断書有）」485校（前年度474校）、「精神障害」474校（前年度439校）、「肢体不自由」420校（同415校）、「病弱・虚弱」419校（同367校）、「聴覚・言語障害」352校（同325校）、「視覚障害」201校（同182校）、「その他の障害」183校（同112校）、「重複」120校（同106校）。

表20 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	50 (52)	0 (1)	0 (0)	50 (53)
	弱視	169 (152)	5 (4)	11 (8)	185 (164)
	支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	185 (169)	5 (5)	11 (8)	201 (182)
聴覚・ 言語障害	聾	102 (103)	3 (5)	2 (2)	107 (110)
	難聴	254 (223)	24 (20)	13 (13)	291 (256)
	言語障害のみ	27 (20)	2 (3)	2 (0)	31 (23)
	支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	308 (283)	29 (28)	15 (14)	352 (325)
肢体不自由	上肢機能障害	96 (84)	3 (5)	3 (2)	102 (91)
	下肢機能障害	235 (230)	14 (18)	10 (8)	259 (256)
	上下肢機能障害	227 (219)	13 (13)	2 (3)	242 (235)
	他の機能障害	122 (101)	6 (12)	2 (2)	130 (115)
	支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	373 (364)	33 (37)	14 (14)	420 (415)
病弱・虚弱	内部障害等	278 (245)	42 (36)	14 (16)	334 (297)
	他の慢性疾患	184 (150)	42 (30)	14 (12)	240 (192)
	支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	338 (298)	63 (49)	18 (20)	419 (367)
重複	支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	114 (98)	5 (6)	1 (2)	120 (106)
発達障害 (診断書有)	SLD	62 (50)	8 (9)	5 (6)	75 (65)
	ADHD	200 (159)	12 (15)	21 (19)	233 (193)
	ASD	337 (326)	31 (36)	34 (34)	402 (396)
	発達障害の重複	158 (126)	8 (10)	21 (24)	187 (160)
	支援発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	398 (381)	48 (54)	39 (39)	485 (474)
精神障害	統合失調症等	187 (169)	11 (16)	7 (2)	205 (187)
	気分障害	244 (212)	25 (22)	5 (8)	274 (242)
	神経症性障害等	283 (240)	24 (30)	13 (14)	320 (284)
	摂食障害・睡眠障害等	130 (122)	14 (15)	8 (6)	152 (143)
	他の精神障害	202 (158)	20 (17)	11 (7)	233 (182)
	支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	390 (349)	59 (68)	25 (22)	474 (439)
その他の 障害	支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	150 (99)	26 (8)	7 (5)	183 (112)
支援障害学生在籍学校数		607 (584)	128 (127)	47 (48)	782 (759)
全学校数		778 (782)	336 (343)	57 (57)	1,171 (1,182)
在籍率 (%) (※1)		78.0 (74.7)	38.1 (37.0)	82.5 (84.2)	66.8 (64.2)
障害学生在籍学校数		667 (650)	180 (177)	52 (53)	899 (880)
在籍率 (%) (※2)		91.0 (89.8)	71.1 (71.8)	90.4 (90.6)	87.0 (86.3)

※1 全学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

※2 障害学生在籍学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷障害学生在籍学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

○支援障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

- ・多い順に、「0人」389校（前年度423校）、「2～5人」235校（同248校）、「21人以上」174校（同143校）、「11～20人」130校（同116校）、「6～10人」122校（同122校）、「1人」121校（同130校）。

○支援障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

- ・多い順に、「1,000～1,999人」176校（前年度180校）、「2,000～4,999人」160校（同157校）、「500～999人」145校（同126校）、「1～499人」133校（同130校）、「5,000～9,999人」99校（同99校）、「10,000人以上」69校（同67校）。

表21 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

区分	学校種別	支援障害学生在籍者数別							計	1人以上 在籍	1人以上 在籍率
		21人 以上	11～ 20人	6～ 10人	2～5人	1人	0人	27年度 在籍校 (※)			
		(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)
10,000人 以上	大学	55 (44)	9 (10)	3 (7)	2 (5)	0 (1)	0 (1)	(0)	69 (68)	69 (67)	100.0 (98.5)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	55 (44)	9 (10)	3 (7)	2 (5)	0 (1)	0 (1)	(0)	69 (68)	69 (67)	100.0 (98.5)
5,000 ～ 9,999人	大学	41 (32)	28 (34)	17 (20)	9 (10)	3 (3)	2 (1)	(1)	100 (100)	98 (99)	98.0 (99.0)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	1 (1)	1 (0)	100.0 (0.0)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	41 (32)	28 (34)	17 (20)	10 (10)	3 (3)	2 (2)	(1)	101 (101)	99 (99)	98.0 (98.0)
2,000 ～ 4,999人	大学	42 (37)	36 (27)	33 (35)	40 (45)	8 (12)	12 (17)	(4)	171 (173)	159 (156)	93.0 (90.2)
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	(0)	3 (3)	1 (1)	33.3 (33.3)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	42 (37)	36 (27)	33 (35)	41 (46)	8 (12)	14 (19)	(4)	174 (176)	160 (157)	92.0 (89.2)
1,000 ～ 1,999人	大学	20 (18)	21 (18)	22 (22)	59 (60)	21 (26)	43 (39)	(17)	186 (183)	143 (144)	76.9 (78.7)
	短期大学	0 (1)	2 (1)	3 (3)	4 (2)	1 (2)	2 (2)	(1)	12 (11)	10 (9)	83.3 (81.8)
	高等専門学校	4 (4)	6 (5)	3 (5)	8 (9)	2 (4)	6 (3)	(3)	29 (30)	23 (27)	79.3 (90.0)
	小計	24 (23)	29 (24)	28 (30)	71 (71)	24 (32)	51 (44)	(21)	227 (224)	176 (180)	77.5 (80.4)
500 ～ 999人	大学	7 (2)	11 (9)	12 (11)	31 (35)	23 (20)	45 (52)	(9)	129 (129)	84 (77)	65.1 (59.7)
	短期大学	1 (0)	2 (2)	5 (0)	16 (17)	13 (9)	39 (47)	(3)	76 (75)	37 (28)	48.7 (37.3)
	高等専門学校	1 (0)	4 (2)	5 (4)	12 (12)	2 (3)	4 (6)	(0)	28 (27)	24 (21)	85.7 (77.8)
	小計	9 (2)	17 (13)	22 (15)	59 (64)	38 (32)	88 (105)	(12)	233 (231)	145 (126)	62.2 (54.5)
1 ～ 499人	大学	2 (3)	6 (4)	9 (4)	18 (13)	19 (17)	69 (88)	(4)	123 (129)	54 (41)	43.9 (31.8)
	短期大学	1 (2)	5 (4)	10 (11)	34 (39)	29 (33)	165 (164)	(29)	244 (253)	79 (89)	32.4 (35.2)
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
	小計	3 (5)	11 (8)	19 (15)	52 (52)	48 (50)	234 (252)	(33)	367 (382)	133 (130)	36.2 (34.0)
学校 種別 計	大学	167 (136)	111 (102)	96 (99)	159 (168)	74 (79)	171 (198)	(35)	778 (782)	607 (584)	78.0 (74.7)
	短期大学	2 (3)	9 (7)	18 (14)	56 (59)	43 (44)	208 (216)	(33)	336 (343)	128 (127)	38.1 (37.0)
	高等専門学校	5 (4)	10 (7)	8 (9)	20 (21)	4 (7)	10 (9)	(3)	57 (57)	47 (48)	82.5 (84.2)
計	174 (143)	130 (116)	122 (122)	235 (248)	121 (130)	389 (423)	(71)	1,171 (1,182)	782 (759)	66.8 (64.2)	
構成比 (%)	14.9 (12.1)	11.1 (9.8)	10.4 (10.3)	20.1 (21.0)	10.3 (11.0)	33.2 (35.8)		100.0 (100.0)			

※ 「27年度在籍校」：平成28年度支援障害学生数0人の学校のうち、27年度に1人以上の支援障害学生が在籍していた学校数。

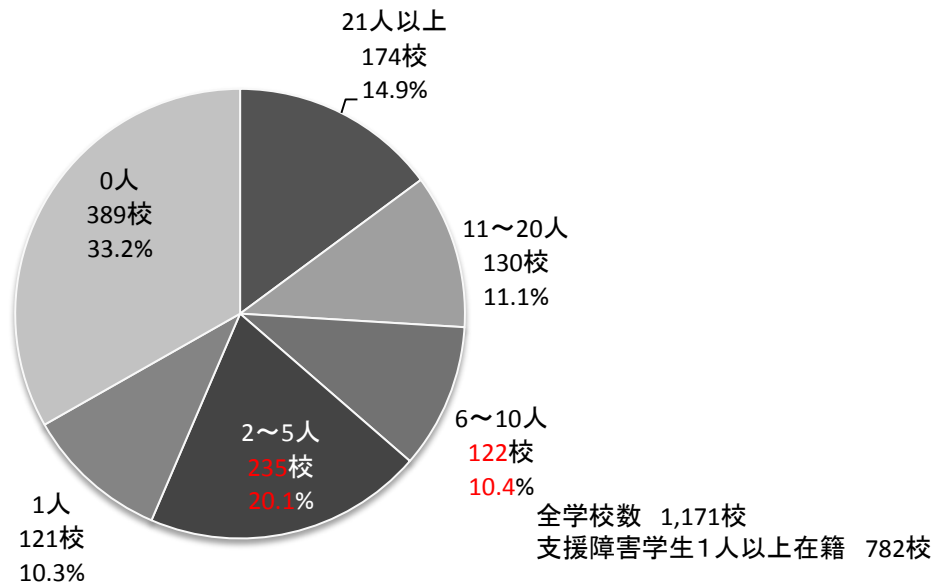


図6 支援障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

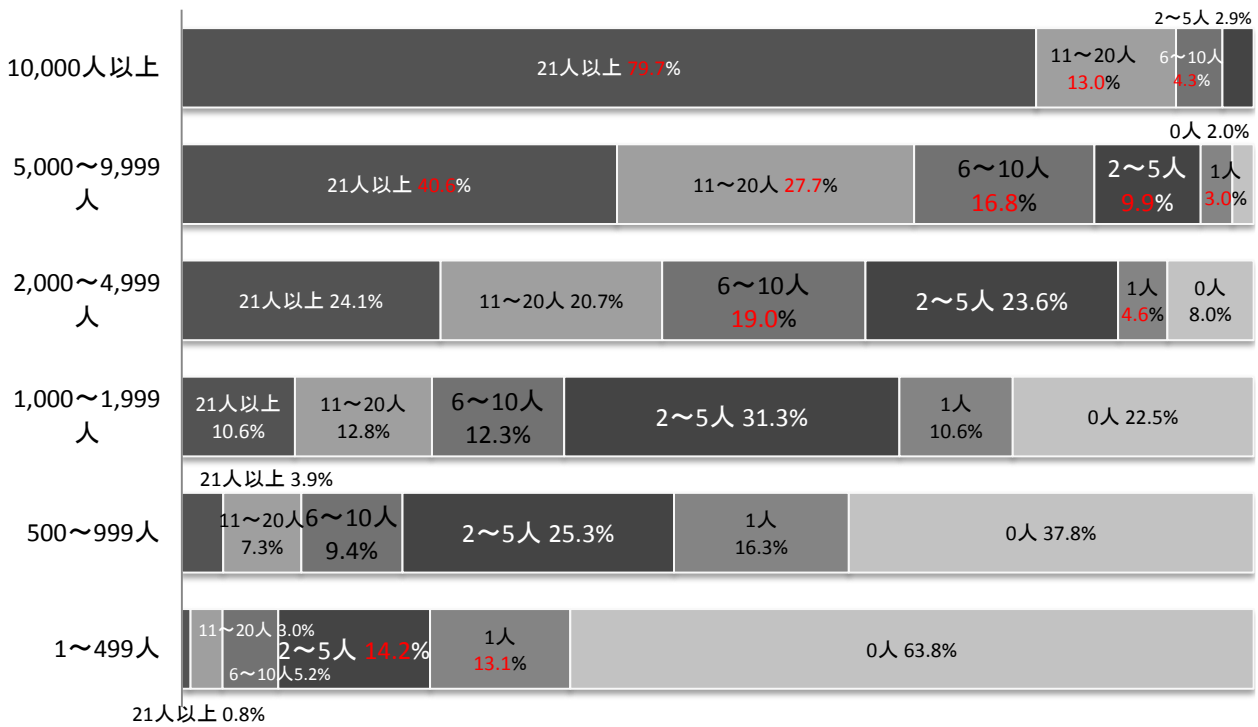


図7 支援障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別）

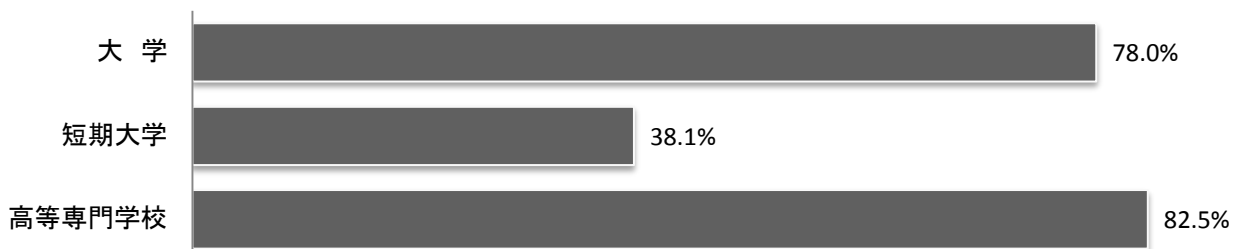


図8 支援障害学生1人以上在籍率（学校種別）

6. 支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害学生への授業に関する支援を実施している学校は723校で、前年度（687校）より36校の増。

○授業支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。

- ・「発達障害」401校、「肢体不自由」377校、「精神障害」365校、「聴覚・言語障害」338校、「病弱・虚弱」329校、「視覚障害」194校、「その他の障害」147校、「重複」102校。

○障害学生への授業以外の支援を実施している学校は620校で、前年度（622校）より2校の減。

○授業以外の支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。

- ・「発達障害」394校、「精神障害」367校、「肢体不自由」303校、「病弱・虚弱」267校、「聴覚・言語障害」159校、「その他の障害」105校、「視覚障害」94校、「重複」84校。

表22 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

区 分	大学	短期大学	高等 専門学校	計
	(校)	(校)	(校)	
視覚障害	179 (164)	5 (5)	10 (8)	194 (177)
聴覚・言語障害	298 (266)	28 (26)	12 (11)	338 (303)
肢体不自由	332 (321)	31 (30)	14 (13)	377 (364)
病弱・虚弱	273 (219)	43 (33)	13 (15)	329 (267)
重複	97 (87)	4 (4)	1 (2)	102 (93)
発達障害	331 (316)	37 (37)	33 (31)	401 (384)
精神障害	303 (257)	42 (47)	20 (15)	365 (319)
その他の障害	121 (77)	19 (5)	7 (5)	147 (87)
障害種別区分なし	571 (536)	107 (106)	45 (45)	723 (687)

表23 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

区 分	大学	短期大学	高等 専門学校	計
	(校)	(校)	(校)	
視覚障害	90 (92)	2 (2)	2 (1)	94 (95)
聴覚・言語障害	141 (128)	15 (11)	3 (4)	159 (143)
肢体不自由	276 (274)	19 (27)	8 (8)	303 (309)
病弱・虚弱	214 (212)	43 (34)	10 (12)	267 (258)
重複	79 (66)	4 (4)	1 (1)	84 (71)
発達障害	329 (307)	36 (44)	29 (32)	394 (383)
精神障害	306 (285)	42 (48)	19 (17)	367 (350)
その他の障害	89 (59)	14 (6)	2 (1)	105 (66)
障害種別区分なし	489 (486)	91 (98)	40 (38)	620 (622)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援（総表）

< 概要 >

- 障害学生への授業支援について、最も多くの学校で実施されているのが「17. 教室内座席配慮」453校。次いで「22. 配慮依頼文書の配付」439校、「16. 実技・実習配慮」317校。
- 障害種別にみると「17. 教室内座席配慮」については「肢体不自由」223校、「聴覚・言語障害」182校に対する実施が多く、「22. 配慮依頼文書の配付」については「発達障害」272校、「聴覚・言語障害」203校、「精神障害」200校、「肢体不自由」195校に対する実施が多い。

表24 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	40	20.6	—	—	—	—	—	—	6	5.9	—	—	—	—	—	—	40	5.5
2 教材のテキストデータ化	62	32.0	10	3.0	9	2.4	0	0.0	11	10.8	4	1.0	0	0.0	0	0.0	80	11.1
3 教材の拡大	103	53.1	1	0.3	16	4.2	3	0.9	13	12.7	9	2.2	1	0.3	1	0.7	132	18.3
4 ガイドヘルプ	34	17.5	1	0.3	20	5.3	0	0.0	5	4.9	1	0.2	5	1.4	0	0.0	50	6.9
5 リーディングサービス	30	15.5	1	0.3	1	0.3	0	0.0	1	1.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	33	4.6
6 手話通訳	0	0.0	58	17.2	—	—	—	—	6	5.9	—	—	—	—	—	—	58	8.0
7 ノートテイク	17	8.8	155	45.9	31	8.2	1	0.3	16	15.7	19	4.7	4	1.1	0	0.0	189	26.1
8 パソコンテイク	7	3.6	110	32.5	3	0.8	0	0.0	8	7.8	8	2.0	3	0.8	0	0.0	120	16.6
9 ビデオ教材字幕付け	7	3.6	68	20.1	0	0.0	0	0.0	7	6.9	3	0.7	1	0.3	0	0.0	73	10.1
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	21	10.8	26	7.7	24	6.4	4	1.2	6	5.9	40	10.0	21	5.8	5	3.4	96	13.3
11 試験時間延長・別室受験	83	42.8	20	5.9	116	30.8	28	8.5	30	29.4	81	20.2	86	23.6	16	10.9	247	34.2
12 解答方法配慮	68	35.1	17	5.0	81	21.5	4	1.2	17	16.7	37	9.2	13	3.6	9	6.1	156	21.6
13 パソコンの持込使用許可	48	24.7	21	6.2	59	15.6	8	2.4	15	14.7	34	8.5	10	2.7	7	4.8	138	19.1
14 注意事項等文書伝達	28	14.4	108	32.0	24	6.4	21	6.4	19	18.6	100	24.9	40	11.0	11	7.5	214	29.6
15 使用教室配慮	31	16.0	12	3.6	169	44.8	31	9.4	31	30.4	23	5.7	22	6.0	3	2.0	227	31.4
16 実技・実習配慮	57	29.4	69	20.4	163	43.2	98	29.8	31	30.4	85	21.2	64	17.5	30	20.4	317	43.8
17 教室内座席配慮	102	52.6	182	53.8	223	59.2	54	16.4	47	46.1	96	23.9	102	27.9	40	27.2	453	62.7
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	131	38.8	—	—	—	—	9	8.8	—	—	—	—	—	—	134	18.5
19 専用机・イス・スペース確保	19	9.8	15	4.4	170	45.1	8	2.4	32	31.4	4	1.0	3	0.8	4	2.7	205	28.4
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	23.2	23	6.8	3	0.8	0	0.0	6	5.9	5	1.2	1	0.3	0	0.0	73	10.1
21 講義に関する配慮	74	38.1	59	17.5	77	20.4	18	5.5	19	18.6	110	27.4	34	9.3	11	7.5	254	35.1
22 配慮依頼文書の配付	124	63.9	203	60.1	195	51.7	185	56.2	67	65.7	272	67.8	200	54.8	88	59.9	439	60.7
23 出席に関する配慮	14	7.2	10	3.0	101	26.8	125	38.0	23	22.5	134	33.4	175	47.9	56	38.1	315	43.6
24 学習指導	20	10.3	18	5.3	23	6.1	24	7.3	9	8.8	154	38.4	93	25.5	4	2.7	231	32.0
25 授業内容の代替、提出期限延長等	26	13.4	27	8.0	47	12.5	32	9.7	12	11.8	104	25.9	87	23.8	13	8.8	209	28.9
26 履修支援	40	20.6	41	12.1	38	10.1	32	9.7	14	13.7	153	38.2	80	21.9	15	10.2	232	32.1
27 学外実習・フィールドワーク配慮	24	12.4	45	13.3	75	19.9	54	16.4	13	12.7	51	12.7	37	10.1	10	6.8	188	26.0
28 その他	42	21.6	39	11.5	60	15.9	42	12.8	8	7.8	93	23.2	93	25.5	23	15.6	230	31.8
実施校数	194	100.0	338	100.0	377	100.0	329	100.0	102	100.0	401	100.0	365	100.0	147	100.0	723	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援 (総表)

< 概要 >

- 障害学生への授業以外の支援について、最も多くの学校で実施されているのが「8. 専門家によるカウンセリング」401校。次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」261校、「6. 対人関係配慮」258校。
- 障害種別にみると「8. 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」304校、「精神障害」278校に対する実施が多く、「11. 休憩室・治療室の確保」については「精神障害」119校、「病弱・虚弱」96校、に加え「発達障害」95校、「肢体不自由」92校への実施が多い。

表25 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)			
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)					
1	学生生活支援	居場所の確保		22	23.4	29	18.2	70	23.1	32	12.0	14	16.7	146	37.1	103	28.1	17	16.2	231	37.3
2		通学支援		11	11.7	3	1.9	166	54.8	40	15.0	30	35.7	4	1.0	9	2.5	2	1.9	209	33.7
3		個別支援情報の収集		21	22.3	30	18.9	41	13.5	32	12.0	13	15.5	88	22.3	40	10.9	11	10.5	155	25.0
4		情報取得支援		33	35.1	22	13.8	19	6.3	7	2.6	9	10.7	75	19.0	29	7.9	3	2.9	125	20.2
5	社会的スキル指導	自己管理指導		11	11.7	16	10.1	13	4.3	25	9.4	7	8.3	184	46.7	91	24.8	11	10.5	225	36.3
6		対人関係配慮		14	14.9	23	14.5	19	6.3	21	7.9	10	11.9	198	50.3	112	30.5	14	13.3	258	41.6
7		日常生活支援		4	4.3	3	1.9	12	4.0	15	5.6	4	4.8	64	16.2	47	12.8	5	4.8	105	16.9
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング		22	23.4	39	24.5	56	18.5	81	30.3	20	23.8	304	77.2	278	75.7	53	50.5	401	64.7
9		医療機関との連携		6	6.4	13	8.2	23	7.6	65	24.3	11	13.1	136	34.5	144	39.2	18	17.1	239	38.5
10		医療機器、薬剤の保管等		1	1.1	1	0.6	12	4.0	45	16.9	7	8.3	15	3.8	10	2.7	5	4.8	79	12.7
11		休憩室・治療室の確保等		14	14.9	21	13.2	92	30.4	96	36.0	30	35.7	95	24.1	119	32.4	44	41.9	261	42.1
12		生活介助		0	0.0	—	—	58	19.1	1	0.4	10	11.9	—	—	—	—	0	0.0	66	10.6
13	進路・就職指導	介助者の入構、入室許可		17	18.1	7	4.4	79	26.1	7	2.6	21	25.0	9	2.3	5	1.4	3	2.9	107	17.3
14		キャリア教育		26	27.7	41	25.8	55	18.2	34	12.7	14	16.7	133	33.8	69	18.8	12	11.4	186	30.0
15		障害学生向け求人情報の提供		35	37.2	66	41.5	92	30.4	54	20.2	21	25.0	109	27.7	60	16.3	18	17.1	207	33.4
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介		34	36.2	56	35.2	90	29.7	58	21.7	22	26.2	149	37.8	77	21.0	21	20.0	237	38.2
17	進路・就職指導	インターンシップ先の開拓		10	10.6	19	11.9	25	8.3	14	5.2	5	6.0	44	11.2	23	6.3	3	2.9	78	12.6
18		就職先の開拓、就職活動支援		31	33.0	49	30.8	73	24.1	50	18.7	17	20.2	112	28.4	61	16.6	20	19.0	186	30.0
19	その他		22	23.4	19	11.9	58	19.1	48	18.0	15	17.9	53	13.5	74	20.2	14	13.3	166	26.8	
実施校数			94	100.0	159	100.0	303	100.0	267	100.0	84	100.0	394	100.0	367	100.0	105	100.0	620	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」382校。次いで「22. 配慮依頼文書の配付」374校、「23. 出席に関する配慮」262校、「16. 実技・実習配慮」259校、「21. 講義に関する配慮」234校の順。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	40	22.3	—	—	—	—	—	—	6	6.2	—	—	—	—	—	—	40	7.0
2 教材のテキストデータ化	62	34.6	10	3.4	9	2.7	0	0.0	11	11.3	4	1.2	0	0.0	0	0.0	80	14.0
3 教材の拡大	96	53.6	1	0.3	13	3.9	3	1.1	13	13.4	8	2.4	1	0.3	1	0.8	121	21.2
4 ガイドヘルプ	34	19.0	1	0.3	19	5.7	0	0.0	5	5.2	1	0.3	5	1.7	0	0.0	49	8.6
5 リーディングサービス	30	16.8	1	0.3	1	0.3	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	32	5.6
6 手話通訳	0	0.0	57	19.1	—	—	—	—	6	6.2	—	—	—	—	—	—	57	10.0
7 ノートテイク	17	9.5	150	50.3	31	9.3	1	0.4	16	16.5	19	5.7	3	1.0	0	0.0	183	32.0
8 パソコンテイク	7	3.9	108	36.2	3	0.9	0	0.0	8	8.2	8	2.4	3	1.0	0	0.0	118	20.7
9 ビデオ教材字幕付け	7	3.9	66	22.1	0	0.0	0	0.0	7	7.2	3	0.9	1	0.3	0	0.0	71	12.4
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	21	11.7	24	8.1	24	7.2	2	0.7	6	6.2	36	10.9	18	5.9	4	3.3	91	15.9
11 試験時間延長・別室受験	83	46.4	20	6.7	113	34.0	27	9.9	30	30.9	69	20.8	72	23.8	13	10.7	222	38.9
12 解答方法配慮	68	38.0	17	5.7	79	23.8	4	1.5	17	17.5	35	10.6	13	4.3	8	6.6	151	26.4
13 パソコンの持込使用許可	47	26.3	20	6.7	58	17.5	8	2.9	15	15.5	29	8.8	10	3.3	6	5.0	130	22.8
14 注意事項等文書伝達	28	15.6	104	34.9	23	6.9	18	6.6	18	18.6	89	26.9	34	11.2	10	8.3	195	34.2
15 使用教室配慮	31	17.3	12	4.0	156	47.0	28	10.3	31	32.0	21	6.3	17	5.6	2	1.7	205	35.9
16 実技・実習配慮	53	29.6	65	21.8	141	42.5	77	28.2	28	28.9	67	20.2	51	16.8	23	19.0	259	45.4
17 教室内座席配慮	92	51.4	161	54.0	207	62.3	47	17.2	46	47.4	79	23.9	91	30.0	36	29.8	382	66.9
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	119	39.9	—	—	—	—	9	9.3	—	—	—	—	—	—	122	21.4
19 専用机・イス・スペース確保	19	10.6	15	5.0	164	49.4	8	2.9	32	33.0	3	0.9	3	1.0	4	3.3	198	34.7
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	25.1	23	7.7	3	0.9	0	0.0	6	6.2	4	1.2	1	0.3	0	0.0	72	12.6
21 講義に関する配慮	70	39.1	57	19.1	73	22.0	15	5.5	19	19.6	102	30.8	32	10.6	10	8.3	234	41.0
22 配慮依頼文書の配付	121	67.6	190	63.8	184	55.4	162	59.3	65	67.0	243	73.4	179	59.1	78	64.5	374	65.5
23 出席に関する配慮	14	7.8	9	3.0	95	28.6	106	38.8	22	22.7	117	35.3	149	49.2	49	40.5	262	45.9
24 学習指導	20	11.2	17	5.7	22	6.6	21	7.7	9	9.3	124	37.5	80	26.4	2	1.7	190	33.3
25 授業内容の代替、提出期限延長等	26	14.5	27	9.1	43	13.0	27	9.9	11	11.3	92	27.8	78	25.7	11	9.1	184	32.2
26 履修支援	39	21.8	39	13.1	38	11.4	30	11.0	12	12.4	138	41.7	73	24.1	14	11.6	205	35.9
27 学外実習・フィールドワーク配慮	22	12.3	44	14.8	67	20.2	43	15.8	12	12.4	42	12.7	30	9.9	6	5.0	159	27.8
28 その他	41	22.9	34	11.4	57	17.2	35	12.8	8	8.2	84	25.4	78	25.7	17	14.0	200	35.0
実施校数	179	100.0	298	100.0	332	100.0	273	100.0	97	100.0	331	100.0	303	100.0	121	100.0	571	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ 授業以外の支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」328校。次いで「6. 対人関係配慮」222校、「11. 休憩室・治療室の確保等」214校、「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」204校、「9. 医療機関との連携」202校、「2. 通学支援」200校の順。

表27 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
1	居場所の確保	20	22.2	27	19.1	66	23.9	26	12.1	14	17.7	121	36.8	89	29.1	15	16.9	190	38.9
2	学生生活支援	11	12.2	3	2.1	159	57.6	39	18.2	29	36.7	4	1.2	9	2.9	2	2.2	200	40.9
3	個別支援情報の収集	21	23.3	27	19.1	34	12.3	22	10.3	11	13.9	65	19.8	36	11.8	7	7.9	118	24.1
4	情報取得支援	33	36.7	22	15.6	19	6.9	7	3.3	9	11.4	68	20.7	27	8.8	2	2.2	116	23.7
5	社会的スキル指導	11	12.2	15	10.6	13	4.7	24	11.2	6	7.6	155	47.1	82	26.8	9	10.1	187	38.2
6	対人関係配慮	13	14.4	19	13.5	19	6.9	19	8.9	8	10.1	171	52.0	101	33.0	13	14.6	222	45.4
7	日常生活支援	4	4.4	2	1.4	11	4.0	11	5.1	3	3.8	59	17.9	41	13.4	4	4.5	91	18.6
8	専門家によるカウンセリング	21	23.3	38	27.0	54	19.6	72	33.6	18	22.8	262	79.6	236	77.1	46	51.7	328	67.1
9	保健管理・生活支援	6	6.7	13	9.2	23	8.3	54	25.2	9	11.4	118	35.9	127	41.5	16	18.0	202	41.3
10	医療機器、薬剤の保管等	1	1.1	1	0.7	12	4.3	37	17.3	6	7.6	13	4.0	10	3.3	4	4.5	67	13.7
11	休憩室・治療室の確保等	14	15.6	17	12.1	84	30.4	72	33.6	28	35.4	83	25.2	101	33.0	35	39.3	214	43.8
12	生活介助	0	0.0	—	—	52	18.8	1	0.5	10	12.7	—	—	—	—	0	0.0	60	12.3
13	介助者の入構、入室許可	17	18.9	7	5.0	74	26.8	7	3.3	20	25.3	9	2.7	5	1.6	2	2.2	100	20.4
14	キャリア教育	24	26.7	35	24.8	55	19.9	32	15.0	14	17.7	115	35.0	61	19.9	12	13.5	161	32.9
15	進路・就職指導	33	36.7	57	40.4	87	31.5	50	23.4	21	26.6	94	28.6	55	18.0	15	16.9	178	36.4
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	34	37.8	49	34.8	87	31.5	53	24.8	22	27.8	130	39.5	67	21.9	17	19.1	204	41.7
17	インターンシップ先の開拓	9	10.0	17	12.1	24	8.7	12	5.6	5	6.3	36	10.9	22	7.2	3	3.4	67	13.7
18	就職先の開拓、就職活動支援	29	32.2	40	28.4	72	26.1	47	22.0	16	20.3	98	29.8	56	18.3	18	20.2	159	32.5
19	その他	22	24.4	18	12.8	51	18.5	34	15.9	14	17.7	48	14.6	61	19.9	11	12.4	140	28.6
実施校数		90	100.0	141	100.0	276	100.0	214	100.0	79	100.0	329	100.0	306	100.0	89	100.0	489	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援 (短期大学)

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「22. 配慮依頼文書の配付」50校。次いで「17. 教室内座席配慮」46校、「23. 出席に関する配慮」40校、「16. 実技・実習配慮」38校、「26. 履修支援」25校の順。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
2 教材のテキストデータ化	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3 教材の拡大	4	80.0	0	0.0	2	6.5	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	7	6.5
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 リーディングサービス	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	1	0.9
6 手話通訳	0	0.0	1	3.6	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	1	0.9
7 ノートテイク	0	0.0	5	17.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	6	5.6
8 パソコンテイク	0	0.0	2	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	2	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	1	3.6	0	0.0	2	4.7	0	0.0	2	5.4	2	4.8	1	5.3	3	2.8
11 試験時間延長・別室受験	0	0.0	0	0.0	3	9.7	0	0.0	0	0.0	5	13.5	8	19.0	1	5.3	14	13.1
12 解答方法配慮	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	0	0.0	2	5.4	0	0.0	0	0.0	3	2.8
13 パソコンの持込使用許可	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	1	5.3	2	1.9
14 注意事項等文書伝達	0	0.0	3	10.7	0	0.0	3	7.0	1	25.0	5	13.5	3	7.1	1	5.3	12	11.2
15 使用教室配慮	0	0.0	0	0.0	9	29.0	1	2.3	0	0.0	1	2.7	3	7.1	0	0.0	14	13.1
16 実技・実習配慮	3	60.0	2	7.1	12	38.7	15	34.9	2	50.0	10	27.0	7	16.7	5	26.3	38	35.5
17 教室内座席配慮	3	60.0	15	53.6	11	35.5	5	11.6	0	0.0	9	24.3	6	14.3	4	21.1	46	43.0
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	8	28.6	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	8	7.5
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	2	6.5	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	3	2.8
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	1	0.9
21 講義に関する配慮	1	20.0	1	3.6	3	9.7	1	2.3	0	0.0	5	13.5	1	2.4	1	5.3	12	11.2
22 配慮依頼文書の配付	3	60.0	12	42.9	9	29.0	19	44.2	2	50.0	17	45.9	19	45.2	9	47.4	50	46.7
23 出席に関する配慮	0	0.0	1	3.6	5	16.1	16	37.2	1	25.0	11	29.7	17	40.5	7	36.8	40	37.4
24 学習指導	0	0.0	1	3.6	0	0.0	1	2.3	0	0.0	13	35.1	9	21.4	2	10.5	23	21.5
25 授業内容の代替、提出期限延長等	0	0.0	0	0.0	2	6.5	3	7.0	1	25.0	4	10.8	4	9.5	1	5.3	13	12.1
26 履修支援	1	20.0	2	7.1	0	0.0	2	4.7	2	50.0	13	35.1	7	16.7	1	5.3	25	23.4
27 学外実習・フィールドワーク配慮	2	40.0	1	3.6	5	16.1	8	18.6	1	25.0	6	16.2	3	7.1	3	15.8	21	19.6
28 その他	0	0.0	4	14.3	2	6.5	5	11.6	0	0.0	2	5.4	8	19.0	5	26.3	18	16.8
実施校数	5	100.0	28	100.0	31	100.0	43	100.0	4	100.0	37	100.0	42	100.0	19	100.0	107	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援 (短期大学)

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」44校。次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」33校、「3. 個別支援情報の収集」26校、「15. 障害学生向け求人情報の提供」24校、「1. 居場所の確保」及び「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」の23校の順。

表29 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)			
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)					
1	学生生活支援	居場所の確保		0	0.0	1	6.7	1	5.3	5	11.6	0	0.0	12	33.3	8	19.0	1	7.1	23	25.3
2		通学支援		0	0.0	0	0.0	4	21.1	1	2.3	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	6.6
3		個別支援情報の収集		0	0.0	3	20.0	7	36.8	8	18.6	2	50.0	12	33.3	2	4.8	3	21.4	26	28.6
4		情報取得支援		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	11.1	0	0.0	1	7.1	5	5.5
5	社会的スキル指導	自己管理指導		0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	2.3	1	25.0	14	38.9	7	16.7	2	14.3	22	24.2
6		対人関係配慮		0	0.0	3	20.0	0	0.0	1	2.3	1	25.0	11	30.6	6	14.3	1	7.1	18	19.8
7		日常生活支援		0	0.0	1	6.7	0	0.0	2	4.7	0	0.0	1	2.8	3	7.1	0	0.0	6	6.6
8	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング		0	0.0	1	6.7	2	10.5	6	14.0	1	25.0	18	50.0	27	64.3	5	35.7	44	48.4
9		医療機関との連携		0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	16.3	2	50.0	5	13.9	7	16.7	2	14.3	19	20.9
10		医療機器、薬剤の保管等		0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	11.6	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	7	7.7
11		休憩室・治療室の確保等		0	0.0	4	26.7	5	26.3	18	41.9	1	25.0	5	13.9	12	28.6	8	57.1	33	36.3
12		生活介助		0	0.0	—	—	1	5.3	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	1	1.1
13	介助者の入構、入室許可		0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	4	4.4	
14	進路・就職指導	キャリア教育		1	50.0	5	33.3	0	0.0	2	4.7	0	0.0	10	27.8	4	9.5	0	0.0	15	16.5
15		障害学生向け求人情報の提供		2	100.0	8	53.3	4	21.1	4	9.3	0	0.0	11	30.6	5	11.9	3	21.4	24	26.4
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介		0	0.0	6	40.0	3	15.8	5	11.6	0	0.0	11	30.6	6	14.3	4	28.6	23	25.3
17		インターンシップ先の開拓		1	50.0	1	6.7	1	5.3	2	4.7	0	0.0	3	8.3	1	2.4	0	0.0	6	6.6
18	就職先の開拓、就職活動支援		2	100.0	8	53.3	1	5.3	3	7.0	1	25.0	6	16.7	4	9.5	2	14.3	18	19.8	
19	その他		0	0.0	0	0.0	7	36.8	12	27.9	1	25.0	3	8.3	11	26.2	3	21.4	21	23.1	
実施校数			2	100.0	15	100.0	19	100.0	43	100.0	4	100.0	36	100.0	42	100.0	14	100.0	91	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援 (高等専門学校)

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」25校。次いで「16. 実技・実習配慮」20校、「24. 学習指導」18校、「22. 配慮依頼文書の配付」15校、「23. 出席に関する配慮」13校の順。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)		
1 点訳・墨訳	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
2 教材のテキストデータ化	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3 教材の拡大	3	30.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	8.9
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2
5 リーディングサービス	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 手話通訳	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
7 ノートテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 パソコンテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	6.1	1	5.0	0	0.0	2	4.4
11 試験時間延長・別室受験	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	7	21.2	6	30.0	2	28.6	11	24.4
12 解答方法配慮	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	2	4.4
13 パソコンの持込使用許可	1	10.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	4	12.1	0	0.0	0	0.0	6	13.3
14 注意事項等文書伝達	0	0.0	1	8.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0	6	18.2	3	15.0	0	0.0	7	15.6
15 使用教室配慮	0	0.0	0	0.0	4	28.6	2	15.4	0	0.0	1	3.0	2	10.0	1	14.3	8	17.8
16 実技・実習配慮	1	10.0	2	16.7	10	71.4	6	46.2	1	100.0	8	24.2	6	30.0	2	28.6	20	44.4
17 教室内座席配慮	7	70.0	6	50.0	5	35.7	2	15.4	1	100.0	8	24.2	5	25.0	0	0.0	25	55.6
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	4	33.3	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	4	8.9
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	4	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	8.9
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21 講義に関する配慮	3	30.0	1	8.3	1	7.1	2	15.4	0	0.0	3	9.1	1	5.0	0	0.0	8	17.8
22 配慮依頼文書の配付	0	0.0	1	8.3	2	14.3	4	30.8	0	0.0	12	36.4	2	10.0	1	14.3	15	33.3
23 出席に関する配慮	0	0.0	0	0.0	1	7.1	3	23.1	0	0.0	6	18.2	9	45.0	0	0.0	13	28.9
24 学習指導	0	0.0	0	0.0	1	7.1	2	15.4	0	0.0	17	51.5	4	20.0	0	0.0	18	40.0
25 授業内容の代替、提出期限延長等	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	15.4	0	0.0	8	24.2	5	25.0	1	14.3	12	26.7
26 履修支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	6.1	0	0.0	0	0.0	2	4.4
27 学外実習・フィールドワーク配慮	0	0.0	0	0.0	3	21.4	3	23.1	0	0.0	3	9.1	4	20.0	1	14.3	8	17.8
28 その他	1	10.0	1	8.3	1	7.1	2	15.4	0	0.0	7	21.2	7	35.0	1	14.3	12	26.7
実施校数	10	100.0	12	100.0	14	100.0	13	100.0	1	100.0	33	100.0	20	100.0	7	100.0	45	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援（高等専門学校）

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」29校。次いで「1. 居場所の確保」18校、「6. 対人関係配慮」18校、「9. 医療機関との連携」18校、「5. 自己管理指導」16校の順。

表31 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
1	居場所の確保	2	100.0	1	33.3	3	37.5	1	10.0	0	0.0	13	44.8	6	31.6	1	50.0	18	45.0
2	通学支援	0	0.0	0	0.0	3	37.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.5
3	個別支援情報の収集	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	11	37.9	2	10.5	1	50.0	11	27.5
4	情報取得支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	10.3	2	10.5	0	0.0	4	10.0
5	自己管理指導	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	15	51.7	2	10.5	0	0.0	16	40.0
6	対人関係配慮	1	50.0	1	33.3	0	0.0	1	10.0	1	100.0	16	55.2	5	26.3	0	0.0	18	45.0
7	日常生活支援	0	0.0	0	0.0	1	12.5	2	20.0	1	100.0	4	13.8	3	15.8	1	50.0	8	20.0
8	専門家によるカウンセリング	1	50.0	0	0.0	0	0.0	3	30.0	1	100.0	24	82.8	15	78.9	2	100.0	29	72.5
9	医療機関との連携	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	40.0	0	0.0	13	44.8	10	52.6	0	0.0	18	45.0
10	医療機器、薬剤の保管等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	30.0	0	0.0	2	6.9	0	0.0	0	0.0	5	12.5
11	休憩室・治療室の確保等	0	0.0	0	0.0	3	37.5	6	60.0	1	100.0	7	24.1	6	31.6	1	50.0	14	35.0
12	生活介助	0	0.0	—	—	5	62.5	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	5	12.5
13	介助者の入構、入室許可	0	0.0	0	0.0	3	37.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.5
14	キャリア教育	1	50.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	27.6	4	21.1	0	0.0	10	25.0
15	障害学生向け求人情報の提供	0	0.0	1	33.3	1	12.5	0	0.0	0	0.0	4	13.8	0	0.0	0	0.0	5	12.5
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	27.6	4	21.1	0	0.0	10	25.0
17	インターンシップ先の開拓	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	17.2	0	0.0	0	0.0	5	12.5
18	就職先の開拓、就職活動支援	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	27.6	1	5.3	0	0.0	9	22.5
19	その他	0	0.0	1	33.3	0	0.0	2	20.0	0	0.0	2	6.9	2	10.5	0	0.0	5	12.5
実施校数		2	100.0	3	100.0	8	100.0	10	100.0	1	100.0	29	100.0	19	100.0	2	100.0	40	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(3) 主な授業支援 ア 視覚障害

表32 視覚障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	124	63.9
教材の拡大	103	53.1
教室内座席配慮	102	52.6
試験時間延長・別室受験	83	42.8
講義に関する配慮	74	38.1
解答方法配慮	68	35.1
教材のテキストデータ化	62	32.0
実技・実習配慮	57	29.4
パソコンの持込使用許可	48	24.7
読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	23.2

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

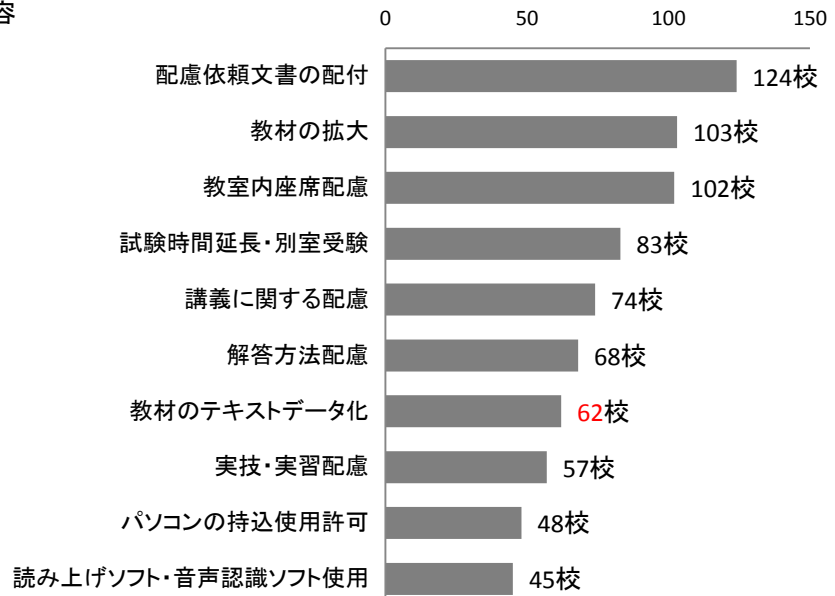


図9 視覚障害 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 イ 聴覚・言語障害

表33 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	203	60.1
教室内座席配慮	182	53.8
ノートテイク	155	45.9
FM補聴器・マイク使用	131	38.8
パソコンテイク	110	32.5
注意事項等文書伝達	108	32.0
実技・実習配慮	69	20.4
ビデオ教材字幕付け	68	20.1
講義に関する配慮	59	17.5
手話通訳	58	17.2

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

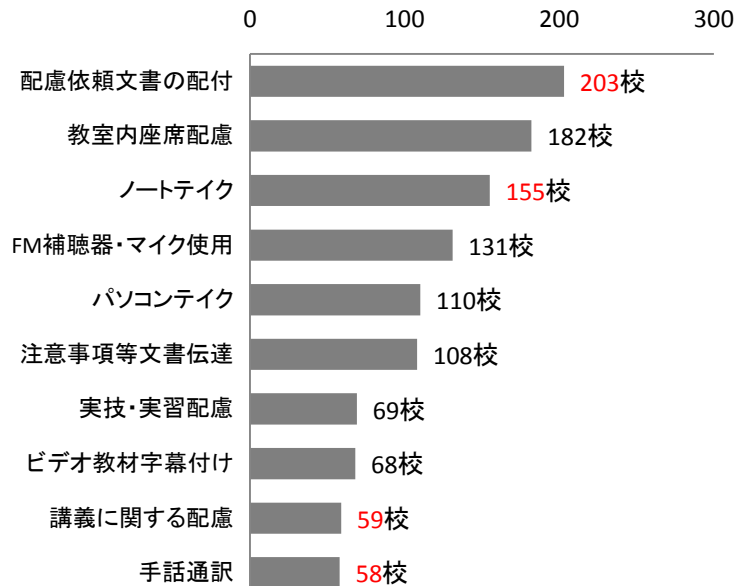


図10 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 ウ 肢体不自由

表34 肢体不自由 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
教室内座席配慮	223	59.2
配慮依頼文書の配付	195	51.7
専用机・イス・スペース確保	170	45.1
使用教室配慮	169	44.8
実技・実習配慮	163	43.2
試験時間延長・別室受験	116	30.8
出席に関する配慮	101	26.8
解答方法配慮	81	21.5
講義に関する配慮	77	20.4
学外実習・フィールドワーク配慮	75	19.9

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

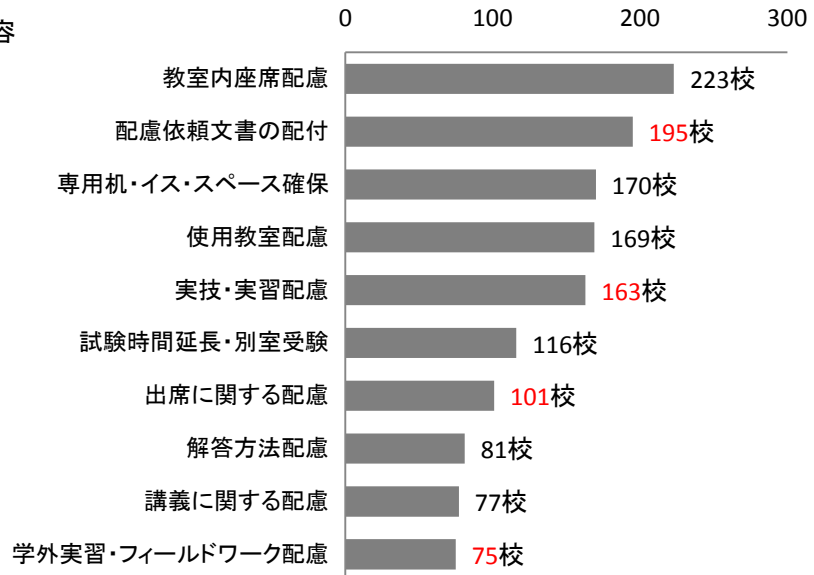


図11 肢体不自由 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 エ 病弱・虚弱

表35 病弱・虚弱 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	185	56.2
出席に関する配慮	125	38.0
実技・実習配慮	98	29.8
教室内座席配慮	54	16.4
学外実習・フィールドワーク配慮	54	16.4
授業内容の代替、提出期限延長等	32	9.7
履修支援	32	9.7
使用教室配慮	31	9.4
試験時間延長・別室受験	28	8.5
学習指導	24	7.3

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

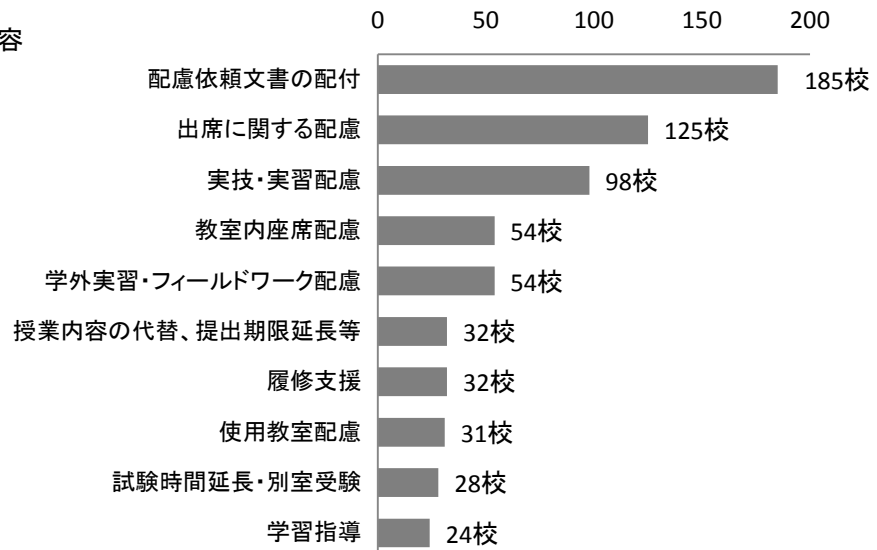


図12 病弱・虚弱 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 才 発達障害

表36 発達障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	272	67.8
学習指導	154	38.4
履修支援	153	38.2
出席に関する配慮	134	33.4
講義に関する配慮	110	27.4
授業内容の代替、提出期限延長等	104	25.9
注意事項等文書伝達	100	24.9
教室内座席配慮	96	23.9
実技・実習配慮	85	21.2
試験時間延長・別室受験	81	20.2

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)



図13 発達障害 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 カ 精神障害

表37 精神障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	200	54.8
出席に関する配慮	175	47.9
教室内座席配慮	102	27.9
学習指導	93	25.5
授業内容の代替、提出期限延長等	87	23.8
試験時間延長・別室受験	86	23.6
履修支援	80	21.9
実技・実習配慮	64	17.5
注意事項等文書伝達	40	11.0
学外実習・フィールドワーク配慮	37	10.1

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

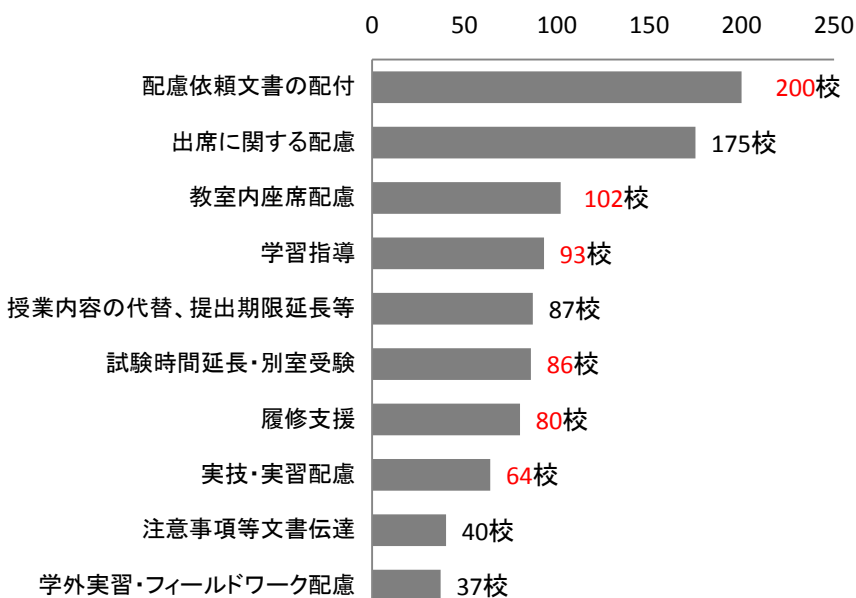


図14 精神障害 主な授業支援内容

7. 障害学生支援に関する体制等

(1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「対応要領または基本方針、規程等がある」427校(前年度256校)と全学校(1,171校)の36.5%(同21.7%)と前年度より、14.8ポイントの増。「平成28年度中に策定予定である」116校を合わせると543校であり、全学校(1,171校)の46.4%(同21.7%)と前年度より、24.7ポイントの増。「対応要領または基本方針、規程等はない」627校で全学校(1,171校)の53.5%(前年度78.3%)より、24.8ポイントの減。

表38 障害者差別解消法に関する対応要領等〔障害学生数別・学校種別〕

区分		障害学生在籍校												
		対応要領または基本方針、規程等がある			平成28年度中に策定予定である			計			対応要領または基本方針、規程等はない			
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	2	297	168	56.6	168	29	9.8	28	197	66.3	196	100	33.7	93
短期大学		21	5	23.8	4	2	9.5	2	7	33.3	6	14	66.7	10
高等専門学校	1	18	11	61.1	10	3	16.7	3	14	77.8	13	4	22.2	4
小計	人以上	336 (288)	184 (112)	54.8 (38.9)	182 (111)	34 (-)	10.1 (-)	33 (-)	218 (112)	64.9 (38.9)	215 (111)	118 (176)	35.1 (61.1)	107 (164)
大学	1	104	48	46.2	47	15	14.4	15	63	60.6	62	41	39.4	40
短期大学		20	8	40.0	8	1	5.0	1	9	45.0	9	11	55.0	10
高等専門学校	2	14	7	50.0	6	3	21.4	3	10	71.4	9	4	28.6	4
小計	0人	138 (145)	63 (45)	45.7 (31.0)	61 (43)	19 (-)	13.8 (-)	19 (-)	82 (45)	59.4 (31.0)	80 (43)	56 (100)	40.6 (69.0)	54 (92)
大学	6	81	31	38.3	26	11	13.6	10	42	51.9	36	39	48.1	33
短期大学		30	10	33.3	9	0	0.0	0	10	33.3	9	20	66.7	13
高等専門学校	1	9	5	55.6	5	1	11.1	1	6	66.7	6	3	33.3	3
小計	0人	120 (119)	46 (26)	38.3 (21.8)	40 (26)	12 (-)	10.0 (-)	11 (-)	58 (26)	48.3 (21.8)	51 (26)	62 (93)	51.7 (78.2)	49 (86)
大学	2	134	43	32.1	38	13	9.7	12	56	41.8	50	78	58.2	61
短期大学		64	24	37.5	20	5	7.8	5	29	45.3	25	35	54.7	22
高等専門学校	5	9	7	77.8	6	0	0.0	0	7	77.8	6	2	22.2	2
小計	5人	207 (222)	74 (40)	35.7 (18.0)	64 (35)	18 (-)	8.7 (-)	17 (-)	92 (40)	44.4 (18.0)	81 (35)	115 (182)	55.6 (82.0)	85 (135)
大学	1	51	11	21.6	8	5	9.8	5	16	31.4	13	35	68.6	23
短期大学		45	10	22.2	6	6	13.3	3	16	35.6	9	29	64.4	15
高等専門学校	0	2	1	50.0	0	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計	1人	98 (106)	22 (13)	22.4 (12.3)	14 (4)	11 (-)	11.2 (-)	8 (-)	33 (13)	33.7 (12.3)	22 (4)	65 (93)	66.3 (87.7)	38 (63)
大学	0	111	11	9.9	0	13	11.7	0	24	21.6	0	86	77.5	0
短期大学		156	25	16.0	0	8	5.1	0	33	21.2	0	123	78.8	0
高等専門学校	0	5	2	40.0	0	1	20.0	0	3	60.0	0	2	40.0	0
小計	0人	272 (302)	38 (20)	14.0 (6.6)	0 (0)	22 (-)	8.1 (-)	0 (-)	60 (20)	22.1 (6.6)	0 (0)	211 (282)	77.6 (93.4)	0 (0)
大学		778	312	40.1	287	86	11.1	70	398	51.2	357	379	48.7	250
短期大学		336	82	24.4	47	22	6.5	11	104	31.0	58	232	69.0	70
高等専門学校		57	33	57.9	27	8	14.0	7	41	71.9	34	16	28.1	13
計		1,171 (1,182)	427 (256)	36.5 (21.7)	361 (219)	116 (-)	9.9 (-)	88 (-)	543 (256)	46.4 (21.7)	449 (219)	627 (926)	53.5 (78.3)	333 (540)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答校あり

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援に関する専門委員会等の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門委員会を設置」358校(前年度251校)と「他の委員会が対応」645校(同684校)を合わせた1,003校(同935校)で組織的な対応をしており、全学校(1,171校)の85.7%(同79.1%)、前年度より6.6ポイントの増。
- ・比率をみると、「専門委員会を設置」が30.6%で前年度(21.2%)より9.4ポイントの増、「他の委員会が対応」が55.1%で前年度(57.9%)より2.8ポイントの減。

表39 障害学生支援に関する専門委員会等 [障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		専門委員会を設置			他の委員会が対応			計			対応する委員会はない			
		(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障 害学生 在籍校 (※) (校)	
大学	2 1 人以上	297	151	50.8	150	129	43.4	124	280	94.3	274	17	5.7	15
短期大学		21	6	28.6	6	11	52.4	7	17	81.0	13	4	19.0	3
高等専門学校		18	10	55.6	9	7	38.9	7	17	94.4	16	1	5.6	1
小計		336 (288)	167 (110)	49.7 (38.2)	165 (109)	147 (132)	43.8 (45.8)	138 (122)	314 (242)	93.5 (84.0)	303 (231)	22 (45)	6.5 (15.6)	19 (43)
大学	1 1 2 0 人	104	41	39.4	40	56	53.8	55	97	93.3	95	7	6.7	7
短期大学		20	4	20.0	4	15	75.0	14	19	95.0	18	1	5.0	1
高等専門学校		14	7	50.0	7	7	50.0	6	14	100.0	13	0	0.0	0
小計		138 (145)	52 (41)	37.7 (28.3)	51 (41)	78 (75)	56.5 (51.7)	75 (68)	130 (116)	94.2 (80.0)	126 (109)	8 (28)	5.8 (19.3)	8 (25)
大学	6 5 1 0 人	81	27	33.3	25	46	56.8	38	73	90.1	63	8	9.9	6
短期大学		30	9	30.0	7	16	53.3	11	25	83.3	18	5	16.7	4
高等専門学校		9	2	22.2	2	4	44.4	4	6	66.7	6	3	33.3	3
小計		120 (119)	38 (28)	31.7 (23.5)	34 (27)	66 (79)	55.0 (66.4)	53 (74)	104 (107)	86.7 (89.9)	87 (101)	16 (12)	13.3 (10.1)	13 (11)
大学	2 5 5 人	134	36	26.9	34	80	59.7	62	116	86.6	96	18	13.4	15
短期大学		64	23	35.9	16	37	57.8	28	60	93.8	44	4	6.3	3
高等専門学校		9	6	66.7	5	3	33.3	3	9	100.0	8	0	0.0	0
小計		207 (222)	65 (40)	31.4 (18.0)	55 (38)	120 (137)	58.0 (61.7)	93 (96)	185 (177)	89.4 (79.7)	148 (134)	22 (42)	10.6 (18.9)	18 (35)
大学	1 人	51	7	13.7	6	36	70.6	25	43	84.3	31	8	15.7	5
短期大学		45	7	15.6	4	28	62.2	14	35	77.8	18	10	22.2	6
高等専門学校		2	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計		98 (106)	14 (8)	14.3 (7.5)	10 (4)	65 (80)	66.3 (75.5)	39 (52)	79 (88)	80.6 (83.0)	49 (56)	19 (17)	19.4 (16.0)	11 (10)
大学	0 人	111	7	6.3	0	75	67.6	0	82	73.9	0	28	25.2	0
短期大学		156	13	8.3	0	93	59.6	0	106	67.9	0	50	32.1	0
高等専門学校		5	2	40.0	0	1	20.0	0	3	60.0	0	2	40.0	0
小計		272 (302)	22 (24)	8.1 (7.9)	0 (0)	169 (181)	62.1 (59.9)	0 (0)	191 (205)	70.2 (67.9)	0 (0)	80 (94)	29.4 (31.1)	0 (0)
大学		778	269	34.6	255	422	54.2	304	691	88.8	559	86	11.1	48
短期大学		336	62	18.5	37	200	59.5	74	262	78.0	111	74	22.0	17
高等専門学校		57	27	47.4	23	23	40.4	20	50	87.7	43	7	12.3	4
計		1,171 (1,182)	358 (251)	30.6 (21.2)	315 (219)	645 (684)	55.1 (57.9)	398 (412)	1,003 (935)	85.7 (79.1)	713 (631)	167 (238)	14.3 (20.1)	69 (124)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答あり

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「第三者的視点で調整を行なう機関がある」学校は61校で全学校(1,171校)の5.2%。「他の機関で対応している」学校は385校で全学校(1,171校)の32.9%。合わせると446校で全学校(1,171校)の38.1%。
- ・「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は716校で全学校(1,171校)の61.1%。

表40 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		第三者的視点で調整を行なう機関がある				他の機関で対応している				計		第三者的視点で調整を行なう機関はない		
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	2	297	26	8.8	26	124	41.8	122	150	50.5	148	142	47.8	136
短期大学	1	21	1	4.8	1	5	23.8	3	6	28.6	4	14	66.7	11
高等専門学校	以上	18	2	11.1	2	7	38.9	6	9	50.0	8	9	50.0	9
小計		336	29	8.6	29	136	40.5	131	165	49.1	160	165	49.1	156
大学	1	104	10	9.6	10	34	32.7	34	44	42.3	44	60	57.7	58
短期大学	1	20	0	0.0	0	4	20.0	3	4	20.0	3	16	80.0	16
高等専門学校	2	14	1	7.1	1	2	14.3	1	3	21.4	2	11	78.6	11
小計	0	138	11	8.0	11	40	29.0	38	51	37.0	49	87	63.0	85
大学	6	81	6	7.4	5	24	29.6	21	30	37.0	26	50	61.7	42
短期大学	5	30	0	0.0	0	10	33.3	7	10	33.3	7	20	66.7	15
高等専門学校	1	9	0	0.0	0	1	11.1	1	1	11.1	1	8	88.9	8
小計	人	120	6	5.0	5	35	29.2	29	41	34.2	34	78	65.0	65
大学	2	134	3	2.2	3	39	29.1	31	42	31.3	34	91	67.9	77
短期大学	5	64	1	1.6	1	28	43.8	21	29	45.3	22	35	54.7	25
高等専門学校	5	9	1	11.1	1	3	33.3	3	4	44.4	4	5	55.6	4
小計	人	207	5	2.4	5	70	33.8	55	75	36.2	60	131	63.3	106
大学	1	51	4	7.8	2	19	37.3	13	23	45.1	15	28	54.9	21
短期大学	1	45	3	6.7	2	12	26.7	7	15	33.3	9	30	66.7	15
高等専門学校	1	2	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計	人	98	7	7.1	4	32	32.7	20	39	39.8	24	59	60.2	36
大学	0	111	1	0.9	0	36	32.4	0	37	33.3	0	73	65.8	0
短期大学	0	156	1	0.6	0	36	23.1	0	37	23.7	0	119	76.3	0
高等専門学校	0	5	1	20.0	0	0	0.0	0	1	20.0	0	4	80.0	0
小計	人	272	3	1.1	0	72	26.5	0	75	27.6	0	196	72.1	0
大学		778	50	6.4	46	276	35.5	221	326	41.9	267	444	57.1	334
短期大学		336	6	1.8	4	95	28.3	41	101	30.1	45	234	69.6	82
高等専門学校		57	5	8.8	4	14	24.6	11	19	33.3	15	38	66.7	32
計		1,171	61	5.2	54	385	32.9	273	446	38.1	327	716	61.1	448

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答校あり

(4) 1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門部署・機関を設置」196校(前年度138校)と「他の部署・機関が対応」893校(同948校)を合わせた1,089校(同1,086校)で組織的な対応をしており、全学校(1,171校)の93.0%(同91.9%)、前回調査より1.1ポイントの増。
- ・比率をみると、「専門部署・機関を設置」が16.7%で前年度(11.7%)より5ポイントの増、「他の部署・機関が対応」が76.3%で前年度(80.2%)より3.9ポイントの減。

表41 障害学生支援担当部署 [障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			計			対応する部署・機関はない			
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	2 1 人 以上	297	102	34.3	102	193	65.0	185	295	99.3	287	2	0.7	2
短期大学		21	3	14.3	3	18	85.7	13	21	100.0	16	0	0.0	0
高等専門学校		18	6	33.3	6	12	66.7	11	18	100.0	17	0	0.0	0
小計		336 (288)	111 (79)	33.0 (27.4)	111 (78)	223 (207)	66.4 (71.9)	209 (195)	334 (286)	99.4 (99.3)	320 (273)	2 (2)	0.6 (0.7)	2 (2)
大学	1 1 5 2 0 人	104	26	25.0	25	77	74.0	76	103	99.0	101	1	1.0	1
短期大学		20	2	10.0	2	17	85.0	16	19	95.0	18	1	5.0	1
高等専門学校		14	3	21.4	3	10	71.4	9	13	92.9	12	1	7.1	1
小計		138 (145)	31 (25)	22.5 (17.2)	30 (25)	104 (116)	75.4 (80.0)	101 (106)	135 (141)	97.8 (97.2)	131 (131)	3 (4)	2.2 (2.8)	3 (4)
大学	6 5 1 0 人	81	10	12.3	10	70	86.4	59	80	98.8	69	1	1.2	0
短期大学		30	3	10.0	2	26	86.7	20	29	96.7	22	1	3.3	0
高等専門学校		9	1	11.1	1	8	88.9	8	9	100.0	9	0	0.0	0
小計		120 (119)	14 (13)	11.7 (10.9)	13 (13)	104 (105)	86.7 (88.2)	87 (98)	118 (118)	98.3 (99.2)	100 (111)	2 (1)	1.7 (0.8)	0 (1)
大学	2 5 5 人	134	13	9.7	12	117	87.3	96	130	97.0	108	4	3.0	3
短期大学		64	10	15.6	7	51	79.7	38	61	95.3	45	3	4.7	2
高等専門学校		9	2	22.2	2	5	55.6	4	7	77.8	6	2	22.2	2
小計		207 (222)	25 (14)	12.1 (6.3)	21 (13)	173 (197)	83.6 (88.7)	138 (150)	198 (211)	95.7 (95.0)	159 (163)	9 (8)	4.3 (3.6)	7 (6)
大学	1 人	51	4	7.8	3	40	78.4	29	44	86.3	32	7	13.7	4
短期大学		45	2	4.4	2	40	88.9	19	42	93.3	21	3	6.7	3
高等専門学校		2	0	0.0	0	2	100.0	0	2	100.0	0	0	0.0	0
小計		98 (106)	6 (3)	6.1 (2.8)	5 (2)	82 (94)	83.7 (88.7)	48 (60)	88 (97)	89.8 (91.5)	53 (62)	10 (9)	10.2 (8.5)	7 (5)
大学	0 人	111	2	1.8	0	85	76.6	0	87	78.4	0	23	20.7	0
短期大学		156	5	3.2	0	122	78.2	0	127	81.4	0	29	18.6	0
高等専門学校		5	2	40.0	0	0	0.0	0	2	40.0	0	3	60.0	0
小計		272 (302)	9 (4)	3.3 (1.3)	0 (0)	207 (229)	76.1 (75.8)	0 (0)	216 (233)	79.4 (77.2)	0 (0)	55 (68)	20.2 (22.5)	0 (0)
大学		778	157	20.2	152	582	74.8	445	739	95.0	597	38	4.9	10
短期大学		336	25	7.4	16	274	81.5	106	299	89.0	122	37	11.0	6
高等専門学校		57	14	24.6	12	37	64.9	32	51	89.5	44	6	10.5	3
計		1,171 (1,182)	196 (138)	16.7 (11.7)	180 (131)	893 (948)	76.3 (80.2)	583 (609)	1,089 (1,086)	93.0 (91.9)	763 (740)	81 (92)	6.9 (7.8)	19 (18)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 未回答校あり

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当者の配置状況を見ると次のとおり。

- ・「専任配置」178校(前年度147校)と「兼任配置」911校(同926校)を合わせた1,089校(同1,073校)で配置しており、全学校(1,171校)の93.0%(同90.8%)、前年度より2.2ポイントの増。

表42 障害学生支援担当者〔障害学生数別・学校種別〕

区分		障害学生在籍校							外部 (校)	
		専任配置			兼任配置		計			
		(校)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	(校)	支援障害学生 在籍校 (※)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)		
大学	2	297	101	100	190	185	291	98.0	285	156
短期大学	1	21	2	2	18	13	20	95.2	15	11
高等専門学校	人	18	3	3	14	13	17	94.4	16	14
小計	以上	336 (288)	106 (81)	105 (81)	222 (200)	211 (189)	328 (281)	97.6 (97.6)	316 (270)	181 (151)
大学	1	104	23	23	79	77	102	98.1	100	56
短期大学	1	20	2	2	16	15	18	90.0	17	10
高等専門学校	5	14	1	1	13	12	14	100.0	13	14
小計	2	138 (145)	26 (25)	26 (25)	108 (116)	104 (107)	134 (141)	97.1 (97.2)	130 (132)	80 (89)
大学	6	81	11	11	68	57	79	97.5	68	35
短期大学	5	30	3	2	24	19	27	90.0	21	20
高等専門学校	1	9	1	1	8	8	9	100.0	9	6
小計	0	120 (119)	15 (11)	14 (11)	100 (105)	84 (99)	115 (116)	95.8 (97.5)	98 (110)	61 (66)
大学	2	134	7	7	122	101	129	96.3	108	59
短期大学	5	64	9	8	53	38	62	96.9	46	26
高等専門学校	5	9	2	1	7	7	9	100.0	8	5
小計	人	207 (222)	18 (18)	16 (15)	182 (190)	146 (146)	200 (208)	96.6 (93.7)	162 (161)	90 (94)
大学	1	51	1	1	45	31	46	90.2	32	15
短期大学	1	45	4	4	39	18	43	95.6	22	18
高等専門学校	人	2	0	0	2	0	2	100.0	0	1
小計		98 (106)	5 (5)	5 (4)	86 (91)	49 (57)	91 (96)	92.9 (90.6)	54 (61)	34 (45)
大学	0	111	2	0	90	0	92	82.9	0	29
短期大学	0	156	6	0	120	0	126	80.8	0	43
高等専門学校	人	5	0	0	3	0	3	60.0	0	3
小計		272 (302)	8 (7)	0 (0)	213 (224)	0 (0)	221 (231)	81.3 (76.5)	0 (0)	75 (71)
大学		778	145	142	594	451	739	95.0	593	350
短期大学		336	26	18	270	103	296	88.1	121	128
高等専門学校		57	7	6	47	40	54	94.7	46	43
計		1,171 (1,182)	178 (147)	166 (136)	911 (926)	594 (598)	1,089 (1,073)	93.0 (90.8)	760 (734)	521 (516)

※ 複数回答あり

※ 未回答校あり

※ 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生在籍数別)

< 概要 >

- 障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。
 - ・専任スタッフでは、最も多いのが「職員」97校。次いで「コーディネーター」72校、「教員」55校、「カウンセラー」32校、「支援技術を持つ教職員」12校、「医師」6校の順。
 - ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」944校。次いで「教員」624校、「カウンセラー」395校、「医師」179校、「コーディネーター」99校、「支援技術を持つ教職員」29校の順。
 - ・外部に委託では、最も多いのが「医師・カウンセラー等」459校で、次いで「専門技能者」61校の順。

表43 障害学生支援担当者〔職種別・障害学生在籍数別〕

区分		障害学生在籍校																				
		専任スタッフが いる									兼任スタッフが いる									外部に委託 している		
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)			
21人以上	大学	297	101	49	19	4	6	64	38	12	281	37	144	85	11	240	164	20	156	125	30	15
	短期大学	21	2	1	0	0	0	1	0	0	20	1	9	3	2	18	13	0	11	11	0	0
	高等専門学校	18	3	0	0	0	0	2	2	0	16	5	2	0	0	16	14	0	14	14	1	0
	小計	336	106	50	19	4	6	67	40	12	317	43	155	88	13	274	191	20	181	150	31	15
11～20人	大学	104	23	7	4	0	4	13	4	3	100	8	44	20	3	97	60	8	56	50	11	4
	短期大学	20	2	1	1	0	0	0	0	1	18	1	9	2	0	16	11	0	10	10	0	1
	高等専門学校	14	1	1	0	0	0	1	0	0	14	3	1	0	0	14	14	0	14	14	0	0
	小計	138	26	9	5	0	4	14	4	4	132	12	54	22	3	127	85	8	80	74	11	5
6～10人	大学	81	11	5	0	0	0	4	4	2	78	7	27	9	3	71	41	2	35	33	2	1
	短期大学	30	3	1	0	0	2	0	0	0	27	4	12	4	3	23	13	2	20	19	0	1
	高等専門学校	9	1	0	1	0	0	0	0	0	8	1	1	0	0	7	6	0	6	6	0	1
	小計	120	15	6	1	0	2	4	4	2	113	12	40	13	6	101	60	4	61	58	2	3
2～5人	大学	134	7	1	2	1	0	3	1	0	128	10	45	21	4	112	75	8	59	48	9	3
	短期大学	64	9	2	4	1	0	5	1	3	60	5	21	6	0	50	41	8	26	22	3	3
	高等専門学校	9	2	0	0	0	0	1	1	1	9	3	1	0	0	7	7	1	5	5	0	0
	小計	207	18	3	6	2	0	9	3	4	197	18	67	27	4	169	123	17	90	75	12	6
1人	大学	51	1	0	0	0	0	0	1	0	46	3	8	6	0	46	25	1	15	15	0	0
	短期大学	45	4	1	0	0	0	1	1	1	43	2	16	3	1	34	20	5	18	15	2	1
	高等専門学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	2	0	1	1	0	0
	小計	98	5	1	0	0	0	1	2	1	91	5	25	9	1	82	47	6	34	31	2	1
0人	大学	111	2	0	1	0	0	0	0	1	91	2	21	12	2	86	45	3	29	28	0	2
	短期大学	156	6	3	0	0	0	2	2	1	123	6	33	8	0	102	70	4	43	40	3	2
	高等専門学校	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	3	3	0	3	3	0	0
	小計	272	8	3	1	0	0	2	2	2	217	9	54	20	2	191	118	7	75	71	3	4
大学	778	145	62	26	5	10	84	48	18	724	67	289	153	23	652	410	42	350	299	52	25	
短期大学	336	26	9	5	1	2	9	4	6	291	19	100	26	6	243	168	19	128	117	8	8	
高等専門学校	57	7	1	1	0	0	4	3	1	52	13	6	0	0	49	46	1	43	43	1	1	
計	1,171	178	72	32	6	12	97	55	25	1,067	99	395	179	29	944	624	62	521	459	61	34	

※ 複数回答あり

※ 未回答あり

表44 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者〔職種別・障害学生在籍数別〕

区分		障害学生在籍数																				
		支援障害学生在籍校																		外部に委託している		
		専任スタッフが在籍している										兼任スタッフが在籍している										
		専任スタッフが在籍している	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	兼任スタッフが在籍している	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者			その他
(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)		
21人以上	大学	289	100	49	18	4	6	64	38	12	275	36	140	82	11	234	162	20	152	121	30	15
	短期大学	16	2	1	0	0	0	1	0	0	15	1	9	3	2	14	10	0	8	8	0	0
	高等専門学校	17	3	0	0	0	0	2	2	0	15	5	2	0	0	15	14	0	14	14	1	0
	小計	322	105	50	18	4	6	67	40	12	305	42	151	85	13	263	186	20	174	143	31	15
11～20人	大学	102	23	7	4	0	4	13	4	3	98	8	44	19	3	95	58	8	54	48	11	4
	短期大学	19	2	1	1	0	0	0	0	1	17	1	9	2	0	15	11	0	9	9	0	1
	高等専門学校	13	1	1	0	0	0	1	0	0	13	3	1	0	0	13	13	0	13	13	0	0
	小計	134	26	9	5	0	4	14	4	4	128	12	54	21	3	123	82	8	76	70	11	5
6～10人	大学	69	11	5	0	0	0	4	4	2	67	6	22	7	2	60	36	2	32	30	2	1
	短期大学	22	2	1	0	0	1	0	0	0	21	3	11	3	2	18	10	2	15	14	0	1
	高等専門学校	9	1	0	1	0	0	0	0	0	8	1	1	0	0	7	6	0	6	6	0	1
	小計	100	14	6	1	0	1	4	4	2	96	10	34	10	4	85	52	4	53	50	2	3
2～5人	大学	111	7	1	2	1	0	3	1	0	107	6	37	19	4	96	60	8	51	40	9	3
	短期大学	47	8	1	3	1	0	5	1	2	44	4	17	4	0	40	29	5	21	18	2	2
	高等専門学校	8	1	0	0	0	0	0	0	1	8	2	1	0	0	7	7	1	5	5	0	0
	小計	166	16	2	5	2	0	8	2	3	159	12	55	23	4	143	96	14	77	63	11	5
1人	大学	36	1	0	0	0	0	0	1	0	32	2	6	5	0	32	17	0	11	11	0	0
	短期大学	24	4	1	0	0	0	1	1	1	22	1	8	3	0	15	11	3	9	7	1	1
	高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	60	5	1	0	0	0	1	2	1	54	3	14	8	0	47	28	3	20	18	1	1
0人	大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	607	142	62	24	5	10	84	48	17	579	58	249	132	20	517	333	38	300	250	52	23	
短期大学	128	18	5	4	1	1	7	2	4	119	10	54	15	4	102	71	10	62	56	3	5	
高等専門学校	47	6	1	1	0	0	3	2	1	44	11	5	0	0	42	40	1	38	38	1	1	
計	782	166	68	29	6	11	94	52	22	742	79	308	147	24	661	444	49	400	344	56	29	

※左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※未回答あり

(5) 障害学生の相談受付窓口

< 概要 >

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況は次のとおり。
 支援の申し出等の相談に対応する窓口がある学校は778校（前年度700校）で、全体の学校数（1,171校）の66.4%で、（同59.2%）より7.2ポイント増。このうち、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している学校は534校45.6%で、（同440校 37.2%）より94校8.4ポイント増加している。

表45 障害学生の相談受付窓口の設置状況

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,171校) 中の実施率 (%)
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある	546 (487)	186 (176)	46 (37)	778 (700)	66.4 (59.2)
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している	388 (321)	114 (91)	32 (28)	534 (440)	45.6 (37.2)
窓口は設けているが、特に周知はしていない	158 (166)	72 (85)	14 (9)	244 (260)	20.8 (22.0)
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない	230 (289)	150 (167)	11 (20)	391 (476)	33.4 (40.3)
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している	139 (173)	73 (85)	7 (14)	219 (272)	18.7 (23.0)
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない	91 (116)	77 (82)	4 (6)	172 (204)	14.7 (17.3)

※ 未回答校あり

(6) 支援の申し出等に関する対応手順

< 概要 >

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況は次のとおり。
 対応手順を規定した文書がある学校は196校（前年度102校）、対応要領等に対応手順が記載されている学校158校（同102校）と合わせると354校（同204校）で、全体の学校数（1,171校）の30.2%（同17.3%）。前年度より150校12.9ポイント増加している。

表46 支援の申し出等に関する対応手順

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,171校) 中の比率 (%)
対応手順を規定した文書がある	150 (78)	32 (19)	14 (5)	196 (102)	16.7 (8.6)
対応要領等に対応手順が記載されている	118 (65)	32 (24)	8 (13)	158 (102)	13.5 (8.6)
対応手順を規定する文書はない	508 (-)	272 (-)	35 (-)	815 (-)	69.6 (-)

※ 未回答校あり

(7)施設・設備の整備状況（学校種別・内容別）

< 概要 >

○大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて以下の整備率が高い。

- ・屋外については「専用駐車場」、「道路の舗装、段差の解消等」、「手すり、スロープ、階段昇降機等」。
- ・屋内については「障害者用トイレ」、「エレベーター」、「車椅子移動等に必要なスペース確保」。
- ・支援機器については「車椅子、簡易ベッド等」。

表47 施設・設備の整備状況

区分		学内全体に整備 (校)	現在必要な箇所に整備 (校)	部分的に整備しているが不十分 (校)	整備中または年度内に整備予定 (校)	未整備 (校)	整備率 (%)	
大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	167	301	256	0	52	60.2
		手すり、スロープ、階段昇降機等	91	362	264	1	59	58.2
		点字ブロック、標識シール等	54	153	243	4	317	26.6
		専用駐車場	172	356	105	2	139	67.9
	屋内	自動扉等出入り口の整備	136	278	261	2	99	53.2
		エレベーター	216	308	225	2	25	67.4
		手すり、スロープ、階段昇降機等	92	341	292	1	50	55.7
		車椅子移動等に必要なスペース確保	162	293	248	2	70	58.5
		点字プレート等教室表示	26	72	108	5	562	12.6
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	11	14	0	748	1.4
		障害者用トイレ	194	371	185	1	26	72.6
		自習室、独習室	49	200	149	3	374	32.0
	支援機器	磁気誘導ループ	1	10	6	0	755	1.4
		点字プリンタ	—	79	29	1	662	10.2
		立体コピー機	—	25	6	0	738	3.2
		拡大読書機	—	79	48	4	640	10.2
		点字携帯端末	—	25	8	0	736	3.2
筆談器等		—	79	54	3	630	10.2	
その他	—	457	244	3	70	58.7		
短期大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	40	109	115	2	70	44.3
		手すり、スロープ、階段昇降機等	19	120	133	2	62	41.4
		点字ブロック、標識シール等	9	42	60	1	223	15.2
		専用駐車場	43	122	33	2	134	49.1
	屋内	自動扉等出入り口の整備	23	99	108	3	100	36.3
		エレベーター	45	115	102	1	71	47.6
		手すり、スロープ、階段昇降機等	22	119	144	1	50	42.0
		車椅子移動等に必要なスペース確保	33	106	115	2	78	41.4
		点字プレート等教室表示	3	23	29	1	278	7.7
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	2	4	1	323	0.6
		障害者用トイレ	36	149	102	3	46	55.1
		自習室、独習室	13	54	47	3	217	19.9
	支援機器	磁気誘導ループ	1	1	1	0	331	0.6
		点字プリンタ	—	10	8	0	316	3.0
		立体コピー機	—	4	1	0	329	1.2
		拡大読書機	—	12	4	0	318	3.6
		点字携帯端末	—	2	2	0	330	0.6
筆談器等		—	15	9	0	306	4.5	
その他	—	172	113	3	47	51.2		
高等専門学校	屋外	道路の舗装、段差の解消等	7	25	25	0	0	56.1
		手すり、スロープ、階段昇降機等	5	26	25	0	1	54.4
		点字ブロック、標識シール等	1	4	13	0	39	8.8
		専用駐車場	7	28	13	0	8	61.4
	屋内	自動扉等出入り口の整備	8	23	23	1	2	54.4
		エレベーター	9	20	24	1	3	50.9
		手すり、スロープ、階段昇降機等	4	24	26	1	2	49.1
		車椅子移動等に必要なスペース確保	6	20	26	0	5	45.6
		点字プレート等教室表示	1	0	2	0	54	1.8
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57	0.0
		障害者用トイレ	11	24	21	0	1	61.4
		自習室、独習室	1	9	9	0	38	17.5
	支援機器	磁気誘導ループ	0	0	0	0	56	0.0
		点字プリンタ	—	0	0	0	57	0.0
		立体コピー機	—	2	2	0	53	3.5
		拡大読書機	—	0	0	0	57	0.0
		点字携帯端末	—	0	0	0	57	0.0
筆談器等		—	1	2	0	53	1.8	
その他	—	29	22	0	6	50.9		
その他	1	2	1	0	—	5.3		

※ 整備率：（「学内全体に整備」＋「現在必要な箇所に整備」）÷全学校数（大学778校、短期大学336校、高等専門学校57校）×100（%）なお、全学校数には未回答校を含む。

※ 複数回答、未回答あり

(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

< 概要 >

○支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数の状況を見ると次のとおり。

- ・「①学校が運営する組織に登録している」支援学生がいる210校(支援学生在籍学校数に対する比率は、90.5%)、「②学生が運営する組織に参加している」支援学生がいる46校(同19.8%)、「③他校の協力により派遣してもらっている」2校(同0.9%)、「④その他」(①～③に該当しない支援学生がいる)9校(同3.9%)である。

表48 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

支援学生数	学校種	支援学生在籍校数(※)																				
		①学校が運営する組織に登録している						②学生が運営する組織に参加している					③他校の協力により派遣してもらっている					④その他				
		(校)	(校)	(%)	有償(校)	無償(校)	その他(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	その他(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	その他(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)
51人以上	大学	55	51	92.7	47	4	1	14	25.5	9	5	0	1	1.8	1	0	0	1	1.8	0	0	1
	短期大学	1	1	100.0	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	56	52	92.9	48	4	1	14	25.0	9	5	0	1	1.8	1	0	0	1	1.8	0	0	1
41～50人	大学	12	11	91.7	10	0	1	2	16.7	0	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	短期大学	1	0	0.0	0	0	0	1	100.0	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	13	11	84.6	10	0	1	3	23.1	0	3	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
31～40人	大学	19	17	89.5	15	2	0	3	15.8	3	0	0	0	0.0	0	0	0	1	5.3	1	0	0
	短期大学	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	19	17	89.5	15	2	0	3	15.8	3	0	0	0	0.0	0	0	0	1	5.3	1	0	0
21～30人	大学	25	24	96.0	23	0	1	4	16.0	1	3	0	0	0.0	0	0	0	1	4.0	1	0	0
	短期大学	6	6	100.0	5	0	1	1	16.7	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	31	30	96.8	28	0	2	5	16.1	1	4	0	0	0.0	0	0	0	1	3.2	1	0	0
11～20人	大学	37	31	83.8	27	3	1	11	29.7	7	4	0	1	2.7	1	0	0	3	8.1	0	2	1
	短期大学	4	4	100.0	3	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	41	35	85.4	30	4	1	11	26.8	7	4	0	1	2.4	1	0	0	3	7.3	0	2	1
6～10人	大学	27	23	85.2	20	2	1	6	22.2	3	3	0	0	0.0	0	0	0	2	7.4	0	1	1
	短期大学	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	28	24	85.7	21	2	1	6	21.4	3	3	0	0	0.0	0	0	0	2	7.1	0	1	1
1～5人	大学	31	29	93.5	20	6	3	3	9.7	1	1	1	0	0.0	0	0	0	1	3.2	1	0	0
	短期大学	10	9	90.0	6	2	1	1	10.0	0	0	1	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	高等専門学校	3	3	100.0	1	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
	小計	44	41	93.2	27	10	4	4	9.1	1	1	2	0	0.0	0	0	0	1	2.3	1	0	0
大学	206	186	90.3	162	17	8	43	20.9	24	18	1	2	1.0	2	0	0	9	4.4	3	3	3	
短期大学	22	20	90.9	15	3	2	3	13.6	0	2	1	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	
高等専門学校	4	4	100.0	2	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	
計	232	210	90.5	179	22	10	46	19.8	24	20	2	2	0.9	2	0	0	9	3.9	3	3	3	
0人	大学	568																				
	短期大学	310																				
	高等専門学校	52																				
	小計	930																				

※ 支援学生在籍学校数：①または②に該当する支援学生が在籍する学校数。複数回答校は学生数の多いほうに区分した。

※ 複数回答あり

※ 未回答校あり

(注)本項目は平成28年度から設けたものであるが、30年度から調査票と集計方法が変更されているため比較には留意が必要である〔公表後追記〕。

8. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

○障害学生支援に関わる研修・啓発活動を実施している学校は968校で、前年度（930校）より38校の増。

○実施率が多い順に並べると次のとおり。

- ・「11～20人」96.4%（同91.0%）、「21人以上」95.2%（前年度94.8%）、「6～10人」92.5%（同95.0%）、「2～5人」91.3%（同86.5%）、「1人」76.5%（同74.5%）となっている。

表49 研修・啓発活動実施状況 [学校種別]

学校種別	学校数 (校)	研修・啓発活動実施校数 (校)	実施率(※) (%)
大学	778 (782)	676 (648)	86.9 (82.9)
短期大学	336 (343)	242 (231)	72.0 (67.3)
高等専門学校	57 (57)	50 (51)	87.7 (89.5)
計	1,171 (1,182)	968 (930)	82.7 (78.7)

※ 実施率：研修・啓発活動実施校数÷学校数×100(%)

※ 未回答校あり

表50 研修・啓発活動実施状況 [障害学生数別]

障害学生在籍校					
区分	学校種別	学校数 (校)	研修・啓発活動実施校数		実施率(※) (%)
			(校)	支援障害学生在籍校 (校)	
21人以上	大学	297 (267)	287 (255)	281 (249)	96.6 (95.5)
	短期大学	21 (11)	18 (9)	16 (7)	85.7 (81.8)
	高等専門学校	18 (10)	15 (9)	15 (9)	83.3 (90.0)
	小計	336 (288)	320 (273)	312 (265)	95.2 (94.8)
11～20人	大学	104 (111)	101 (103)	99 (99)	97.1 (92.8)
	短期大学	20 (18)	18 (15)	17 (13)	90.0 (83.3)
	高等専門学校	14 (16)	14 (14)	13 (13)	100.0 (87.5)
	小計	138 (145)	133 (132)	129 (125)	96.4 (91.0)
6～10人	大学	81 (81)	75 (77)	67 (75)	92.6 (95.1)
	短期大学	30 (29)	27 (27)	21 (26)	90.0 (93.1)
	高等専門学校	9 (9)	9 (9)	9 (8)	100.0 (100.0)
	小計	120 (119)	111 (113)	97 (109)	92.5 (95.0)
2～5人	大学	134 (136)	122 (119)	104 (95)	91.0 (87.5)
	短期大学	64 (76)	60 (63)	44 (48)	93.8 (82.9)
	高等専門学校	9 (10)	7 (10)	6 (10)	77.8 (100.0)
	小計	207 (222)	189 (192)	154 (153)	91.3 (86.5)
1人	大学	51 (55)	36 (38)	27 (28)	70.6 (69.1)
	短期大学	45 (43)	37 (34)	18 (19)	82.2 (79.1)
	高等専門学校	2 (8)	2 (7)	0 (4)	100.0 (87.5)
	小計	98 (106)	75 (79)	45 (51)	76.5 (74.5)
0人	大学	111 (132)	55 (56)	0 (0)	49.5 (42.4)
	短期大学	156 (166)	82 (83)	0 (0)	52.6 (50.0)
	高等専門学校	5 (4)	3 (2)	0 (0)	60.0 (50.0)
	小計	272 (302)	140 (141)	0 (0)	51.5 (46.7)

※ 実施率：研修・啓発活動実施校数÷学校数×100(%)

※ 未回答校あり

(2) 学校種別・内容別

< 概要 >

○ 研修・啓発活動を内容別に見ると次のとおり。

最も多いのが「障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施」637校（前年度567校）で、次いで「学外における各種研修等への教職員の派遣」619校（同577校）、「障害学生と支援スタッフ（支援を行なう学生など）に対する相談対応、懇談会等の実施」605校（同611校）の順。

表51 研修・啓発活動実施状況[学校種別・内容別]

区 分		大 学	短 期 大 学	高 等 専 門 学 校	実 施 校 数	実施校数 (968校) 中の実施率 (※1)	全学校 (1,171校) 中の実施率 (※2)
		(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(%)
1	関連する講義（ボランティア論など）の開講	255 (246)	54 (56)	1 (0)	310 (302)	32.0 (32.5)	26.5 (25.5)
2	学生向け各種研修（ノートテイク 養成研修など）の実施	170 (154)	17 (21)	1 (3)	188 (178)	19.4 (19.1)	16.1 (15.1)
3	各種イベント（障害体験講座、講演 など）の実施	128 (111)	23 (22)	5 (4)	156 (137)	16.1 (14.7)	13.3 (11.6)
4	学内における教職員向け各種研修 （FD、SD研修など）の実施	296 (220)	65 (54)	21 (25)	382 (299)	39.5 (32.2)	32.6 (25.3)
	教員向け各種研修(FD研修)の 実施	256 (195)	55 (44)	19 (23)	330 (262)	34.1 (28.2)	28.2 (22.2)
	職員向け各種研修(SD研修)の 実施	225 (160)	57 (44)	10 (12)	292 (216)	30.2 (23.2)	24.9 (18.3)
5	学外における各種研修等への教職員 の派遣	447 (419)	126 (114)	46 (44)	619 (577)	63.9 (62.0)	52.9 (48.8)
6	障害学生と支援スタッフ（支援を行 なう学生など）に対する相談対応、 懇談会等の実施	444 (441)	123 (128)	38 (42)	605 (611)	62.5 (65.7)	51.7 (51.7)
7	支援マニュアル、パンフレット等の 作成配布	209 (183)	36 (26)	9 (9)	254 (218)	26.2 (23.4)	21.7 (18.4)
8	ホームページで障害学生支援情報の 公開	315 (247)	62 (50)	24 (11)	401 (308)	41.4 (33.1)	34.2 (26.1)
9	入学式等の学内イベントでの障害学 生支援についての情報提供	225 (208)	54 (51)	24 (23)	303 (282)	31.3 (30.3)	25.9 (23.9)
10	障害学生に対する就職支援、キャリ ア教育支援の実施	469 (422)	148 (129)	20 (16)	637 (567)	65.8 (61.0)	54.4 (48.0)
11	学外機関との連携	314 (250)	75 (61)	18 (18)	407 (329)	42.0 (35.4)	34.8 (27.8)

※1 平成27年度の実施校数は930校

※2 平成27年度の全学校数は1,182校

※ 複数回答あり

※ 未回答校あり

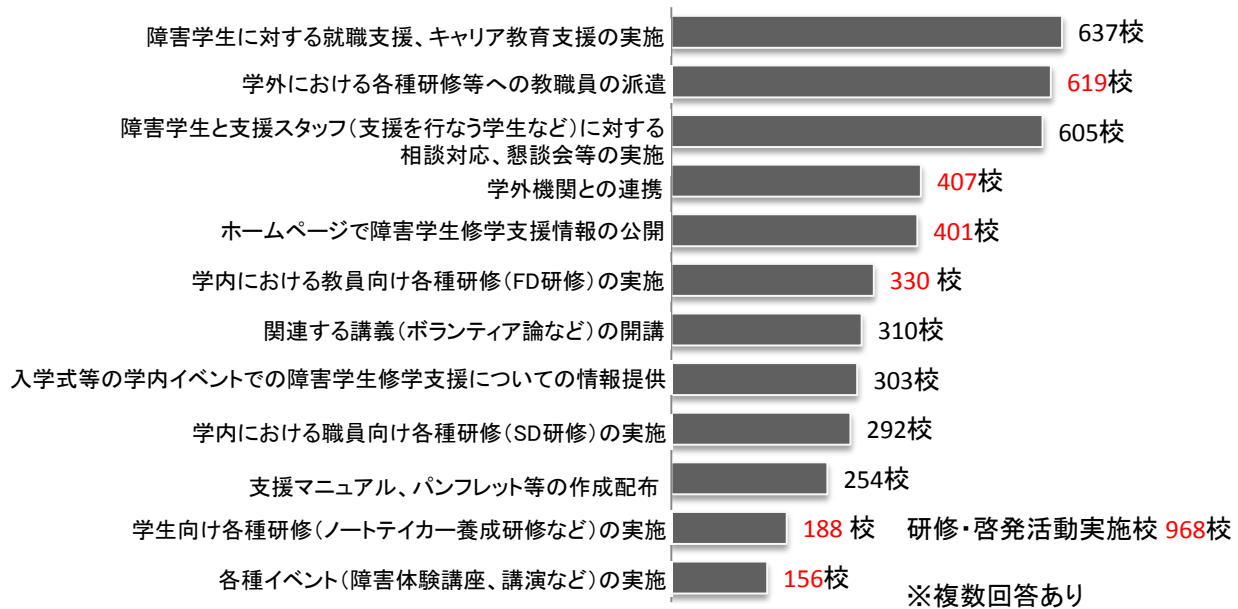


図15 研修・啓発活動実施状況（内容別）

- ア.関連する講義(ボランティア論など)の開講
- イ.学生向け各種研修(ノートテイク養成研修など)の実施
- ウ.各種イベント(障害体験講座、講演など)の実施
- エ.学内における教員向け各種研修(FD研修)の実施
- オ.学内における職員向け各種研修(SD研修)の実施
- カ.学外における各種研修等への教職員の派遣
- キ.障害学生と支援スタッフ(支援を行なう学生など)に対する相談対応、懇談会等の実施
- ク.支援マニュアル、パンフレット等の作成配布
- ケ.ホームページで障害学生修学支援情報の公開
- コ.入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供
- サ.障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施
- シ.学外機関との連携

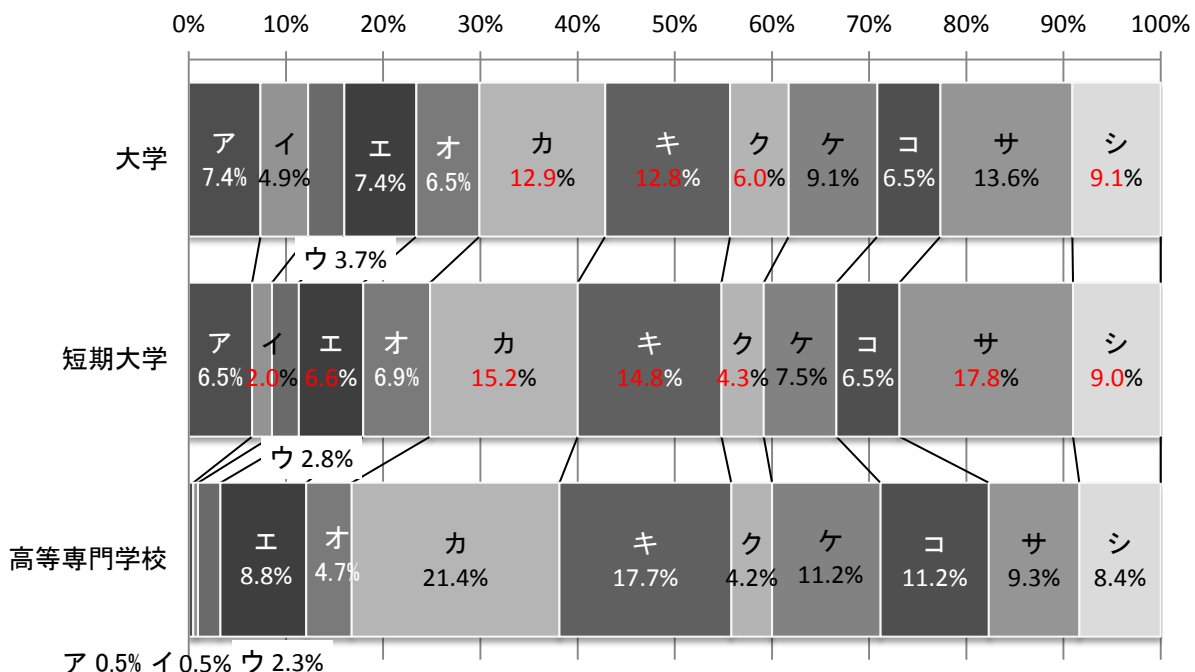


図16 研修・啓発活動実施状況（構成比）

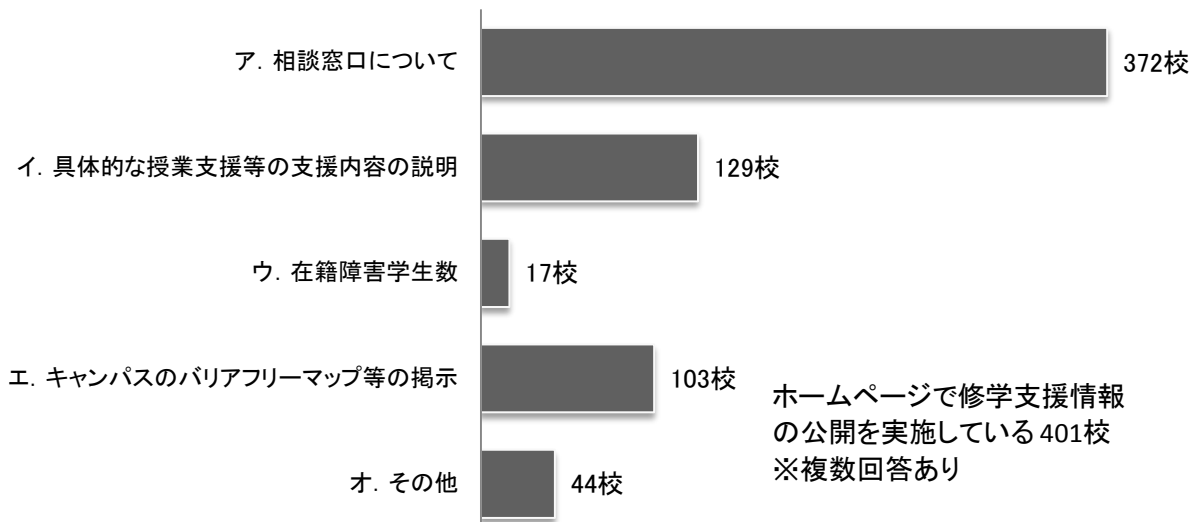


図17 修学支援情報の公開（ホームページ）

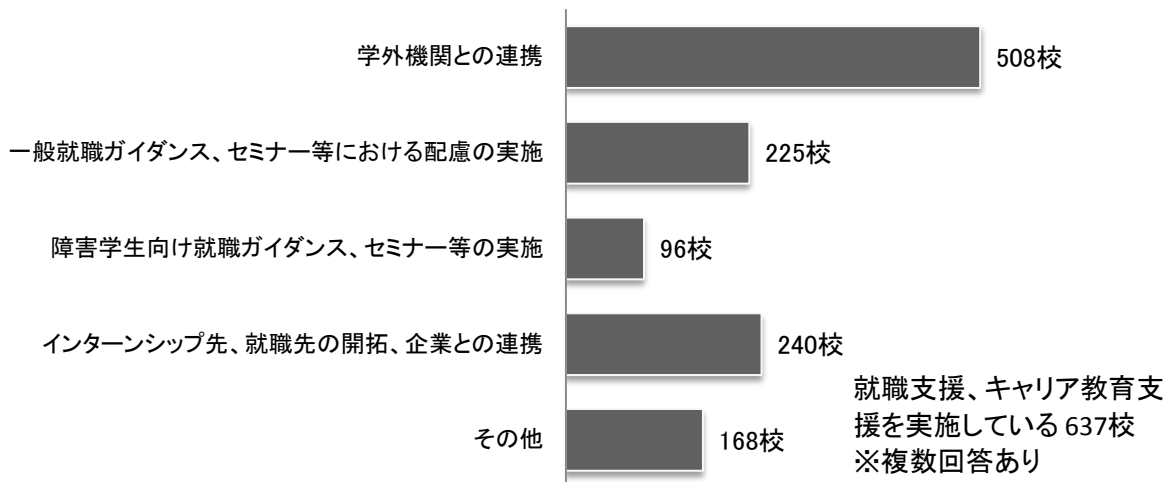


図18 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

(1) 入学者選抜における配慮に関する体制

< 概要 >

- 平成28年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が697校（前年度639校）より58校の増、全学校（1,171校）に対する実施率は59.5%で（同54.1%）より5.4ポイントの増。なお、「入試要項（紙）のみに記載」している学校は235校（同274校）と前年度より39校の減。
- 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」が476校（同466校）と前年度より10校の増、全学校（1,171校）に対する比率は40.6%。

表52 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

区分	大学	短期大学	高等専門 学校	計	全学校 (1,171校) 中の実施率
	(校)	(校)	(校)		(校)
入試要項（紙）及びホームページに記載	527 (476)	122 (118)	48 (45)	697 (639)	59.5 (54.1)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 ⁽¹⁾	517 (465)	113 (112)	48 (45)	678 (622)	57.9 (52.6)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 ⁽²⁾	11 (9)	1 (4)	0 (1)	12 (14)	1.0 (1.2)
その他 ⁽³⁾ ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	7 (9)	3 (2)	0 (0)	10 (11)	0.9 (0.9)
入試要項（紙）のみに記載	151 (188)	82 (79)	2 (7)	235 (274)	20.1 (23.2)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 ⁽¹⁾	149 (185)	82 (76)	2 (6)	233 (267)	19.9 (22.6)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 ⁽²⁾	3 (6)	1 (2)	0 (0)	4 (8)	0.3 (0.7)
その他 ⁽³⁾ ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	2 (4)	0 (4)	0 (1)	2 (9)	0.2 (0.8)
入試要項（紙）にもホームページにも記載していない	89 (107)	122 (135)	7 (5)	218 (247)	18.6 (20.9)

※ 未回答校あり

表53 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

区分	大学	短期大学	高等専門 学校	計	全学校 (1,171校) 中の比率
	(校)	(校)	(校)		(校)
随時受け付けている	247 (236)	108 (108)	13 (14)	368 (358)	31.4 (30.3)
全学共通のルールで期間を設けている	348 (352)	90 (79)	38 (35)	476 (466)	40.6 (39.4)
出願受付締め切りまで	67 (57)	23 (17)	5 (5)	95 (79)	8.1 (6.7)
試験前日まで	3 (3)	1 (2)	1 (1)	5 (6)	0.4 (0.5)
その他	278 (292)	66 (60)	32 (29)	376 (381)	32.1 (32.2)
学部、学科等や入試形態によって違う	59 (56)	4 (6)	0 (2)	63 (64)	5.4 (5.4)
特に告知はしていないが、相談があれば対応する	119 (138)	126 (150)	6 (6)	251 (294)	21.4 (24.9)

※ 未回答校あり

(2) 入学者選抜において実施可能な配慮

< 概要 >

○平成28年度入学者選抜において、実施可能な配慮について、全学校中の比率が70%を超えているものは次のとおり。
 比率が高いものから順に「松葉杖の持参使用」(79.1%)、「車椅子等の持参使用」(78.8%)、「別室を設定」(76.4%)、「試験場への車での入構許可」(73.9%)、「トイレに近接する試験室に指定」(72.8%)、「窓側の明るい席の指定」(71.6%)、「補聴器の持参使用」(71.3%)。

表54 入学者選抜において実施可能な配慮

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,171校) 中の比率 (%)
点字問題を点字で解答	119	17	0	136	11.6
拡大文字問題の準備	395	118	18	531	45.3
拡大解答用紙の準備	388	118	17	523	44.7
音声で出題し音声で解答	47	11	0	58	5.0
マークシートに替えて文字で解答	115	23	1	139	11.9
チェック解答	143	23	2	168	14.3
試験時間の延長	453	117	15	585	50.0
照明器具の準備	318	95	23	436	37.2
特製机の使用	307	60	18	385	32.9
拡大鏡等の持参使用	521	160	35	716	61.1
補聴器の持参使用	606	191	38	835	71.3
車椅子等の持参使用	658	219	46	923	78.8
松葉杖の持参使用	656	224	46	926	79.1
パソコン等の持参使用	154	35	0	189	16.1
手話通訳者の付与	122	21	1	144	12.3
文書による伝達	448	123	16	587	50.1
窓側の明るい席の指定	601	199	38	838	71.6
トイレに近接する試験室に指定	615	198	40	853	72.8
別室を設定	635	214	46	895	76.4
試験室を一階に設定	453	160	35	648	55.3
介助者の付与	258	72	9	339	28.9
試験場への車での入構許可	621	202	42	865	73.9
その他	181	24	10	215	18.4

※ 実施率：実施校数÷全学校数×100(%)

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく実施可否の検討も行っていない項目については実施可能と回答していない場合がある。

※ 未回答校あり

(3) 障害のある入学者数等（障害種別・学校種別）

< 概要 >

○平成28年度入学者選抜における障害のある入学者についてみると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が最も多い。高等専門学校においては「発達障害」が最も多い。

表55 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（総表）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
総表	視覚障害	34	45	52	49	37	34	36	33	
	弱視	231	260	261	229	122	104	96	77	
	小計	265	305	313	278	159	138	132	110	
	聴覚・言語障害	聾	274	312	359	346	179	173	132	126
		難聴	802	740	757	689	311	260	219	176
		言語障害のみ	14	18	19	8	13	3	13	3
	小計	1,090	1,070	1,135	1,043	503	436	364	305	
	肢体不自由	上肢機能障害	60	62	65	37	39	14	32	8
		下肢機能障害	391	390	393	330	173	131	127	92
		上下肢機能障害	270	270	271	238	161	131	126	98
		他の機能障害	104	122	117	100	59	44	38	29
		小計	825	844	846	705	432	320	323	227
	病弱・虚弱	内部障害等	267	311	340	205	203	76	177	56
		他の慢性疾患	164	308	339	136	245	46	222	29
		小計	431	619	679	341	448	122	399	85
	重複	75	67	71	57	32	23	30	21	
	発達障害	S L D	32	37	38	21	17	2	16	1
		A D H D	82	68	78	38	45	15	37	10
		A S D	170	195	226	143	131	54	115	38
		発達障害の重複	69	60	68	44	41	21	32	12
小計		353	360	410	246	234	92	200	61	
精神障害	統合失調症等	26	35	39	15	23	2	23	2	
	気分障害	45	59	65	30	53	18	37	7	
	神経症性障害等	329	347	331	262	132	85	88	45	
	摂食障害・睡眠障害等	10	15	24	7	18	1	18	1	
	他の精神障害	83	83	94	58	57	29	45	20	
小計	493	539	553	372	283	135	211	75		
その他の障害	636	645	628	567	225	191	128	99		
計	4,168	4,449	4,635	3,609	2,316	1,457	1,787	983		

表56 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（大学）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
大学	視覚障害	34	45	52	49	37	34	36	33	
	弱視	226	257	258	226	119	101	95	76	
	小計	260	302	310	275	156	135	131	109	
	聴覚・言語障害	聾	269	307	354	343	175	171	129	125
		難聴	779	718	731	671	289	246	199	164
		言語障害のみ	13	17	17	8	11	3	11	3
	小計	1,061	1,042	1,102	1,022	475	420	339	292	
	肢体不自由	上肢機能障害	58	58	61	37	36	14	29	8
		下肢機能障害	380	377	379	323	159	124	113	85
		上下肢機能障害	265	265	266	234	156	127	121	94
		他の機能障害	104	122	117	100	59	44	38	29
		小計	807	822	823	694	410	309	301	216
	病弱・虚弱	内部障害等	259	296	310	201	174	73	148	53
		他の慢性疾患	157	272	283	133	189	43	168	27
		小計	416	568	593	334	363	116	316	80
	重複	74	66	70	56	31	22	29	20	
	発達障害	S L D	31	37	37	21	16	2	15	1
		A D H D	77	61	67	38	34	15	27	10
		A S D	154	175	196	136	105	50	89	34
		発達障害の重複	65	54	60	41	34	19	25	10
小計		327	327	360	236	189	86	156	55	
精神障害	統合失調症等	26	35	39	15	23	2	23	2	
	気分障害	45	58	62	30	50	18	34	7	
	神経症性障害等	324	342	323	260	124	83	81	44	
	摂食障害・睡眠障害等	10	15	20	7	14	1	14	1	
	他の精神障害	79	78	87	54	53	28	41	19	
小計	484	528	531	366	264	132	193	73		
その他の障害	629	639	619	565	219	190	123	99		
計	4,058	4,294	4,408	3,548	2,107	1,410	1,588	944		

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表57 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（短期大学）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	合格者		入学者	
					配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	5	3	3	3	3	1	1
小計		5	3	3	3	3	1	1
聴覚・言語障害	聾	3	3	3	2	3	2	1
	難聴	14	13	13	10	12	9	10
	言語障害のみ	0	0	1	0	1	0	1
小計		17	16	17	12	16	11	13
肢体不自由	上肢機能障害	1	3	3	0	3	0	3
	下肢機能障害	9	11	12	7	12	7	12
	上下肢機能障害	4	4	4	4	4	4	4
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14	18	19	11	19	11	19
病弱・虚弱	内部障害等	6	10	20	2	20	2	20
	他の慢性疾患	5	34	52	2	52	2	52
	小計	11	44	72	4	72	4	72
重複		1	1	1	1	1	1	1
発達障害	S L D	0	0	0	0	0	0	0
	A D H D	1	3	3	0	3	0	2
	A S D	10	13	15	5	14	4	14
	発達障害の重複	1	2	2	1	2	1	2
	小計	12	18	20	6	19	5	18
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0
	気分障害	0	1	3	0	3	0	3
	神経症性障害等	5	5	7	2	7	2	6
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	3	0	3	0	3
	他の精神障害	4	5	7	4	4	1	4
小計	9	11	20	6	17	3	16	
その他の障害		3	2	3	0	2	0	2
計		72	113	155	43	149	38	142

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（高等専門学校）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	合格者		入学者	
					配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	聾	2	2	2	1	1	0	1
	難聴	9	9	13	8	10	5	10
	言語障害のみ	1	1	1	0	1	0	1
小計		12	12	16	9	12	5	12
肢体不自由	上肢機能障害	1	1	1	0	0	0	0
	下肢機能障害	2	2	2	0	2	0	2
	上下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	1
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4	4	4	0	3	0	3
病弱・虚弱	内部障害等	2	5	10	2	9	1	9
	他の慢性疾患	2	2	4	1	4	1	2
	小計	4	7	14	3	13	2	11
重複		0	0	0	0	0	0	0
発達障害	S L D	1	0	1	0	1	0	1
	A D H D	4	4	8	0	8	0	8
	A S D	6	7	15	2	12	0	12
	発達障害の重複	3	4	6	2	5	1	5
	小計	14	15	30	4	26	1	26
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0
	気分障害	0	0	0	0	0	0	0
	神経症性障害等	0	0	1	0	1	0	1
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	1	0	1	0	1
	他の精神障害	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	2	0	2	0	2	
その他の障害		4	4	6	2	4	1	3
計		38	42	72	18	60	9	57

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)

< 概要 >

○平成28年度入学者選抜における受験上の配慮については次のとおり。

A O入試、推薦入試、障害者特別入試の「特別入試」を受験した障害学生は761人(前年度561人)と前年度より200人の増。「特別入試以外入試」を受験した障害学生は2,691人(同2,272人)と前年度より419人の増。

表59 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (総表)

区分	学部・学科(通学)						小計 (人)	(学部・学科 通信)	(大学院 通学)	(大学院 通信)	専攻科 (人)	計 (人)
	特別入試			小計 (人)	外特 の別 入試 以 上 (人)							
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)									
視覚障害	盲	12 (9)	14 (12)	3 (2)	29 (23)	11 (16)	40 (39)	0 (2)	4 (6)	5 (0)	0 (0)	49 (47)
	弱視	29 (9)	48 (36)	0 (1)	77 (46)	137 (132)	214 (178)	2 (4)	12 (13)	1 (2)	0 (0)	229 (197)
	小計	41 (18)	62 (48)	3 (3)	106 (69)	148 (148)	254 (217)	2 (6)	16 (19)	6 (2)	0 (0)	278 (244)
聴覚・言語障害	聾	33 (21)	86 (56)	3 (4)	122 (81)	210 (114)	332 (195)	0 (4)	14 (7)	0 (0)	0 (3)	346 (209)
	難聴	46 (27)	111 (105)	7 (8)	164 (140)	501 (477)	665 (617)	4 (9)	20 (19)	0 (1)	0 (2)	689 (648)
	言語障害のみ	1 (1)	4 (5)	0 (0)	5 (6)	2 (2)	7 (8)	0 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (12)
	小計	80 (49)	201 (166)	10 (12)	291 (227)	713 (593)	1,004 (820)	4 (14)	35 (29)	0 (1)	0 (5)	1,043 (869)
肢体不自由	上肢機能障害	2 (5)	4 (7)	1 (0)	7 (12)	25 (25)	32 (37)	0 (0)	3 (2)	2 (1)	0 (0)	37 (40)
	下肢機能障害	26 (32)	41 (30)	1 (3)	68 (65)	251 (170)	319 (235)	1 (7)	10 (13)	0 (5)	0 (0)	330 (260)
	上下肢機能障害	30 (19)	39 (30)	0 (0)	69 (49)	143 (126)	212 (175)	3 (9)	17 (12)	6 (1)	0 (0)	238 (197)
	他の機能障害	7 (10)	14 (7)	1 (1)	22 (18)	75 (74)	97 (92)	0 (7)	3 (3)	0 (1)	0 (0)	100 (103)
	小計	65 (66)	98 (74)	3 (4)	166 (144)	494 (395)	660 (539)	4 (23)	33 (30)	8 (8)	0 (0)	705 (600)
病弱・虚弱	内部障害等	5 (3)	26 (15)	0 (0)	31 (18)	170 (167)	201 (185)	0 (12)	4 (6)	0 (0)	0 (0)	205 (203)
	他の慢性疾患	4 (3)	12 (13)	0 (0)	16 (16)	117 (115)	133 (131)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	136 (131)
	小計	9 (6)	38 (28)	0 (0)	47 (34)	287 (282)	334 (316)	1 (12)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	341 (334)
重複	7 (6)	13 (6)	0 (0)	20 (12)	34 (31)	54 (43)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	57 (45)	
発達障害	S L D	2 (1)	2 (3)	0 (0)	4 (4)	17 (13)	21 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (17)
	A D H D	2 (0)	5 (8)	0 (0)	7 (8)	29 (28)	36 (36)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	38 (37)
	A S D	10 (4)	19 (8)	0 (0)	29 (12)	113 (75)	142 (87)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	143 (89)
	発達障害の重複	3 (0)	3 (1)	0 (0)	6 (1)	38 (45)	44 (46)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	44 (48)
	小計	17 (5)	29 (20)	0 (0)	46 (25)	197 (161)	243 (186)	1 (1)	2 (3)	0 (1)	0 (0)	246 (191)
精神障害	統合失調症等	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (16)	13 (17)	0 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (21)
	気分障害	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	28 (9)	30 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (9)
	神経症性障害等	2 (3)	11 (7)	0 (0)	13 (10)	231 (269)	244 (279)	17 (0)	1 (3)	0 (2)	0 (0)	262 (284)
	摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	7 (5)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)
	他の精神障害	2 (2)	12 (13)	0 (0)	14 (15)	41 (59)	55 (74)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	58 (75)
	小計	5 (6)	25 (21)	0 (0)	30 (27)	319 (358)	349 (385)	17 (3)	5 (5)	1 (2)	0 (0)	372 (395)
その他の障害	6 (7)	44 (16)	5 (0)	55 (23)	499 (304)	554 (327)	12 (6)	1 (10)	0 (0)	0 (0)	567 (343)	
計	230 (163)	510 (379)	21 (19)	761 (561)	2,691 (2,272)	3,452 (2,833)	41 (65)	100 (104)	16 (14)	0 (5)	3,609 (3,021)	

表60 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (大学)

区分	学部・学科(通学)						小計 (人)	(学部・学科 通信)	(大学院 通学)	(大学院 通信)	専攻科 (人)	計 (人)	
	特別入試				外特 の別 入試 以 (人)								
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)	小 計 (人)									
大学	視覚障害	盲	12 (9)	14 (12)	3 (2)	29 (23)	11 (16)	40 (39)	0 (2)	4 (6)	5 (0)	0 (0)	49 (47)
		弱視	29 (9)	47 (36)	0 (1)	76 (46)	135 (129)	211 (175)	2 (4)	12 (13)	1 (2)	0 (0)	226 (194)
		小計	41 (18)	61 (48)	3 (3)	105 (69)	146 (145)	251 (214)	2 (6)	16 (19)	6 (2)	0 (0)	275 (241)
	聴覚・言語障害	聾	33 (21)	86 (56)	3 (4)	122 (81)	207 (112)	329 (193)	0 (4)	14 (7)	0 (0)	0 (3)	343 (207)
		難聴	44 (25)	105 (98)	7 (8)	156 (131)	491 (472)	647 (603)	4 (9)	20 (19)	0 (1)	0 (1)	671 (633)
		言語障害のみ	1 (1)	4 (5)	0 (0)	5 (6)	2 (2)	7 (8)	0 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (12)
		小計	78 (47)	195 (159)	10 (12)	283 (218)	700 (586)	983 (804)	4 (14)	35 (29)	0 (1)	0 (4)	1,022 (852)
	肢体不自由	上肢機能障害	2 (5)	4 (7)	1 (0)	7 (12)	25 (24)	32 (36)	0 (0)	3 (2)	2 (1)	0 (0)	37 (39)
		下肢機能障害	24 (30)	36 (28)	1 (3)	61 (61)	251 (169)	312 (230)	1 (6)	10 (13)	0 (5)	0 (0)	323 (254)
		上下肢機能障害	29 (18)	37 (28)	0 (0)	66 (46)	142 (125)	208 (171)	3 (9)	17 (12)	6 (1)	0 (0)	234 (193)
		他の機能障害	7 (10)	14 (7)	1 (1)	22 (18)	75 (74)	97 (92)	0 (7)	3 (3)	0 (1)	0 (0)	100 (103)
		小計	62 (63)	91 (70)	3 (4)	156 (137)	493 (392)	649 (529)	4 (22)	33 (30)	8 (8)	0 (0)	694 (589)
病弱・虚弱	内部障害等	5 (2)	24 (14)	0 (0)	29 (16)	168 (164)	197 (180)	0 (12)	4 (6)	0 (0)	0 (0)	201 (198)	
	他の慢性疾患	4 (3)	11 (10)	0 (0)	15 (13)	115 (115)	130 (128)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	133 (128)	
	小計	9 (5)	35 (24)	0 (0)	44 (29)	283 (279)	327 (308)	1 (12)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	334 (326)	
重複	6 (6)	13 (6)	0 (0)	19 (12)	34 (31)	53 (43)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	56 (45)		
発達障害	S L D	2 (1)	2 (1)	0 (0)	4 (2)	17 (12)	21 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (14)	
	A D H D	2 (0)	5 (8)	0 (0)	7 (8)	29 (28)	36 (36)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	38 (37)	
	A S D	8 (2)	18 (8)	0 (0)	26 (10)	109 (74)	135 (84)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	136 (86)	
	発達障害の重複	3 (0)	3 (1)	0 (0)	6 (1)	35 (45)	41 (46)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	41 (48)	
	小計	15 (3)	28 (18)	0 (0)	43 (21)	190 (159)	233 (180)	1 (1)	2 (3)	0 (1)	0 (0)	236 (185)	
精神障害	統合失調症等	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (16)	13 (17)	0 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (21)	
	気分障害	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	28 (9)	30 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (9)	
	神経症性障害等	2 (3)	11 (7)	0 (0)	13 (10)	229 (266)	242 (276)	17 (0)	1 (3)	0 (2)	0 (0)	260 (281)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	7 (5)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)	
	他の精神障害	2 (1)	9 (12)	0 (0)	11 (13)	40 (54)	51 (67)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	54 (68)	
	小計	5 (5)	22 (20)	0 (0)	27 (25)	316 (350)	343 (375)	17 (3)	5 (5)	1 (2)	0 (0)	366 (385)	
その他の障害	6 (7)	44 (15)	5 (0)	55 (22)	497 (295)	552 (317)	12 (6)	1 (10)	0 (0)	0 (0)	565 (333)		
計	222 (154)	489 (360)	21 (19)	732 (533)	2,659 (2,237)	3,391 (2,770)	41 (64)	100 (104)	16 (14)	0 (4)	3,548 (2,956)		

表61 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

区分	学部・学科(通学)						小計	(学部・学科 (通信))	(大学院 (通学院))	(大学院 (通信院))	専攻科	計
	特別入試				外特別入試 以外							
	A O入試	推薦入試	別障害者特 入試	小計								
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	弱視	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	3 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (1)
	小計	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	3 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (1)
聴覚・言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (1)
	難聴	2 (2)	3 (7)	0 (0)	5 (9)	5 (2)	10 (11)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	10 (11)
	言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	小計	2 (2)	3 (7)	0 (0)	5 (9)	7 (3)	12 (12)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	12 (12)
肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
	下肢機能障害	2 (2)	5 (2)	0 (0)	7 (4)	0 (1)	7 (5)	0 (1)	- (-)	- (-)	0 (0)	7 (6)
	上下肢機能障害	1 (1)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (4)
	他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	小計	3 (3)	7 (4)	0 (0)	10 (7)	1 (3)	11 (10)	0 (1)	- (-)	- (-)	0 (0)	11 (11)
病弱・虚弱	内部障害等	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	1 (1)	2 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (3)
	他の慢性疾患	0 (0)	1 (3)	0 (0)	1 (3)	1 (0)	2 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (3)
	小計	0 (1)	2 (4)	0 (0)	2 (5)	2 (1)	4 (6)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (6)
重複	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)	
発達障害	S L D	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (3)
	A D H D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	A S D	2 (2)	1 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (0)	5 (2)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	5 (2)
	発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
	小計	2 (2)	1 (2)	0 (0)	3 (4)	3 (1)	6 (5)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (5)
精神障害	統合失調症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	気分障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	神経症性障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	2 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (3)
	摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	他の精神障害	0 (1)	3 (0)	0 (0)	3 (1)	1 (4)	4 (5)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (5)
	小計	0 (1)	3 (0)	0 (0)	3 (1)	3 (7)	6 (8)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (8)
その他の障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (6)	0 (6)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (6)	
計	8 (9)	17 (17)	0 (0)	25 (26)	18 (22)	43 (48)	0 (1)	- (-)	- (-)	0 (0)	43 (49)	

表62 受験上の配慮を行なった受験者数〔障害種別・学校種別〕（高等専門学校）

区分	学部・学科(通学)						小計	(学部・学科 (通信))	(大学院 (通学))	(大学院 (通信))	専攻科	計
	特別入試				外特別入試 以外							
	A O入試 (人)	推薦入試 (人)	別障害者特 入試 (人)	小計 (人)								
高等専門学校	視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		弱視	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (2)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (2)
	聴覚・言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (1)
		難聴	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	8 (4)
		言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	9 (5)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		上下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	病弱・虚弱	内部障害等	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (2)
		他の慢性疾患	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		小計	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (2)
	重複		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	発達障害	S L D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A D H D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A S D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (1)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (0)
小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (1)	
精神障害	統合失調症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
	気分障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
	神経症性障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
	他の精神障害	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (2)	
	小計	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (2)	
その他の障害		0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (4)	
計		0 (0)	4 (2)	0 (0)	4 (2)	14 (13)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	18 (16)	

(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容（障害種別）

< 概要 >

○平成28年度入学者選抜において実施した配慮の内容については次のとおり。

- ・実施校数は「その他」を除けば「別室を設定」が最も多く235校。次いで「補聴器の持参使用」196校、「車椅子等の持参使用」179校、「文書による伝達」167校。
- ・障害種別では「肢体不自由」についての実施が最も多く331校。

表63 入学者選抜において実施した配慮の内容〔障害種別〕

区分	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他	受験上の配慮を実施した学校数	
	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	
視覚障害	盲	12	0	0	3	0	1	13	0	4	1	0	0	0	6	0	0	2	11	0	5	2	9	26	
	弱視	0	65	44	3	2	14	38	7	3	57	0	2	2	1	0	3	5	0	43	1	1	8	37	
	小計	12	65	44	6	2	15	51	7	7	58	0	2	2	7	0	3	5	2	54	1	6	10	46	120
聴覚・言語障害	聾	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	45	0	0	5	14	51	1	0	9	0	0	0	34	68
	難聴	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	166	1	0	3	9	114	4	1	26	1	1	2	125	207
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	8
	小計	0	0	0	0	0	0	12	0	0	1	211	1	0	8	23	166	5	1	35	1	1	2	165	283
肢体不自由	上肢機能障害	0	1	2	0	0	5	18	0	4	0	0	4	0	2	0	0	0	3	19	2	1	5	15	31
	下肢機能障害	0	0	1	0	0	0	4	0	24	0	1	91	46	1	0	1	0	65	36	29	16	64	70	131
	上下肢機能障害	0	4	9	0	0	15	44	1	29	1	1	81	24	9	0	0	0	50	60	27	31	69	58	119
	他の機能障害	0	2	1	0	0	3	12	0	12	0	0	30	9	1	0	0	0	20	24	12	13	23	28	50
	小計	0	7	13	0	0	23	78	1	69	1	2	206	79	13	0	1	0	138	139	70	61	161	171	331
病弱・虚弱	内部障害等	0	1	2	0	1	3	5	0	1	1	1	10	1	1	0	0	0	34	36	11	4	11	50	83
	他の慢性疾患	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	2	15	25	7	2	10	44	59
	小計	0	1	3	0	1	3	6	0	2	1	1	12	3	1	0	0	2	49	61	18	6	21	94	142
重複	0	7	6	0	1	3	12	1	4	3	5	16	3	3	2	6	1	12	14	4	4	15	21	36	
発達障害（診断書有）	SLD	0	1	1	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	6	0	0	1	2	8
	ADHD	0	2	2	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	19	0	0	0	9	22
	ASD	0	2	4	0	1	6	20	0	0	0	0	0	2	1	1	14	0	9	52	1	0	5	37	66
	発達障害の重複	0	3	0	0	1	1	12	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0	2	21	1	1	1	11	28
	小計	0	8	7	0	2	11	43	0	0	1	0	0	2	4	1	27	0	12	98	2	1	7	59	124
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	7	0	1	0	6	11
	気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	10	0	0	1	8	14
	神経症性障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	25	55	5	0	3	48	85
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2	4
	他の精神障害	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	6	22	0	0	0	16	33
小計	0	1	0	0	0	0	6	0	2	0	1	1	0	2	0	3	3	37	97	5	1	4	80	147	
その他の障害	0	5	5	1	2	3	13	1	3	4	0	5	10	2	2	0	3	51	50	6	2	14	112	132	
実施校数	12	86	72	6	7	37	137	10	68	67	196	179	80	33	24	167	18	156	235	73	70	166	275	435	

10. 障害学生の卒業後の進路

進路状況（学校種別・障害種別）

< 概要 >

○通学制の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(平成27年5月1日現在)4,997人で(前年度3,856人)より1,141人の増。平成27年度卒業生は3,690人で(同2,930人)より760人の増。

○卒業生の進路状況は、進学が428人で(同349人)と前年度より79人の増。就職が1,953人で(同1,470人)と前年度より483人の増。進学者のうち就職している者16人(同7人)を加えた全就職者数は1,969人(同1,477人)と前年度より492人の増。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表64 進路状況〔学校種別・障害種別〕(総表)

区分	現在(平成27年5月1日)	最高年次(平成28年3月1日まで)	平成27年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成28年5月1日まで)														計				
			進学								就職者(左記を除く)	者(含む)	臨研修(予定)	関等	専修学校・教育・訓練機	療機入所者		社会福祉施設・医	た一時的な職に就	左記以外の者	死亡・不詳の者
			大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	るうち就職してい	(人)	(人)											
視覚障害	盲	27	26	4	0	0	0	1	0	6	0	2	1	1	11	0	26				
	弱視	115	96	10	0	1	0	0	0	53	0	6	1	5	17	3	96				
聴覚・言語障害	聾	133	114	9	3	0	1	0	0	84	0	2	0	2	11	2	114				
	難聴	220	196	24	6	0	4	2	3	124	3	2	0	5	13	13	196				
	言語障害のみ	10	6	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	6				
肢体不自由	上肢機能障害	79	69	5	1	0	0	0	0	55	0	1	0	1	5	1	69				
	下肢機能障害	182	151	13	7	1	1	0	3	89	0	2	0	5	23	10	151				
	上下肢機能障害	159	136	15	6	0	0	0	0	64	0	7	3	2	27	12	136				
	他の機能障害	78	63	9	2	0	1	0	0	36	0	2	0	2	9	2	63				
病弱・虚弱	内部障害等	625	533	24	9	0	4	0	3	360	6	4	5	19	47	55	533				
	他の慢性疾患	737	642	59	14	1	5	0	1	383	6	6	24	31	47	66	642				
重複		59	49	4	2	0	0	0	1	21	0	0	0	1	15	6	49				
発達障害(診断書有)	S L D	26	18	1	0	2	0	0	0	7	0	2	1	2	3	0	18				
	A D H D	129	94	7	4	0	2	0	0	49	0	2	1	6	16	7	94				
	A S D	561	378	34	13	0	4	0	4	121	0	31	16	18	113	28	378				
	発達障害の重複	86	65	3	3	1	1	0	0	22	0	4	4	4	17	6	65				
精神障害	統合失調症等	184	107	7	1	0	0	1	0	38	0	3	2	10	26	19	107				
	気分障害	575	267	20	5	0	1	2	1	118	4	3	4	18	56	36	267				
	神経症性障害等	440	284	16	5	0	2	0	0	126	2	5	5	18	57	48	284				
	摂食障害・睡眠障害等	125	92	13	3	0	0	0	0	47	0	0	0	4	13	12	92				
	他の精神障害	251	147	4	6	1	0	1	0	60	1	6	3	9	40	16	147				
その他の障害		196	157	7	4	2	2	1	0	87	0	0	3	5	16	30	157				
計		4,997 (3,856)	3,690 (2,930)	289 (205)	94 (104)	9 (10)	28 (24)	8 (6)	16 (7)	1,953 (1,470)	23 (14)	90 (76)	73 (14)	168 (147)	583 (548)	372 (312)	3,690 (2,930)				

表65 進路状況〔学校種別・障害種別〕(大学)

区分	現在(平成27年5月1日)	最高年次(平成28年3月1日まで)	平成27年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成28年5月1日まで)														計				
			進学								就職者(左記を除く)	者(含む)	臨研修(予定)	関等	専修学校・教育・訓練機	療機入所者		社会福祉施設・医	た一時的な職に就	左記以外の者	死亡・不詳の者
			大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	るうち就職してい	(人)	(人)											
視覚障害	盲	26	25	4	0	0	0	1	0	6	0	2	1	1	10	0	25				
	弱視	109	92	10	0	0	0	0	0	50	0	6	1	5	17	3	92				
聴覚・言語障害	聾	129	110	9	2	0	0	0	0	83	0	2	0	1	11	2	110				
	難聴	196	174	24	5	0	0	1	3	111	3	2	0	5	10	13	174				
	言語障害のみ	8	6	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	6				
肢体不自由	上肢機能障害	73	63	5	0	0	0	0	0	50	0	1	0	1	5	1	63				
	下肢機能障害	162	131	13	6	0	0	0	3	75	0	2	0	4	21	10	131				
	上下肢機能障害	145	123	15	2	0	0	0	0	59	0	6	3	2	25	11	123				
	他の機能障害	72	57	9	2	0	0	0	0	33	0	2	0	2	7	2	57				
病弱・虚弱	内部障害等	534	447	24	5	0	1	0	3	295	6	3	3	15	43	52	447				
	他の慢性疾患	619	531	59	8	0	0	0	1	300	6	5	24	20	44	65	531				
重複		55	45	4	2	0	0	0	1	18	0	0	0	1	14	6	45				
発達障害(診断書有)	S L D	21	14	1	0	0	0	0	0	6	0	2	1	1	3	0	14				
	A D H D	105	72	7	1	0	0	0	0	35	0	1	1	6	14	7	72				
	A S D	506	328	34	7	0	0	0	3	102	0	29	16	15	98	27	328				
	発達障害の重複	73	52	3	1	0	0	0	0	19	0	3	4	2	14	6	52				
精神障害	統合失調症等	171	96	7	1	0	0	1	0	32	0	3	2	8	24	18	96				
	気分障害	550	251	20	5	0	1	2	1	107	4	3	4	15	55	35	251				
	神経症性障害等	415	268	16	5	0	0	0	0	117	2	5	5	17	53	48	268				
	摂食障害・睡眠障害等	111	79	13	0	0	0	0	0	39	0	0	0	2	13	12	79				
	他の精神障害	215	121	4	2	0	0	1	0	50	1	5	3	7	32	16	121				
その他の障害		161	123	7	1	0	0	1	0	65	0	0	3	2	14	30	123				
計		4,456 (3,422)	3,208 (2,544)	289 (203)	55 (69)	0 (1)	2 (5)	7 (6)	15 (5)	1,655 (1,277)	23 (14)	82 (63)	71 (13)	132 (125)	528 (510)	364 (258)	3,208 (2,544)				

表66 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

区分	27年 最高 年次 障害 学生 数 (平成 28年 5月1 日現 在)	平成 27年 度卒 業の 障害 学生 数 (平 成28 年3月 31日 まで)	平成27年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成28年5月1日まで)													計 (人)					
			進学						就職者 (左記を 除く)	む 臨床 研修 医(予 定者 を含 む)	教育 専修 学校 ・外 国の 学校 ・ 教育 訓練 機関 等	入所 者 社会 福祉 施設 ・医 療機 関	一時的 な職 に就 いた 者	左記 以外 の者	死亡 ・不 詳の 者						
			大学 院研 究科	大学 学部	短期 大学 本科	専攻 科	別科	うち 就職 して いる 者													
視覚障害	盲	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	弱視	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
聴覚・ 言語障害	聾	4	4	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	難聴	15	14	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	14
	言語障害のみ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体 不自由	上肢機能障害	6	6	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	下肢機能障害	19	19	0	1	1	0	0	0	14	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	19
	上下肢機能障害	13	12	0	4	0	0	0	0	4	0	1	0	0	2	1	0	0	2	1	12
	他の機能障害	6	6	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6
病弱・虚弱	内部障害等	86	81	0	3	0	2	0	0	62	0	1	2	4	4	3	0	0	4	3	81
	他の慢性疾患	109	103	0	4	1	2	0	0	80	0	1	0	11	3	1	0	0	3	1	103
重複		3	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
		5	4	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
発達障害 (診断書有)	S L D	8	7	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	7
	A D H D	29	25	0	0	0	1	0	0	9	0	2	0	3	9	1	0	0	3	1	25
	A S D	8	8	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	3	0	0	0	3	0	8
	発達障害の重複	11	9	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	1	1	0	0	1	1	9
精神障害	統合失調症等	22	14	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	14
	気分障害	25	16	0	0	0	2	0	0	9	0	0	0	1	4	0	0	0	4	0	16
	神経症性障害等	13	12	0	2	0	0	0	0	8	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12
	摂食障害・睡眠障害等	34	25	0	4	1	0	0	0	9	0	1	0	2	8	0	0	0	2	0	25
	他の精神障害	27	27	0	2	2	0	0	0	19	0	0	0	3	1	0	0	0	3	1	27
その他の障害		448	398	0	24	9	9	0	0	260	0	6	2	35	45	8	0	0	8	0	398
計		(334)	(297)	(0)	(17)	(9)	(4)	(0)	(2)	(148)	(0)	(12)	(1)	(21)	(31)	(54)	(0)	(0)	(8)	(0)	(297)

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

区分	27年 最高 年次 障害 学生 数 (平成 28年 5月1 日現 在)	平成 27年 度卒 業の 障害 学生 数 (平 成28 年3月 31日 まで)	平成27年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成28年5月1日まで)													計 (人)					
			進学						就職者 (左記を 除く)	む 臨床 研修 医(予 定者 を含 む)	教育 専修 学校 ・外 国の 学校 ・ 教育 訓練 機関 等	入所 者 社会 福祉 施設 ・医 療機 関	一時的 な職 に就 いた 者	左記 以外 の者	死亡 ・不 詳の 者						
			大学 院研 究科	大学 学部	短期 大学 本科	専攻 科	別科	うち 就職 して いる 者													
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	4	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
聴覚・ 言語障害	聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難聴	9	8	0	1	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体 不自由	上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下肢機能障害	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	上下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	内部障害等	5	5	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	他の慢性疾患	9	8	0	2	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
重複		1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害 (診断書有)	S L D	16	15	0	2	0	2	0	0	9	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	15
	A D H D	26	25	0	6	0	3	0	1	10	0	0	0	0	6	0	0	0	6	0	25
	A S D	5	5	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	5
	発達障害の重複	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
精神障害	統合失調症等	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経症性障害等	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	摂食障害・睡眠障害等	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	他の精神障害	8	7	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	7
その他の障害		93	84	0	15	0	17	1	1	38	0	2	0	1	10	0	0	0	8	0	84
計		(100)	(89)	(2)	(18)	(0)	(15)	(0)	(0)	(45)	(0)	(1)	(0)	(1)	(7)	(0)	(0)	(0)	(8)	(0)	(89)

11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

< 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は4,148人（前年度3,436人）と前年度より712人の増。このうち支援障害学生は3,021人（同2,562人）より459人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）の支援障害学生は3,046人（同2,944人）と前年度より102人の増。発達障害（診断書有）の支援障害学生と合わせると6,067人（同5,506人）より561人の増。

表68 発達障害学生数及び支援発達障害学生数〔学校種別〕

区 分	大学		短期大学		高等専門学校		計				
	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	支援障害学生 (人)	障害学生 (人)	構成比 (%)	支援障害学生 (人)	構成比 (%)	
発達障害 (診断書有) 再掲	S L D	133 (152)	87 (114)	18 (14)	12 (10)	19 (9)	7 (7)	170 (175)	4.1 (5.1)	106 (131)	3.5 (5.1)
	A D H D	667 (456)	477 (335)	23 (18)	15 (17)	116 (85)	42 (37)	806 (559)	19.4 (16.3)	534 (389)	17.7 (15.2)
	A S D	2,285 (2,017)	1,794 (1,566)	82 (66)	63 (56)	267 (215)	112 (105)	2,634 (2,298)	63.5 (66.9)	1,969 (1,727)	65.2 (67.4)
	重複	434 (331)	344 (261)	14 (17)	9 (11)	90 (56)	59 (43)	538 (404)	13.0 (11.8)	412 (315)	13.6 (12.3)
	小計	3,519 (2,956)	2,702 (2,276)	137 (115)	99 (94)	492 (365)	220 (192)	4,148 (3,436)	100.0 (100.0)	3,021 (2,562)	100.0 (100.0)
発達障害 (診断書無 ・配慮有)	S L D	—	76 (110)	—	24 (22)	—	11 (19)	—	—	111 (151)	3.6 (5.1)
	A D H D	—	397 (351)	—	18 (25)	—	38 (52)	—	—	453 (428)	14.9 (14.5)
	A S D	—	1,570 (1,578)	—	52 (43)	—	74 (92)	—	—	1,696 (1,713)	55.7 (58.2)
	区分不明	—	683 (530)	—	66 (71)	—	37 (51)	—	—	786 (652)	25.8 (22.1)
	小計	—	2,726 (2,569)	—	160 (161)	—	160 (214)	—	—	3,046 (2,944)	100.0 (100.0)
計	3,519 (2,956)	5,428 (4,845)	137 (115)	259 (255)	492 (365)	380 (406)	4,148 (3,436)	100.0 (100.0)	6,067 (5,506)	100.0 (100.0)	

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）

< 概要 >

○支援発達障害学生数（診断書有+診断書無・配慮有）を学科（専攻）別に見ると、構成比が15%を超えているのは次のとおり。

- ・大学では、多い順に、「工学」1,246人（構成比23.0%）、「人文科学」1,240人（同22.8%）、「社会科学」1,210人（同22.3%）。
- ・短期大学では、「家政」53人（構成比20.5%）「その他」40人（構成比15.4%）。
- ・高等専門学校では、構成比98.4%を占めているのが「工業」374人。

表69 発達障害学生数及び支援発達障害学生数〔学科（専攻）別〕

区 分	発達障害（診断書有） 再掲										発達障害（診断書無・配慮有）学生数					計 (②+③) (人)	構成比 (%)	
	障害学生数					支援障害学生数					S L D	A D H D	A S D	区 分 不 明	小 計 ③ (人)			
	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小 計 ① (人)	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小 計 ② (人)								
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
大学	人文科学	23	146	529	90	788	15	106	438	75	634	17	95	304	190	606	1,240	22.8
	社会科学	32	156	551	100	839	22	113	432	74	641	21	82	305	161	569	1,210	22.3
	理学	2	34	168	36	240	2	23	132	29	186	2	30	95	29	156	342	6.3
	工学	38	123	507	96	764	29	83	391	73	576	16	68	472	114	670	1,246	23.0
	農学	6	27	101	10	144	5	21	70	10	106	2	14	72	29	117	223	4.1
	保健 (医・歯学)	0	13	23	5	41	0	8	19	4	31	0	10	27	19	56	87	1.6
	保健(医・ 歯学を除く)	8	32	73	17	130	2	20	48	15	85	5	21	65	42	133	218	4.0
	商船	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2	3	0.1
	家政	0	8	28	5	41	0	5	22	3	30	1	6	21	13	41	71	1.3
	教育	5	36	63	24	128	3	26	41	20	90	7	26	66	26	125	215	4.0
	芸術	14	64	101	28	207	8	47	80	20	155	5	21	59	31	116	271	5.0
	その他	5	28	140	23	196	1	25	120	21	167	0	24	83	28	135	302	5.6
小計	133	667	2,285	434	3,519	87	477	1,794	344	2,702	76	397	1,570	683	2,726	5,428	100.0	
短期大学	人文	6	7	17	3	33	2	3	12	2	19	3	1	8	7	19	38	14.7
	社会	0	0	6	0	6	0	0	6	0	6	3	1	1	13	18	24	9.3
	教養	0	0	3	0	3	0	0	2	0	2	1	0	2	4	7	9	3.5
	工業	4	6	15	1	26	4	3	14	1	22	0	0	1	1	2	24	9.3
	農業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	1	4	5	1.9
	保健	0	1	0	4	5	0	1	0	1	2	0	0	3	2	5	7	2.7
	家政	1	1	19	4	25	1	1	12	3	17	3	5	11	17	36	53	20.5
	教育	4	1	3	1	9	2	1	2	1	6	7	3	10	11	31	37	14.3
	芸術	1	4	12	0	17	1	3	9	0	13	0	3	2	4	9	22	8.5
	その他	1	3	7	1	12	1	3	6	1	11	7	5	11	6	29	40	15.4
小計	18	23	82	14	137	12	15	63	9	99	24	18	52	66	160	259	100.0	
高等専門学校	社会	0	0	1	2	3	0	0	1	2	3	0	0	1	2	3	6	1.6
	工業	18	116	266	88	488	7	42	111	57	217	11	38	73	35	157	374	98.4
	商船	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	19	116	267	90	492	7	42	112	59	220	11	38	74	37	160	380	100.0	
計	170	806	2,634	538	4,148	106	534	1,969	412	3,021	111	453	1,696	786	3,046	6,067		

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）

< 概要 >

- 「発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は**666**校（前年度670校）と前年度より**4**校の減。全学校（1,171校）の**56.9%**（同56.7%）より**0.2**ポイントの増。
- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は**601**校（同**603**校）と前年度より**2**校の減。全学校の**51.3%**（同**51.0%**）であり前年度より**0.3**ポイントの増。

表70 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)	
発達障害（診断書有） 再掲	障害学生	SLD	88 (75)	13 (11)	12 (8)	113 (94)
		ADHD	250 (205)	17 (16)	35 (30)	302 (251)
		ASD	392 (383)	41 (43)	42 (40)	475 (466)
		発達障害の重複	189 (152)	11 (15)	27 (27)	227 (194)
		発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	459 (456)	67 (68)	46 (44)	572 (568)
	支援障害学生	SLD	62 (50)	8 (9)	5 (6)	75 (65)
		ADHD	200 (159)	12 (15)	21 (19)	233 (193)
		ASD	337 (326)	31 (36)	34 (34)	402 (396)
		発達障害の重複	158 (126)	8 (10)	21 (24)	187 (160)
		支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	398 (381)	48 (54)	39 (39)	485 (474)
(発達障害 診断書無・ 配慮有)	支援障害学生	SLD	55 (59)	11 (13)	5 (7)	71 (79)
		ADHD	150 (147)	14 (18)	10 (12)	174 (177)
		ASD	235 (237)	29 (25)	13 (16)	277 (278)
		区分不明	177 (166)	40 (35)	10 (16)	227 (217)
		発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	326 (334)	69 (62)	18 (25)	413 (421)
発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生が 1人以上在籍する学校数		508 (511)	111 (108)	47 (51)	666 (670)	
全学校数に対する比率 (%)		65.3 (65.3)	33.0 (31.5)	82.5 (89.5)	56.9 (56.7)	
支援発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生が 1人以上在籍する学校数		467 (461)	94 (96)	40 (46)	601 (603)	
全学校数に対する比率 (%)		60.0 (59.0)	28.0 (28.0)	70.2 (80.7)	51.3 (51.0)	
全学校数		778 (782)	336 (343)	57 (57)	1,171 (1,182)	

(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容別）

< 概要 >

- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」601校で行なわれている支援内容は次のとおり。
- ・授業支援では、最も多いのが「配慮依頼文書の配付」288校（実施率47.9%）、次いで「学習指導」217校（同36.1%）、「履修支援」195校（同32.4%）、「出席に関する配慮」168校（同28.0%）の順。
 - ・授業以外の支援では、最も多いのが「専門家によるカウンセリング」412校（実施率68.6%）、次いで「対人関係配慮」282校（同46.9%）、「自己管理指導」266校（同44.3%）、「居場所の確保」213校（同35.4%）の順。

表71 支援発達障害学生支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

区分	大学		短期大学		高等専門学校		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
授業支援	配慮依頼文書の配付	257	55.0	18	19.1	13	32.5	288	47.9
	学習指導	163	34.9	35	37.2	19	47.5	217	36.1
	履修支援	165	35.3	28	29.8	2	5.0	195	32.4
	出席に関する配慮	140	30.0	20	21.3	8	20.0	168	28.0
	講義に関する配慮	120	25.7	5	5.3	5	12.5	130	21.6
	授業内容の代替、提出期限延長等	110	23.6	12	12.8	8	20.0	130	21.6
	教室内座席配慮	96	20.6	13	13.8	11	27.5	120	20.0
	実技・実習配慮	87	18.6	21	22.3	9	22.5	117	19.5
	注意事項等文書伝達	101	21.6	9	9.6	6	15.0	116	19.3
	試験時間延長・別室受験	77	16.5	7	7.4	8	20.0	92	15.3
授業以外の支援	専門家によるカウンセリング	336	71.9	47	50.0	29	72.5	412	68.6
	対人関係配慮	232	49.7	29	30.9	21	52.5	282	46.9
	自己管理指導	217	46.5	30	31.9	19	47.5	266	44.3
	居場所の確保	166	35.5	30	31.9	17	42.5	213	35.4
	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	164	35.1	21	22.3	10	25.0	195	32.4
	キャリア教育	155	33.2	20	21.3	12	30.0	187	31.1
	医療機関との連携	145	31.0	12	12.8	16	40.0	173	28.8
	就職先の開拓、就職活動支援	130	27.8	19	20.2	9	22.5	158	26.3
	障害学生向け求人情報の提供	117	25.1	17	18.1	5	12.5	139	23.1
	休憩室・治療室の確保等	109	23.3	14	14.9	8	20.0	131	21.8

※ 実施率：各支援実施校数÷支援発達障害（診断書有）学生又は、発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校数（学校種別、前頁表70参照）×100（%）

(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮（学校種別）

< 概要 >

- 平成28年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮については次のとおり。
 - ・発達障害（診断書有）学生は246人で、「学部・学科（通学）」における「（AO入試、推薦入試、障害者特別入試の）特別入試」の受験者は46人、「特別入試以外の入試」の受験者は197人。
 - ・発達障害（診断書無・配慮有）学生は19人で、「学部・学科（通学）」における「特別入試」の受験者は9人、「特別入試以外の入試」の受験者は8人。

表72 受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

区分	学部・学科（通学）					小計	学部・学科 （通学）	大学院 （通学）	大学院 （通院）	専攻科	計		
	特別入試				以特別 の入試								
	AO 入試	推 薦 入 試	特 障 害 者 入 試	小 計									
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
発達障害（診断書有）再掲	大学	SLD	2 (1)	2 (1)	0 (0)	4 (2)	17 (12)	21 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (14)
		ADHD	2 (0)	5 (8)	0 (0)	7 (8)	29 (28)	36 (36)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	38 (37)
		ASD	8 (2)	18 (8)	0 (0)	26 (10)	109 (74)	135 (84)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	136 (86)
		発達障害の重複	3 (0)	3 (1)	0 (0)	6 (1)	35 (45)	41 (46)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	41 (48)
		小計	15 (3)	28 (18)	0 (0)	43 (21)	190 (159)	233 (180)	1 (1)	2 (3)	0 (1)	0 (0)	236 (185)
	短期大学	SLD	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (3)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	2 (2)	1 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (0)	5 (2)	0 (0)	—	—	0 (0)	5 (2)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		小計	2 (2)	1 (2)	0 (0)	3 (4)	3 (1)	6 (5)	0 (0)	—	—	0 (0)	6 (5)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	—	—	—	0 (0)	2 (1)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	—	—	—	0 (0)	2 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	4 (1)	—	—	—	0 (0)	4 (1)
計	17 (5)	29 (20)	0 (0)	46 (25)	197 (161)	243 (186)	1 (1)	2 (3)	0 (1)	0 (0)	246 (191)		
発達障害（診断書無・配慮有）	大学	SLD	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
		ASD	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)
		区分不明	5 (2)	1 (4)	0 (0)	6 (6)	8 (1)	14 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (7)
		小計	6 (2)	1 (7)	0 (0)	7 (9)	8 (2)	15 (11)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (11)
	短期大学	SLD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	2 (0)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
計	6 (2)	3 (7)	0 (0)	9 (9)	8 (2)	17 (11)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (11)		

(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）

< 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書有）学生は（平成27年5月1日現在）802人で（前年度637人）と前年度より165人の増。平成27年度卒業生は555人（同464人）より91人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が75人（同71人）と前年度より4人の増。就職が199人で（同130人）と前年度より69人の増。進学者のうち就職している者4人（同0人）を加えた全就職者数は203人（同130人）より73人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書無・配慮有）学生は（平成27年5月1日）現在1,063人（同889人）と前年度より174人の増。平成27年度卒業生は737人（同665人）と前年度より72人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が77人（同62人）と前年度より15人の増。就職が335人（同283人）と前年度より52人の増。進学者のうち就職している者2人（同1人）を加えた全就職者数は337人（同284人）と前年度より53人の増。

※ 最高年次とは「大学：4年次及び6年次、短期大学：2年次（3年制の場合は3年次）、高等専門学校：5年次」をいう。

表73 発達障害学生進路状況 [学校種別]

区分	最高年次障害学生数 (平成27年5月1日現在) (人)	平成27年度卒業の障害学生数 (平成28年3月31日まで) (人)	平成27年度卒業した障害学生の進路状況 (平成28年5月1日まで)														計 (人)		
			進学							うち就職している者 (人)	就職者（左記を除く） (人)	臨床研修医 (予定者を含む) (人)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等 (人)	医療機関 (人)	社会福祉施設 (人)	一時的な職に就いた者 (人)		左記以外の者 (人)	死亡・不詳の者 (人)
			大学院 研究科 (人)	大学 学部 (人)	短期 大学 本科 (人)	専攻 科 (人)	別 科 (人)	者 (人)	者 (人)										
発達障害 (診断書有) 再掲	SLD	21	14	1	0	0	0	0	0	0	6	0	2	1	1	3	0	14	
	ADHD	105	72	7	1	0	0	0	0	35	0	1	1	6	14	7	72		
	ASD	506	328	34	7	0	0	0	3	102	0	29	16	15	98	27	328		
	発達障害の重複	73	52	3	1	0	0	0	0	19	0	3	4	2	14	6	52		
	小計	705 (564)	466 (399)	45 (34)	9 (15)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	3 (0)	162 (111)	0 (3)	35 (17)	22 (4)	24 (21)	129 (156)	40 (34)	466 (399)		
短期大学 (診断書有)	SLD	5	4	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4		
	ADHD	8	7	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	7		
	ASD	29	25	0	0	0	1	0	0	9	0	2	0	3	9	1	25		
	発達障害の重複	8	8	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	3	0	8		
	小計	50 (34)	44 (31)	0 (0)	2 (3)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (6)	0 (0)	2 (6)	0 (0)	5 (2)	13 (10)	1 (3)	44 (31)		
高等専門学校	SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ADHD	16	15	0	2	0	2	0	0	9	0	1	0	0	1	0	15		
	ASD	26	25	0	6	0	3	0	1	10	0	0	0	0	6	0	25		
	発達障害の重複	5	5	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	5		
	小計	47 (39)	45 (34)	0 (2)	9 (7)	0 (0)	6 (5)	0 (0)	1 (0)	20 (13)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	7 (5)	0 (0)	45 (34)		
計	802 (637)	555 (464)	45 (36)	20 (25)	3 (2)	7 (7)	0 (1)	4 (0)	199 (130)	0 (3)	39 (24)	22 (4)	30 (24)	149 (171)	41 (37)	555 (464)			
発達障害 (診断書無・ 配慮有)	SLD	24	18	2	0	0	0	0	0	9	0	1	1	1	2	2	18		
	ADHD	114	72	11	1	0	0	0	0	25	0	2	1	7	10	15	72		
	ASD	527	340	28	3	0	0	0	0	144	1	13	1	23	67	60	340		
	区分不明	258	187	3	0	0	1	0	1	99	0	5	8	13	43	15	187		
	小計	923 (773)	617 (565)	44 (42)	4 (5)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	277 (237)	1 (1)	21 (18)	11 (5)	44 (45)	122 (169)	92 (42)	617 (565)		
短期大学	SLD	11	9	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	9		
	ADHD	10	8	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	3	0	0	8		
	ASD	27	24	0	3	1	1	0	1	9	0	1	0	3	6	0	24		
	区分不明	66	56	0	4	6	0	0	0	29	0	1	3	2	10	1	56		
	小計	114 (82)	97 (71)	0 (0)	7 (3)	7 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	50 (31)	0 (0)	2 (4)	3 (2)	8 (7)	18 (21)	1 (1)	97 (71)		
高等専門学校	SLD	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3		
	ADHD	6	6	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	6		
	ASD	13	13	0	9	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	13		
	区分不明	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	小計	26 (34)	23 (29)	0 (0)	10 (5)	0 (0)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (15)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (3)	0 (0)	23 (29)		
計	1,063 (889)	737 (665)	44 (42)	21 (13)	7 (1)	5 (6)	0 (0)	2 (1)	335 (283)	1 (1)	23 (23)	14 (7)	52 (53)	142 (193)	93 (43)	737 (665)			

< **IV. 参考資料** >
(調査の手引)

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa-kenkyu/chosa/2016.html

平成 28 年度 (2016 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

調査の手引

I 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構（以下 JASSO）が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行ないます。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

〔1〕 調査の期日 平成 28 年 5 月 1 日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学校基本情報（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 学校名と主となる所在地
 - (2) 学校全体の学生数
 - (3) 本調査の担当部署（者）
 - (4) 障害学生支援の主たる担当部署（者）
2. 支援体制（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 - (2) 障害学生支援に関する委員会等
 - (3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関
 - (4) 障害学生支援担当部署（者）
 - (5) 障害学生の相談受付窓口
 - (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 - (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 - (8) 支援学生（ノートテイカー等）
3. 活動や取組（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
4. 受入に関する配慮（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 障害のある入学者数等
 - (2) 受験上の配慮の内容
6. 平成 27 年度卒業生（平成 27 年度の学部（通学課程）最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください）

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトにも掲載しています。

- (1) 学部 (通学課程) 最髙年次及び卒業障害学生数
 - (2) 状況別卒業障害学生数 (平成 28 年 5 月 1 日現在)
7. 障害学生数 (平成 28 年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

- 大学・大学院 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 大学院 (通学課程)、(4) 大学院 (通信教育課程)、(5) 専攻科
- 短期大学 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 専攻科
- 高等専門学校 (1) 学部 (通学課程)、(2) 専攻科

8. 病弱・虚弱 (他の慢性疾患) の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に学生数を計上した場合にご回答ください)
9. 精神障害 (他の精神障害) の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「精神障害」の「他の精神障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)
10. その他の障害の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「その他の障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)
11. 授業支援と授業以外の支援 (平成 28 年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援 (診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)
 - (1) 発達障害のある学生への支援における課題
 - (2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数
支援している学生の数、実施している支援内容 (授業支援及び授業以外の支援を記入してください)。

13. 意見・要望 (障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

〔3〕 提出の期限 平成 28 年 10 月 31 日 (月)

〔4〕 調査結果の公表

報告書：平成 29 年 3 月 (予定)

調査結果は JASSO ウェブサイト障害学生支援

(http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/index.html) で閲覧できます。

〔5〕 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の 3 種類を用意しています。JASSO ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

JASSO ウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査
http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/index.html

- キャンパスが複数ある場合も 1 校 1 回答にまとめてください。
- 大学内に短期学部を有している場合は、大学 (大学院を含む) と短期大学の各 1 回答をお願いします。
- 統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

〔6〕 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル (Excel) をメールに添付し、JASSO まで送信してください。

【回答のファイル名】

機関コード (6桁の半角数字)_ (アンダーバー) 学校名_ (アンダーバー) 実態調査

(例：100999_JASSO大学_実態調査)

※ 機関コードとは、JASSO 学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シート中の (1) に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で 6 桁の数字が表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】 学校名

【メールの送信先】 kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO 学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

〔7〕 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話：03-5520-6176 E-Mail：tokubetsushien@jasso.go.jp

Ⅱ 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

〔1〕 調査票（回答）の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票（回答）ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（平成28年9月1日付）に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、12ページをご参照ください。

〔2〕 調査票（回答）の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票（回答）とともにメールに添付してください。

②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル>記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル>同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。（例：全学生数より入学者数の方が多い）不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際に、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっていきますので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入（例：国立大学法人〇〇大学）すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記

入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっております。

〔3〕 昨年度調査との主な相違点

① 障害者差別解消法に関する対応要領等についての設問を追加しました。

2. 支援体制（1）として、「障害者差別解消法に関する対応要領等」についての設問を追加しました。

- 1) 対応要領または基本方針、規程等がある
- 2) 平成28年度中に策定予定である
- 3) 対応要領または基本方針、規程等はない

② 障害学生支援に関する紛争の防止、解決等に関する機関についての設問内容を変更しました。

昨年度調査の2. 支援体制（1）④「第三者的視点で調整を行なう機関がある」の設問を独立させ、内容を修正しました。

2.（3）紛争の防止、解決等に関する調整機関

- 1) 第三者的視点で調整を行なう専門機関がある
- 2) 専門機関はないがハラスメント委員会等で対応している
- 3) 第三者的視点で調整を行なう機関はない

③ 支援の申し出等の相談に関する対応手順についての設問内容を変更しました。

昨年度調査の2.（4）「障害学生支援に関する規程等」の中に含んでいた対応手順の記載に関する設問を独立させ、内容を修正しました。

2.（6）支援の申し出等に関する対応手順

- 1) 対応手順を規定した文書がある
- 2) 対応要領等に対応手順が記載されている
- 3) 対応手順を規定する文書はない

④ 支援学生（ノートテイク等）に関する設問を追加しました。

支援学生の有無、登録人数、支援実施に係る有償、無償等に関する設問を追加しました。

2.（8）支援学生（ノートテイク等）

- 1) 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる
- 2) 学生が運営する組織に参加する支援学生がいる
- 3) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている
- 4) その他（1）～3)に該当しない支援学生がいる
- 5) 支援学生はいない（支援学生による支援は行っていない）

1. 学校基本情報
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地
 学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。
 主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例：京都市、青森県)
- (2) 学校全体の学生数
 平成28年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び平成27年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、13ページをご参照ください。
 ・全学生数
 学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科
 ・全入学者数(1年次のみ)
 学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科
 ・平成27年度全卒業者数
 学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署(者)
 本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス)を記入してください。
 ※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
 障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。
 ※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合があります。

2. 支援体制
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する専門委員会等
 障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。
 委員会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。

- (3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関
 障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)
 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。
 2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。

- (5) 障害学生の相談受付窓口
 支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するか業務の流れを指します。
 対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイカー等)
 障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 平成28年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。②、⑧は、教職員・在籍学生及び学外一般への理解啓発を目的とするものです。⑥～⑩については、その名称または内容、実施時期、参加人数についても記入してください。実施予定のものについては時期や参加人数も予定でかまいません。各項目の定義については、16ページをご参照ください。
- ① 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)
 - ② 支援マニュアル・パンフレットの配布
 - ③ 修学支援情報の公開(ホームページ)アオの該当欄にも記入してください。
 - ④ 学内イベント(入学式等)での修学支援についての情報提供

- ⑤ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援 ア～オの該当欄にも記入してください。
- ⑥ 障害学生支援に関連する講義（ポランテニア論等）
- ⑦ 障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）
- ⑧ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑨ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）
- ⑩ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）
- ⑪ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑫ 学外機関との連携（自治体、NPO、他大学等、特別支援学校、障害当事者団体、医療・福祉・労働関係機関等）

4. 受入に関する配慮
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。
- (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
平成 28 年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。
- (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
平成 28 年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

5. 入学者数等
(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害のある入学者数等
平成 28 年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。
また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと（学部（通学課程）は入試方式ごと）に回答してください。入試形態の定義については、16 ページをご参照ください。
- (2) 受験上の配慮の内容
(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容で「W その他」を選択した場合は、下にある表に、障害種別に具体的な内容を記入してくだ

ださい。

6. 平成 27 年度卒業生
(平成 27 年度学部(通学課程)最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部（通学課程）、短期大学は学科（通学制）、高等専門学校は本科の平成 27 年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最髙年次及び進路の定義については、16 ページをご参照ください。

(1) 学部（通学課程）最髙年次及び卒業障害学生数

① 昨年度調査時（平成 27 年 5 月 1 日現在）に最髙年次に在籍していた障害学生数を記入してください。

② 平成 27 年 5 月 2 日から平成 28 年 3 月 31 日までに卒業した障害学生数を記入してください。

(2) 状況別卒業障害学生数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

(1) の②で回答した卒業生の、平成 28 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行なっていた卒業生の進路についても、別表で回答してください。

7. 障害学生数

(平成 28 年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれていています。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

- 大学・大学院 (1) 学部（通学課程）、(2) 学部（通信教育課程）、(3) 大学院（通学課程）、(4) 大学院（通信教育課程）、(5) 専攻科
- 短期大学 (1) 学部（通学課程）、(2) 学部（通信教育課程）、(3) 専攻科
- 高等専門学校 (1) 学部（通学課程）、(2) 専攻科

○障害学生数について

A～Lの学科（専攻）別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、13 ページをご参照ください。

※学科（専攻）の分類は学校ごとに違います。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

平成 28 年度障害のある入学者数、休学者数、入学者数（平成 28 年 5 月 1 日現在）、最低在学年限超過数についても回答してください。

身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、

最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。
 発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合は「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
 (「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください)

課程別に表が分かれています。「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の学科(専攻)と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
 (「7. 障害学生数」で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください)

課程別に表が分かれています。「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の学科(専攻)と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

10. その他の障害の内訳
 (「7. 障害学生数」で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください)

課程別に表が分かれています。「その他の障害」に計上した学生の学科(専攻)と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援
 (「7. 障害学生数」で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください。)

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生への支援について、該当する支援内容を回答してください。

障害種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。

実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援
 (発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科(専攻)別の「人文科学」～「保健(医・歯学)」までと、「保健(医・歯学を除く)」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害(診断書無・配属有)」の定義については、15ページをご参照ください。

平成28年度入学者数、休学者数(平成28年5月1日現在)、最低在学年限超過数についても記入してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含まれません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科(専攻)、障害種別(下位区分)、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

13. 意見・要望
 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

Ⅲ本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】 研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
 【入学者数】 1年次の入学者の数（2年次以上の編入者は含みません）。
 【障害学生】 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
 ※平成28年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生（障害があることに
 ついての申請が平成28年5月2日以降の場合を含む）を計上してください。
 ※各障害種の定義（13～15ページ）もご参照ください。
 【支援障害学生】 学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生（今年度中の支援予定を含む）
 支援については、17ページの各支援内容の定義をご参照ください。
 【最低在学年超過数】 各課程の最低在学年限（4年制ならば4年、6年制ならば6年）を超えて在学している障害学生数（休学者数は含みません）

障害について

- 【視覚障害】
 盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度
 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要なる程度（視野障害や、明るいところまがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにく
 い夜盲等の明暗順応の障害を含む）
 ※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断
 名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。
 【聴覚・言語障害】
 聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話を解
 解することが不可能、又は著しく困難な程度
 難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話を解す
 ることが可能な程度
 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、
 言語発達遅滞、口蓋裂）

調査票記入後の確認事項

1. 全般的な確認事項
 (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
 (2) 連絡先（電話・FAX番号）、担当部署名、担当者の役職・氏名（フリガナ）・E-Mail
 アドレスに誤りはありませんか。
 (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
 (4) 記入漏れシートはありませんか。
2. 項目別の確認事項
 各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、同じ数値の詳細、内容等を記入している別表と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

- まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成し、ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけま
 ます。パスワードの設定方法は使用するMicrosoft Excelのバージョンによって異
 異なります。
- Excel2007
 ①ファイルを開き、「Microsoft Office」ボタンをクリックし、「配布準備」の「ドキュメン
 ントの暗号化」を選択します。②「ドキュメントの暗号化」画面でパスワードを設定して
 ください。
- Excel2010
 ①「ファイル」タブをクリックします。②ファイルを開き、「Backstage」ビューで「情
 報」を選択し、「アクセス許可」で「文書の保護」を選択します。③「パスワードを設定し
 て暗号化」を選択し、パスワードを設定してください。
- Excel2013
 調査票ファイルのコピーを作成する過程で、パスワードを設定します。①[ファイル]タブ
 をクリックしてバックステージを開きます。② [名前を付けて保存]を選択して、右下の[参
 照]ボタンをクリックします。③名前を付けて保存 ダイアログボックスの下のほうにある
 [ツール]→[全般オプション]を選択し、パスワードを設定してください。④ファイル名（3
 ページ〔6〕参照）をつけて、ファイルを保存してください。

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害 (ICD-10 F20-F29) に該当する疾患)

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分 (感情) 障害等 (ICD-10 F30-F39) に該当する疾患)

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害 (強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性 (転換性) 障害、身体表現性障害、神経衰弱等 (ICD-10 F40-F48) に該当する疾患)

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等 (ICD-10 F50-F59) に該当する疾患)

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。
他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トレット症候群、性別違和 (性同一性障害)、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかにになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。
【発達障害 (診断書無・配慮有)】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援 (教育上の配慮等) を行なっている者

※何らかの支援 (教育上の配慮等) とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症/限局性学習障害 (旧 L D : 学習障害)
A D H D……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害 (旧注意欠陥/多動性障害)
A S D……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 (旧高機能自閉症等 ; 高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……上記の 3 つのいずれかに該当するか不明の者

【肢体不自由】
上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹 (胴体) に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】
内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
他の慢性疾患……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等はこのに計上する。

※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、障害が重複している者
○ 2 つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3 つ以上の身体障害の重複
視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害 (診断書有)】発達障害に関する医師の診断書がある者
S L D……限局性学習症/限局性学習障害 (旧 L D : 学習障害)
A D H D……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害 (旧注意欠陥/多動性障害)
A S D……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 (旧高機能自閉症等 ; 高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の 3 つのいずれかが重複している者
【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。平成 28 年 9 月 1 日時点での最新版が ICD-10 となります。

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位付与の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延長等）

※急性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもので、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別入試】以下の 3 つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準（アドミッション・ポリシー）による入試
推薦入試……出身学校長の推薦に基づき、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試（入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む）

【特別入試以外の入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最高年次】
大学……4 年次または 6 年次（4 年制、6 年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

短期大学……2 年次または 3 年次（2 年制、3 年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

高等専門学校……5 年次

【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ．就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ．一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ．就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア～カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ．就職者」の欄に計上してください。「ア．進学者」のうちで職に就いている者については、「イ．就職者」に含めず、「②就職教の欄」に計上してください。

【臨床研修医】医師法第 16 条の 2 及び歯科医師法第 16 条の 2 に基づく臨床研修を受ける者 また 5 月 1 日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア．進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ．就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア～カ以外】進学でも就職でもないことが明らかかな者 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、平成 28 年 5 月 1 日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳す）

こと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含みます。

【ノートテイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。

【チューター又はティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合に実施します。

【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。

【パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。

【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。

【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。

【教室内座席配慮】教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。

【FM補聴器／マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。

【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。

【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。

【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。

【授業内容の代替、提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。

【履修支援】履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。

【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。

【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。

【通学支援】スクールバスの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。

【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるように支援すること。

【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。

【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。

【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。

【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。

【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。

【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。

【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。

【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。

【介助者の入構、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。

【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。

【障害学生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。

【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。

【インターネット先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターネット体験を支援すること。

【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリートメントの作成や面接を指導すること。

F A Q よくある質問集

- Q** 平成 28 年 5 月 1 日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○全般的な質問

- Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「13. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 平成 27 年度卒業生」シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートにもご回答ください。
- Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
A 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいなゐ場合はその旨ご連絡ください。
- Q** キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
A お手数ですが 1 校 1 回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。
- Q** 5 月 1 日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。
A 平成 28 年 5 月 1 日時点の数値を記入してください。
- Q** 研修生は対象となりますか？
A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q** 2 年生から 3 年生に進級する時点で留年し、2 年生が 2 回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。
A 最低在学年限は、4 年制であれば 4 年、6 年制であれば 6 年となります。問いの 2 年生は 3 年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

○調査票の取得と回答方法について

- Q** 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課 (E-Mail : tokubetsushien@jasso.go.jp または電話 : 03-5520-6176) までご連絡ください。
- Q** メールで回答を送りましたが、間違ゐなく届くかどうか不安です。
A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q** 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に (再提出) と追記したファイルをメールに添付し、「学校名 (再提出)」というメールタイトルで再送付してください。
- Q** 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。
A 本調査票は集計上の都合によりセルの大きさの変更はできません。該当セルを選択し、次に Excel の上部にある「fx」欄を選択してください。ここに全文が表示されることを確認し、そのままご送付ください。回答内容を印刷保存する場合等にご不便をおかけしますが、あしからずご了承ください。
- Q** 障害についての質問
Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。
- Q** 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生数に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後の F.A.Q ももご参照ください。

- Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 13 ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。
- Q 発達障害 (診断書有) で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 発達障害の中に重複の欄があります。この欄に記入してください。
- Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「12. 発達障害が疑われる学生への支援」の学生数に計上しますか。
- A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。
- Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。
- A 身体障害と発達障害の重複する学生については、「7. 障害学生数」の該当する身体障害の欄に計上し、同じ表の下端にある「発達障害との重複」の該当欄に計上してください。
- Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか？
- A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。
- 活動や取組、支援について
- Q 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑥の「講義」、⑦の「研修」のどちらに当てはまりますか？
- A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑥の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑦の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑧の「講座・講演等イベント」となります。
- Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。

- Q 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- Q 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。
- A 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。同様に、支援に学校が関わっていない場合は、「2. 支援体制」(8)の支援学生の計上には含まれません。
- Q パソコンテキストや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。
- A 「②学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。
- Q ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。
- A 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。
- Q 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。
- A 「④その他」に計上し、「その他の支援学生の具体的な内容」に、その旨(〇〇の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C. その他」を選択し「C. その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。
- Q 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。
- A 「2. 支援体制」の(5)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設備がありますので、そちらに記入してください。「11. 授業支援と授業以外の支援」には計上しません。

(調査票)

大学・大学院用

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa-kenkyu/chosa/2016.html

1. 学校基本情報

平成28年度 (2016年度)	
大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査	
(大学・大学院用)	
1. 学校基本情報	
(1) 学校名と主たる所在地	
学校名	主たる所在地の都道府県名
No.	No.

機関コード表示欄

(2) 学校全体の学生数

課程	平成28年度 全学生数	平成28年度 全入学者数	平成27年度 全卒業生数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

(3) 本調査の担当部署 (者)

部課室名	担当者
役職	氏名
	リカナ
	所在地
郵便番号	
電話番号	FAX番号
	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)

部課室名	担当者
役職	氏名
	リカナ
	所在地
郵便番号	
電話番号	FAX番号
	E-Mail

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等（例：入学者選抜、修学支援に関する委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する欄に「1」を記入して下さい。なお、学生全般に関する規程のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記①に該当しません。

<input type="checkbox"/>	①対応要領または基本方針、規程等がある。	URL: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②平成28年度中に策定予定である。	
<input type="checkbox"/>	③対応要領または基本方針、規程等はない。	

(2) 障害学生支援に関する委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入して下さい。

<input type="checkbox"/>	①専門委員会がある（障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等）。	委員会名 <input type="text"/>
		代表者（委員長等）の役職等 <input type="text"/>
		（副学長、学部長等） <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門委員会はないが、他の委員会で対応している（学生委員会等）。	委員会名 <input type="text"/>
		代表者（委員長等）の役職等 <input type="text"/>
		（副学長、学部長等） <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。	

(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関
障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう学内機関について、該当する欄に「1」を記入して下さい。

<input type="checkbox"/>	①第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②他の機関（ハラスメント委員会等）で対応している。	機関 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③第三者的視点で調整を行なう機関はない。	

(4) 障害学生支援担当部署 (者)
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関について、該当する欄に「1」を記入して下さい。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健室等）	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない	

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ (担当者がある場合、左の欄に1を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が随時対応する場合は左の欄のみ1を記入し、人数は記入不要です)	人数
ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技能者（手話通訳、ノートテイク等）	
ウ. その他	

(5) 障害学生の相談受付窓口

障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に1を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	<input type="checkbox"/>
	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	<input type="checkbox"/>
	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	<input type="checkbox"/>
	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	<input type="checkbox"/>
	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	<input type="checkbox"/>

(6) 支援の申し出等に関する対応手順

障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に1を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	②対応要領等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③対応手順を規定する文書はない。

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況

学生生活において必要となる施設・設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

	学内全体に整備				学内に整備していない箇所				部分的に整備				現在必要ない							
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
① 屋外																				
ア. 道路の舗装、段差の解消等																				
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等																				
ウ. 点字ブロック、標識シール等																				
エ. 専用駐車場																				
② 屋内																				
ア. 自動扉等出入り口の整備																				
イ. エレベーター																				
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等																				
エ. 車椅子移動等に必要なおねえ確保																				
オ. 聴覚障害者用屋内信号装置																				
カ. 聴覚障害者用屋内信号装置																				
キ. 障害者用トイレ																				
ク. 自習室、独習室																				
ケ. 磁気誘導ループ																				
その他																				

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイカー等）

支援学生（障害学生を支援する学生）について、該当する欄に「1」を記入してください。
 ※支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携わる予定の人数を人数で計上してください。

	障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している				障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援していない			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。								
ア. 有償								
イ. 6~10人								
ウ. 11~20人								
エ. 21~30人								
オ. 31~40人								
カ. 41~50人								
キ. 51人以上								
② 学生が運営する組織に参加する支援学生がいる。								
ア. 有償								
イ. 6~10人								
ウ. 11~20人								
エ. 21~30人								
オ. 31~40人								
カ. 41~50人								
キ. 51人以上								
③ 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。								
ア. 有償								
イ. 6~10人								
ウ. 11~20人								
エ. 21~30人								
オ. 31~40人								
カ. 41~50人								
キ. 51人以上								
④ その他（①~③に該当しない支援学生がいる）								
※授業の一環として障害学生を支援している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入していただく。								
⑤ 支援学生は行っていない（支援学生による支援は行っていない）。								
①~④の支援学生が行なっている具体的な支援内容 ※複数ある場合は、複数記入してください。								

次に「3. 活動や取組シート」を記入してください。

3. 活動や取組

3. 活動や取組

障害学生支援に関して、以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。また、⑥以降については、名称・内容・参加人数・実施時期も記入してください。(平成28年度の実施(予定含む)についてご回答ください)

①相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

②支援マニュアル・パンフレットの配布

③支援情報の公開(ホームページ)

ア. 相談窓口について

イ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明

ウ. 在籍障害学生数

エ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示

オ. その他

④学内イベント(入学式等)での支援についての情報提供

⑤障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

ア. 学外機関との連携、支援情報の提供

イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施

ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施

エ. インターシップ先、就職先の開拓、企業との連携

オ. その他

--	--	--	--

--	--	--	--

3. 活動や取組

⑥障害学生支援に関連する講義(ポランティア論等)

名称/内容	実施時期	参加人数

⑦障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)

名称/内容	実施時期	参加人数

3. 活動や取組

⑧障害学生支援に関する講座・講演等イベント		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑨障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

3. 活動や取組

⑩障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)		
名称/内容	実施時期	参加人数

⑪障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣		
名称/内容	実施時期	参加人数

3. 活動や取組

⑫学外機関との連携

⑤のAで回答した場合も含め、連携機関の名称を(名称のみではどのような団体かわからない場合は、業務内容についても)記入してください。

名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	

4. 受入に関する配慮

4. 受入に関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知

入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項(募集要項)に、受験上の配慮に関する記載がある。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。

ウ. その他

②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。

ウ. その他

③入試要項にも、ホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法

入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。

②全学共通のルールで期間を設けている。

※ルールは同じだが試験日が違うので受験の期日は違うという場合もこちらを選択してください。

ア. 出願受付締切日まで イ. 試験前日まで

ウ. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。

④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。

5. 入学者数等

(2) 受験上の配慮の内容
 (1)で解答した受験上の配慮について、実施した具体的な内容を下記のA～Wから選択して、該当する欄に半角数字の1を記入してください。

区分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	その他
視覚障害 盲 弱視																								
聴覚・ 言語障害																								
発達障害のみ																								
身体 不自由																								
知的障害等																								
病弱・虚 弱																								
重複																								
発達障 害 (診断書 有)																								
発達障害の重複 (診断書 有)																								
気分障害 神経症性障害等																								
躁鬱障害・睡眠障害等																								
精神障 害																								
その他の障害：内訳																								
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								

※下欄には、診断書がないが発達障害が疑われるとの申し出等により、受験上の配慮を行なった場合に、記入してください。

発達障 害 (診断書 無・ 配慮有)	区分不明

5. 入学者数等

※(2)で、「W」その他を選択した場合、その具体的な内容を、障害種別に記入してください。

障害種別	実施した配慮の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

6. 平成27年度卒業生
(1) 学部(進学課程)最高年次及び卒業障害学生数

障害種別	①		②	
	H27 2015年 5月1日 現在	H28 2016年 3月31日 現在	H27 2015年 5月1日 現在	H28 2016年 3月31日 現在
視覚障害				
聴覚・言語障害				
重複障害のみ				
上肢機能障害				
下肢機能障害				
他の機能障害				
内部障害等				
他の慢性疾患				
重複				
発達障害 (診断書 有)				
発達障害の重複				
統合失調症等				
気分障害				
神経症性障害等				
摂食障害・睡眠障害等				
他の精神障害				
その他の障害				
計	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行なった卒業生の数

発達障害 (診断書 無・配慮 有)				
計	0	0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数(平成28年5月1日現在)

障害種別	進学者						就職者 (②を除く)	就職者 (②を含む)	専修学校、外国の学校、教育訓練機関 入学者	社会的な仕事に従事	ア・ク以外	不詳・死亡の者
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計						
視覚障害						0						
聴覚・言語障害						0						
重複障害のみ						0						
上肢機能障害						0						
下肢機能障害						0						
他の機能障害						0						
内部障害等						0						
他の慢性疾患						0						
重複						0						
発達障害 (診断書 有)						0						
発達障害の重複						0						
統合失調症等						0						
気分障害						0						
神経症性障害等						0						
摂食障害・睡眠障害等						0						
他の精神障害						0						
その他の障害						0						
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行なった卒業生の進路

障害種別	進学者						就職者 (②を除く)	就職者 (②を含む)	専修学校、外国の学校、教育訓練機関 入学者	社会的な仕事に従事	ア・ク以外	不詳・死亡の者
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計						
視覚障害						0						
聴覚・言語障害						0						
重複障害のみ						0						
上肢機能障害						0						
下肢機能障害						0						
他の機能障害						0						
内部障害等						0						
他の慢性疾患						0						
重複						0						
発達障害 (診断書 無・配慮 有)						0						
発達障害の重複						0						
統合失調症等						0						
気分障害						0						
神経症性障害等						0						
摂食障害・睡眠障害等						0						
他の精神障害						0						
その他の障害						0						
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

シート「7. 障害学生数」で「精神障害」の「他の精神障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1) 学部(通学課程)

	学科(専攻) ※学科(専攻)分類は各大学ごとに異なります。 ご記入の際は学校基本調査の「学科系統分類表」をご確認ください。	内訳		ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数
		※精神障害(他の精神障害)に計上した学生の各障害名(例:知的障害、性別違和、高次脳機能障害等)			
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計				0	0

10. その他の障害の内訳

10. その他の障害の内訳

シート「7. 障害学生数」で「その他の障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1) 学部(通学課程)

	学科(専攻) ※学科(専攻)分類は各大学ごとに異なります。 ご記入の際は学校基本調査の「学科系統分類表」をご確認ください。	内訳		ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数
		※その他の障害に計上した学生の各障害名			
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計				0	0

11. 授業支援と授業以外の支援
(1) 学部(学修支援)の支援内容

区分	視覚障害	聴覚・言語障害のみ	肢体不自由		弱視・遠視	重複	有(含)発達障害			精神障害		計
			上肢機能障害	下肢機能障害			他	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害、睡眠障害等	
支援対象学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援内容	1 高度・遠視											
	2 教材のテキストデータ化											
	3 教材の邦本											
	4 サイトヘルプ											
	5 リーディングサポーター											
	6 手話通訳(相手語を含む)											
	7 ノートテイク											
	8 ハゾンテイク											
	9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし											
	10 チューター又はティーチングアシスタントの活用											
	11 試験時間延長・別室受験											
	12 解答方法配座											
	13 ハゾンの申込使用許可											
	14 注意事項等文書伝達											
	15 使用教座配座											
	16 実技・実習配座											
	17 教室内座席配座											
	18 F/M相認器・マイク使用											
	19 専用机・イス・スペース確保											
	20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用											
	21 講義に関する配座(録音許可、録音撮影許可等)											
	22 配座依頼文書の配付											
	23 出席に関する配座(遅刻、欠席、途中退室等)											
	24 学習指導(補習・補講、レポート作成、定期試験学習等)											
	25 授業内容の代替、提出期限延長等											
	26 履修支援(履修登録補助、優先的な登録等)											
	27 学外実習・フィールドワーク配座											
	28 その他の授業支援											

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

区分	視覚障害	聴覚・言語障害のみ	肢体不自由		弱視・遠視	重複	有(含)発達障害			精神障害		計
			上肢機能障害	下肢機能障害			他	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害、睡眠障害等	
支援対象学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援内容	1 居場所の確保(占有スペース、仲間づくり等)											
	2 通字支援(自動通字許可、専用駐車場等)											
	3 支援											
	4 情報取得支援(行事案内、休講情報等)											
	5 社会的自己管理指導(スケジュール管理)											
	6 スキーマ人間関係講座(対人スキル、トラブル対応等)											
	7 指導											
	8 専門家によるカウンセリング											
	9 休職管理											
	10 医療機関との連携											
	11 医療機関・薬剤師の確保等											
	12 休職室・治療室の確保等											
	13 生活支援											
	14 キャンパス教育(講義理解、職業適性の把握等)											
	15 職業・キャリア教育(職業理解、職業適性の把握)											
	16 職業学生向け求人情報の提供											
	17 就職支援情報(提供、支援機関の紹介)											
	18 インターンシップ等の配座											
	19 除職先の開拓、就職活動支援											

※その他の授業以外の支援の具体的な内容を記入してください。

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援は、高等学校機関間においても複数の課題の1つと見られます。課題と見られる事項に1を記入してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	学生の修学上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員が発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生が発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・部課間連携
<input type="checkbox"/>	個人情報取扱い
<input type="checkbox"/>	その他

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数
発達障害があるとの診断はないが、発達障害ではないかと疑われ、なんらかの支援(教室上の配慮等)を行なっている学生がいる場合、学科(専攻)別にその数を記入し、その学生に対して行なっている支援を記入してください。

[1]学部(進学課程) 学科(専攻)①人文科学～保健(医・歯学)

学科(専攻)別/ 障害種別	人文科学			社会科学			理学			工学			農学			獣医学(医・歯)		
	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A
発達障害(診断書・配慮書)支援学生数	L	D	H	D	D	D	L	D	H	D	D	D	L	D	H	D	D	D
休学学生数																		
発達障害(診断書・配慮書)支援学生数																		
支援内容	1 点検・連絡 2 教科のテキスト一対一 3 教科の拡大 4 ガイドヘルプ 5 リーディングワーキング 6 手帳支援(帳手帳を貸す) 7 ノートブック 8 ハノコブック 9 ヒアリングシート・文字起こし 10 授業内容の要約・要旨の活用 11 授業録音機・録音機 12 録音機・録音機 13 パソコンの録音機 14 注意事項文書伝達 15 授業録音機 16 録音機 17 教室内座席配慮 18 FM機器/マイク使用 19 専用机・イス・スペース確保 20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用 21 講義に関する配慮(録音許可、紙媒体配布等) 22 出席に関する配慮(遅刻、欠席、途中退席等) 23 出席に関する配慮(遅刻、欠席、途中退席等) 24 学習指導(補講、補講、レポート作成、定期試験学習等) 25 授業内容の代替、再出題延長等 26 発達支援(授業録音機、録音機) 27 学習支援(ワーキングノート)配慮 28 その他(複数回答可)																	

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

発達障害(診断書・配慮書)支援学生数																		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

学科(専攻)別/ 障害種別	人文科学			社会科学			理学			工学			農学			獣医学(医・歯)		
	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A
発達障害(診断書・配慮書)支援学生数	L	D	H	D	D	D	L	D	H	D	D	D	L	D	H	D	D	D
休学学生数																		
発達障害(診断書・配慮書)支援学生数																		
支援内容	1 授業所の確保(占ムスペース、仲間づくり等) 2 学生生活支援(自動車運転免許可、専用駐車場所等) 3 生活支援(授業録音機、出社時の通学等) 4 授業録音機(行革室内、休講時等) 5 社会内 6 自己管理支援(スケジュール管理等) 7 生活支援(生活リズム・生活リズム) 8 生活支援(生活リズム・生活リズム) 9 生活支援(生活リズム・生活リズム) 10 生活支援(生活リズム・生活リズム) 11 生活支援(生活リズム・生活リズム) 12 生活支援(生活リズム・生活リズム) 13 生活支援(生活リズム・生活リズム) 14 キヤリア教育(職業理解、職業選択の把握等) 15 進路、 16 就職支援(就職情報の提供、支援機関の紹介) 17 進路、 18 就職支援(就職情報の提供、支援機関の紹介)																	

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

発達障害(診断書・配慮書)支援学生数																		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		

【1】学種(漢字略図) 学科(専攻)②領域(漢字略図)→その他

学種(漢字略図)	領域(漢字略図)		学種(漢字略図)		学種(漢字略図)		学種(漢字略図)		学種(漢字略図)		その他	
	S	A	A	A	S	A	A	A	S	A	A	A
学料(専攻)別/障害種別	L	D	S	分	L	D	S	分	L	D	S	分
発達障害(診断書等)・配慮等)支援学生数	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
1 身体障害												
2 知的障害												
3 知的障害(知的障害)・発達障害												
4 知的障害(知的障害)・発達障害												
5 リーディング障害												
6 発達障害												
7 ノートテイク												
8 ハンドライク												
9 ビデオ教材字幕付付・文字起こし												
10 テキスト又はワーキングメモリの活用												
11 試験時間延長・別室受験												
12 解答方法配慮												
13 ハンドルの挿込使用許可												
14 注意事項等文章伝達												
15 使用機器配慮												
16 実技・実習配慮												
17 教室内部環境配慮												
18 印刷物等/マイクの使用												
19 専用PC/インターネット環境												
20 電子教材/電子教材の活用												
21 印刷物の拡大/縮小/複製許可・紙重調整許可等												
22 印刷物の拡大/縮小/複製許可・紙重調整許可等												
23 出席に関する配慮(登壇・欠席・途中退席等)												
24 学習指導(補習・補講・レポート作成・定期試験等)												
25 授業内容の代替・提出期限延長等												
26 履修支援(履修登録補助・単位認定支援等)												
27 学外実習/フィールドワーク配慮												
28 その他の授業支援												

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルをJASSOまでメールにてご送付ください。

平成 28 年度（2016 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書
（訂正版）

平成 30 年 7 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051
E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp